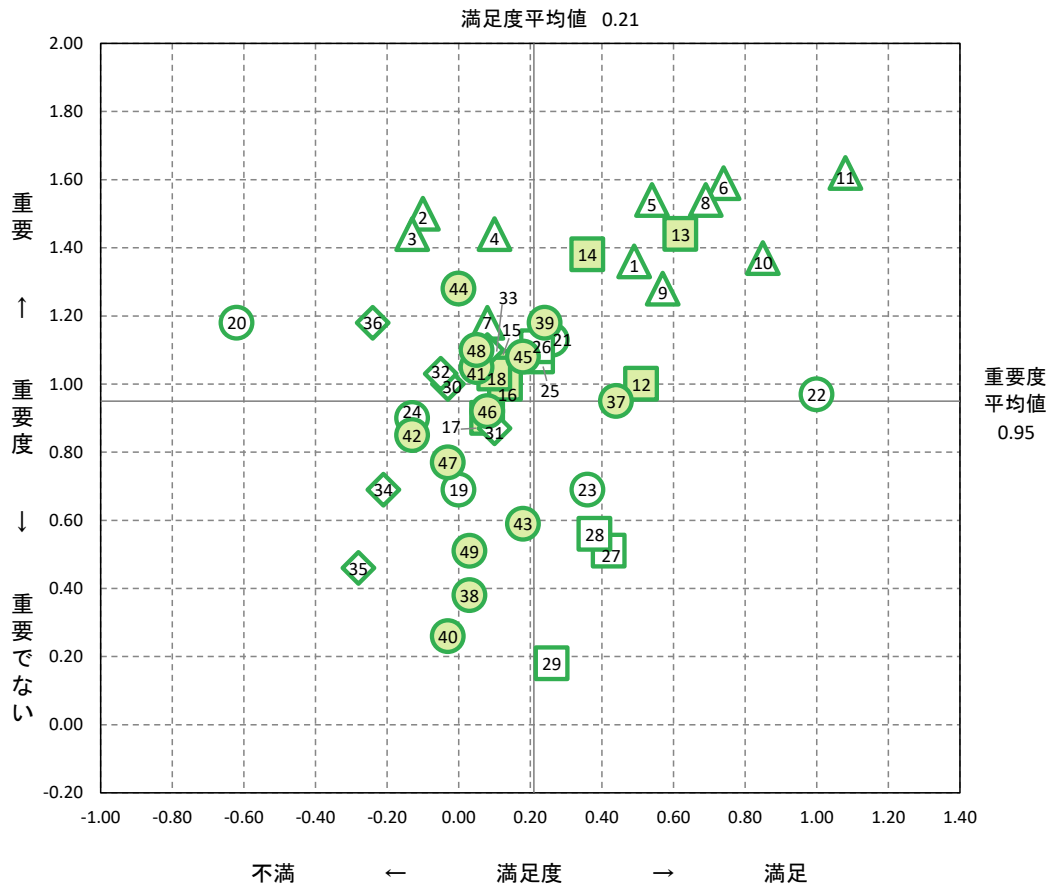
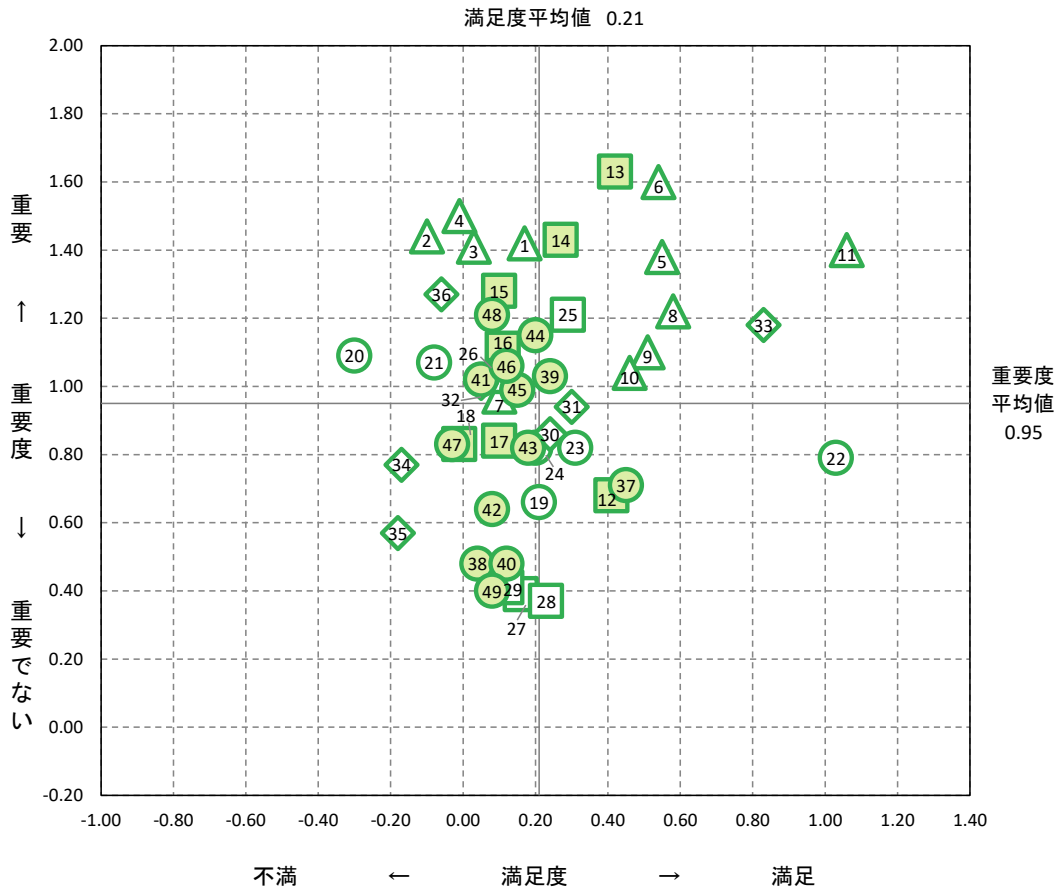


図表 152 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(6)

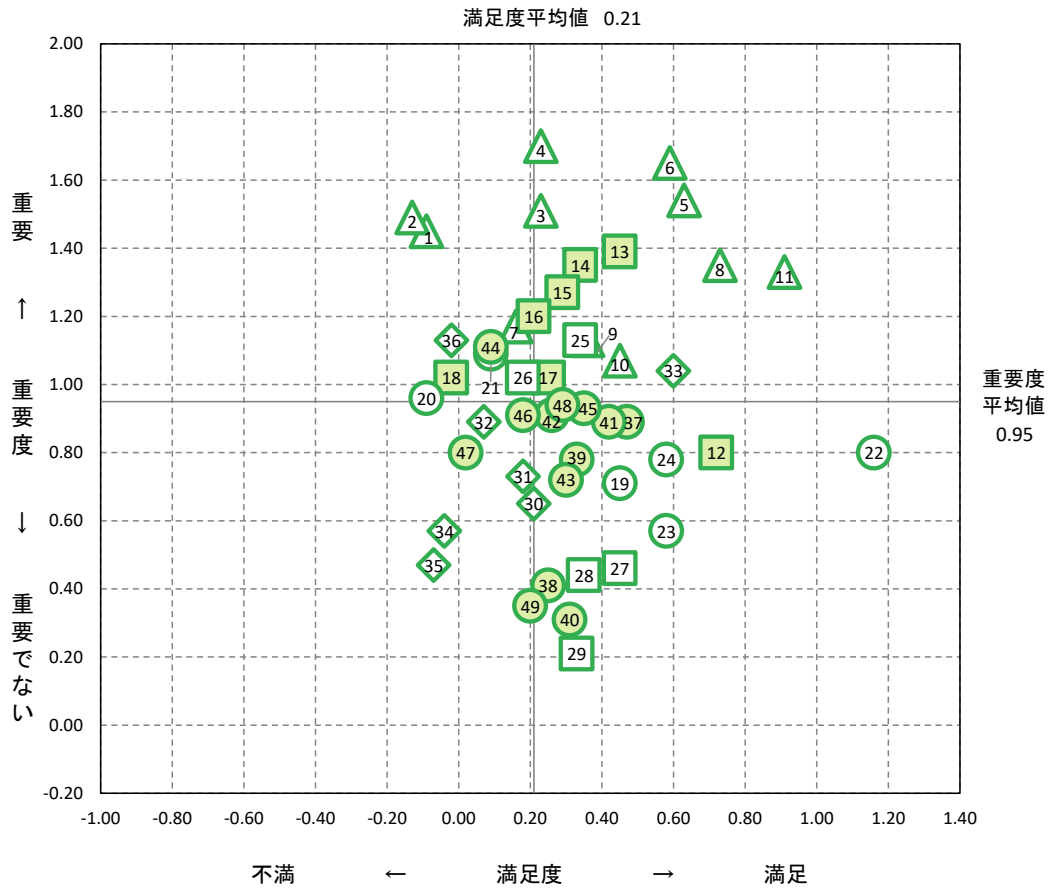
○千両小学校区



○八南小学校区



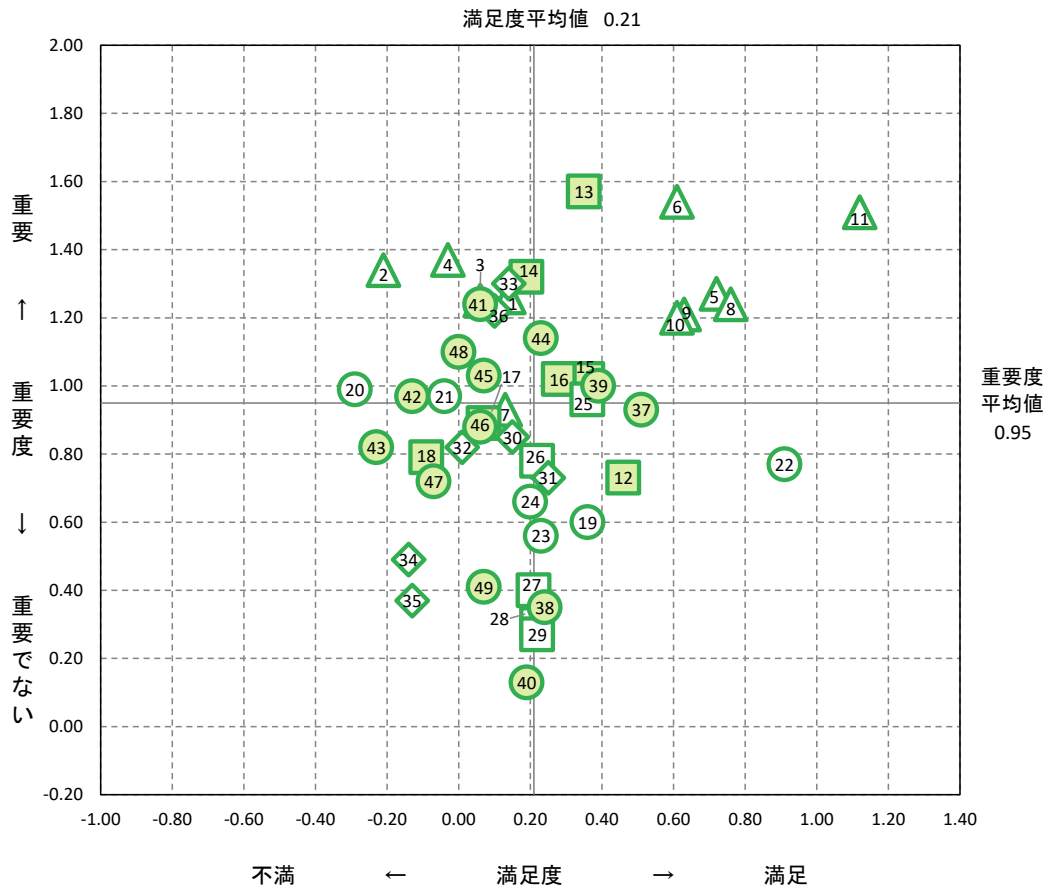
○平尾小学校区



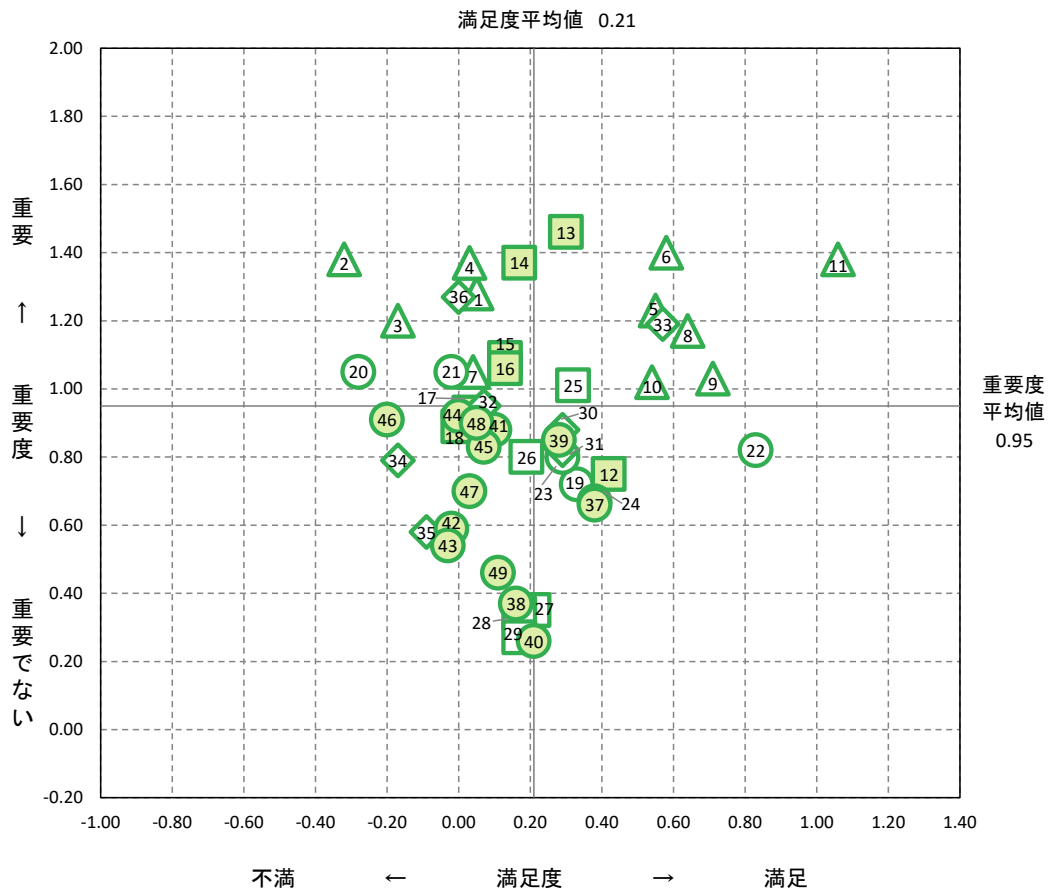
凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	19	住環境の整備(区画整理・住宅対策など)	● 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		20	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		21	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		22	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制	23	公園の状況	41		市からの情報提供・公表	
	6	救急体制	24	河川の状況	42		地域の情報化	
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	25	学校の指導や取り組み		43	公共施設の適正配置
	8	ごみ処理対策		26	青少年の育成・支援		44	道路、橋などの適正な維持管理
	9	生活における衛生環境		27	生涯学習の取り組み		45	行政サービス
	10	生活排水対策		28	スポーツの振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給		29	文化芸術の振興		47	職員の定員適正化
■ 健康・福祉	12	健康づくり	◇ 産業・雇用	30	農業の振興	48	健全な財政運営	
	13	医療環境		31	工業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	子どもを生み、育てる環境		32	商業の振興			
	15	高齢者福祉		33	日用品などの買い物の利便性			
	16	障害者福祉		34	中心市街地の活性化			
	17	ひとり親家庭支援		35	観光の振興			
	18	経済的な自立支援		36	雇用の安定・勤労者支援			

図表 153 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(7)

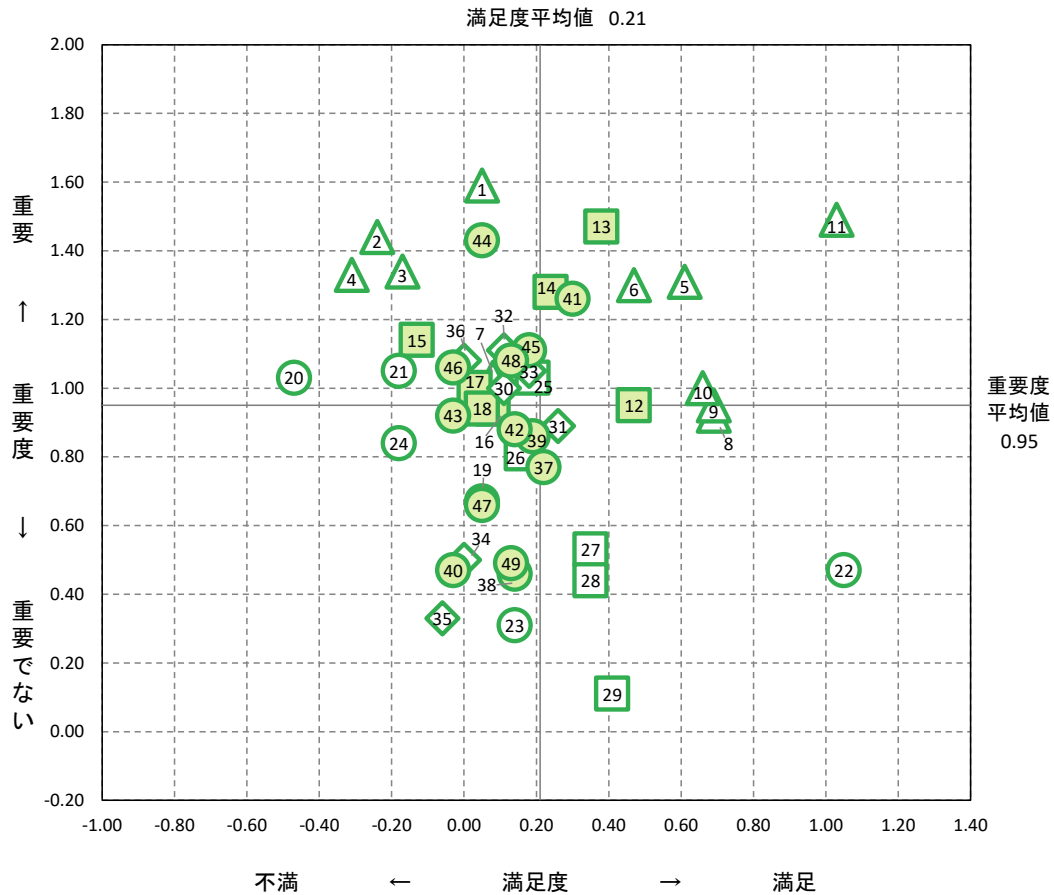
○一宮東部小学校区



○一宮西部小学校区



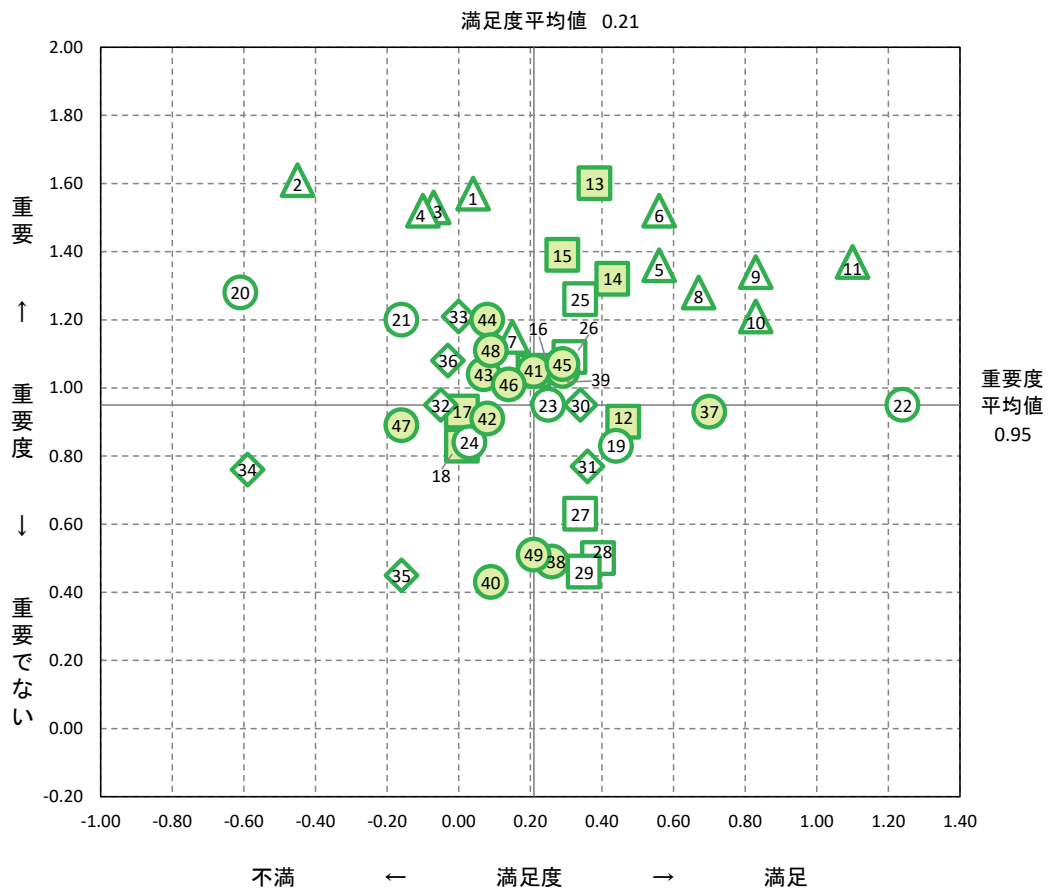
○一宮南部小学校区



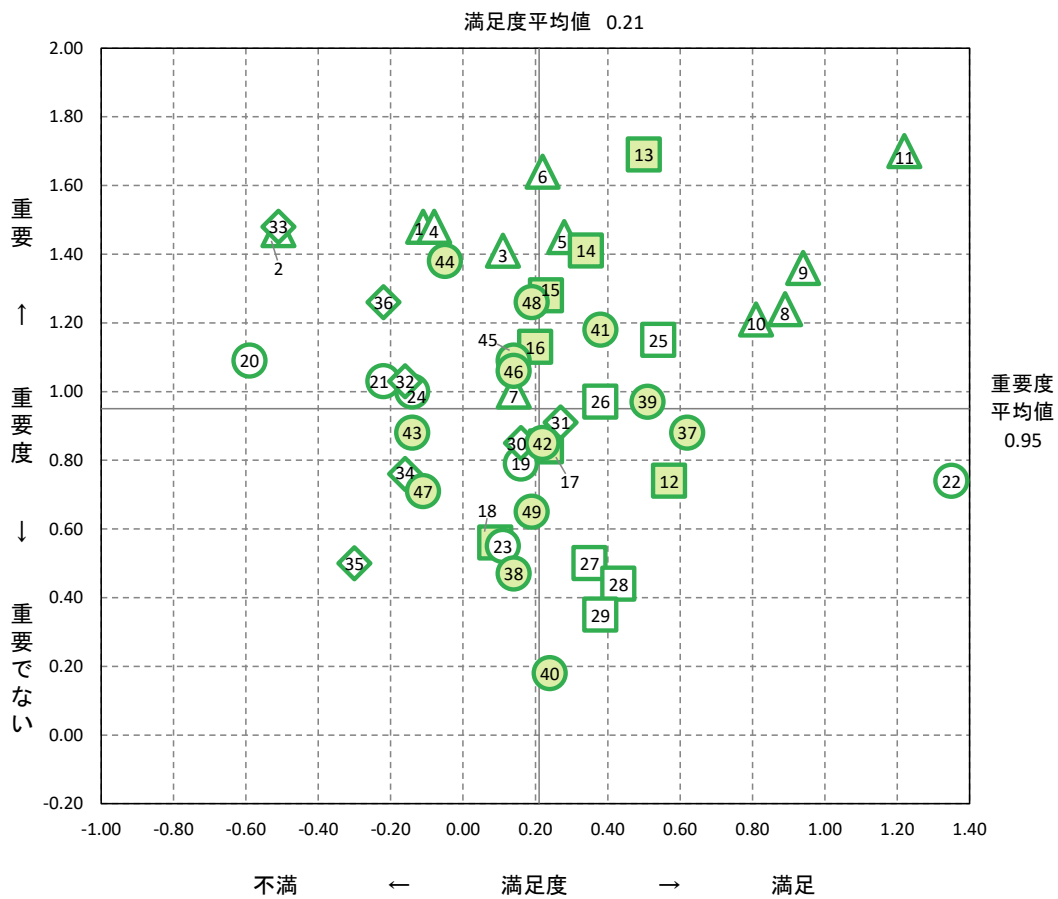
凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	19	住環境の整備(区画整理・住宅対策など)	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		20	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		21	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		22	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制	23	公園の状況	41		市からの情報提供・公表	
	6	救急体制	24	河川の状況	42		地域の情報化	
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	25	学校の指導や取り組み		43	公共施設の適正配置
	8	ごみ処理対策		26	青少年の育成・支援		44	道路、橋などの適正な維持管理
	9	生活における衛生環境		27	生涯学習の取り組み		45	行政サービス
	10	生活排水対策		28	スポーツの振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給		29	文化芸術の振興		47	職員の定員適正化
■ 健康・福祉	12	健康づくり	◇ 産業・雇用	30	農業の振興	48	健全な財政運営	
	13	医療環境		31	工業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	子どもを生み、育てる環境		32	商業の振興			
	15	高齢者福祉		33	日用品などの買い物の利便性			
	16	障害者福祉		34	中心市街地の活性化			
	17	ひとり親家庭支援		35	観光の振興			
	18	経済的な自立支援		36	雇用の安定・勤労者支援			

図表 154 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(8)

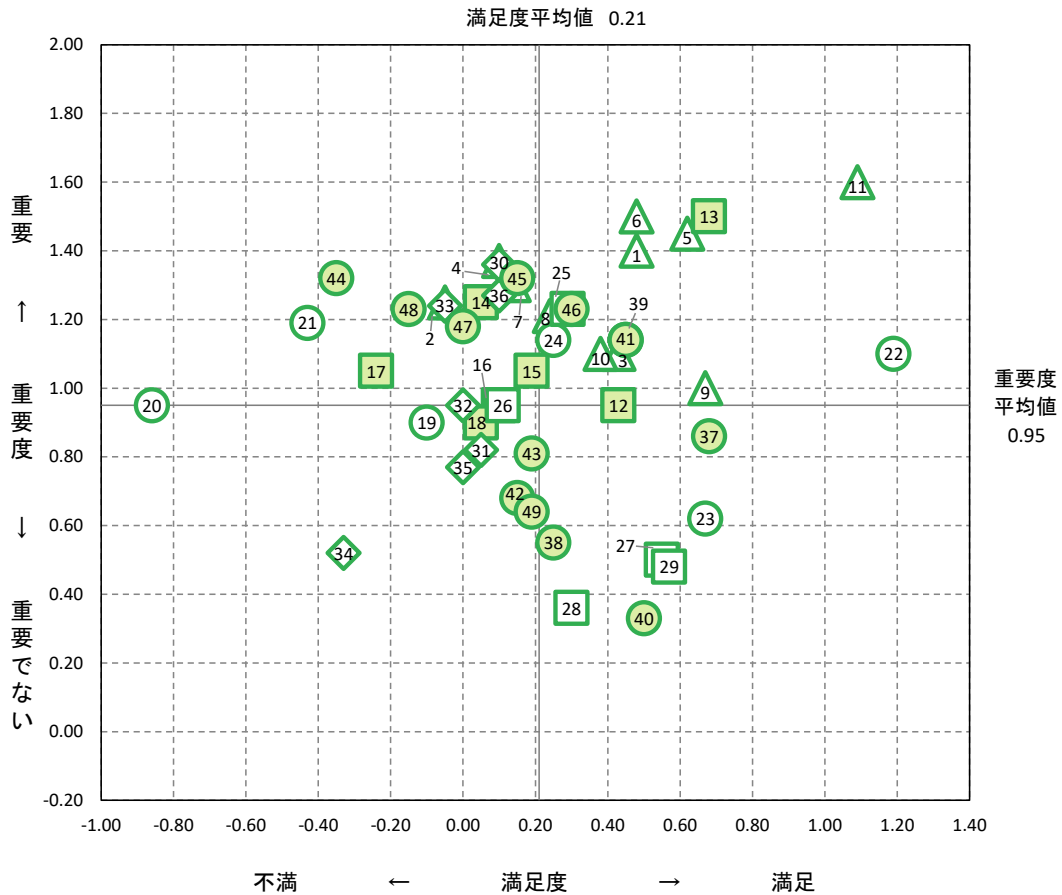
○赤坂小学校区



○長沢小学校区



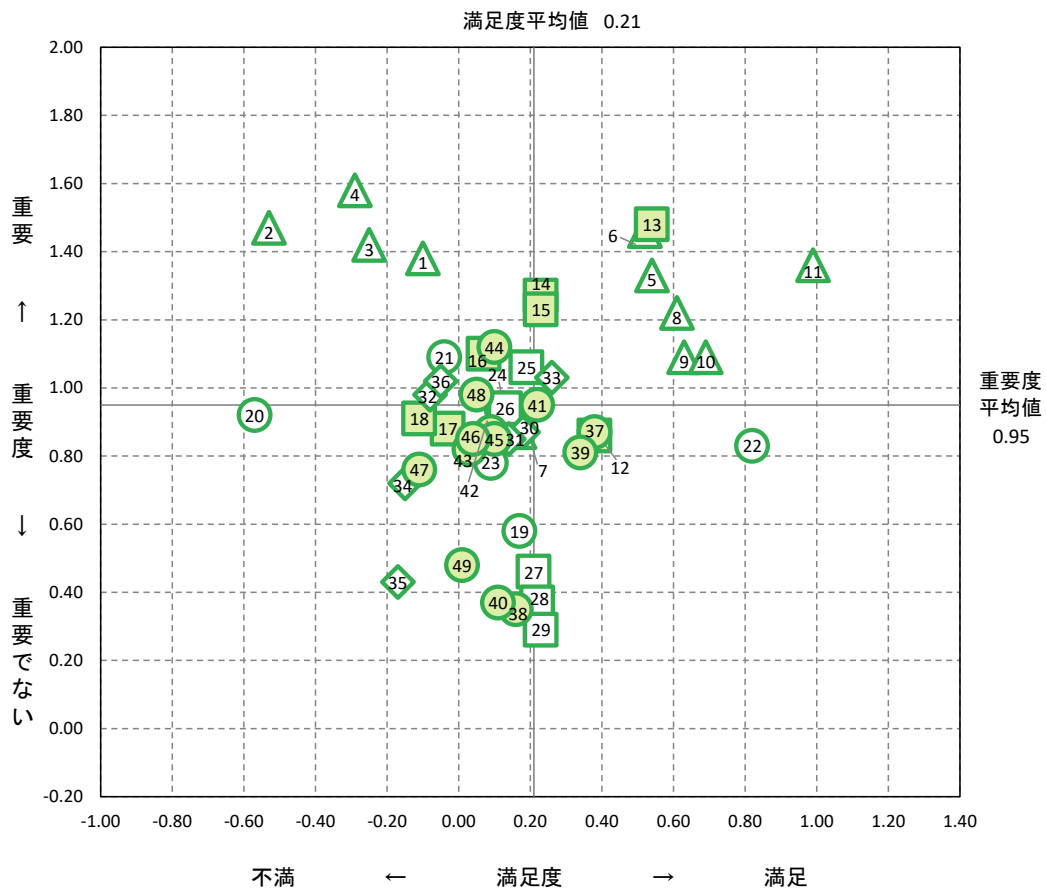
○萩小学校区



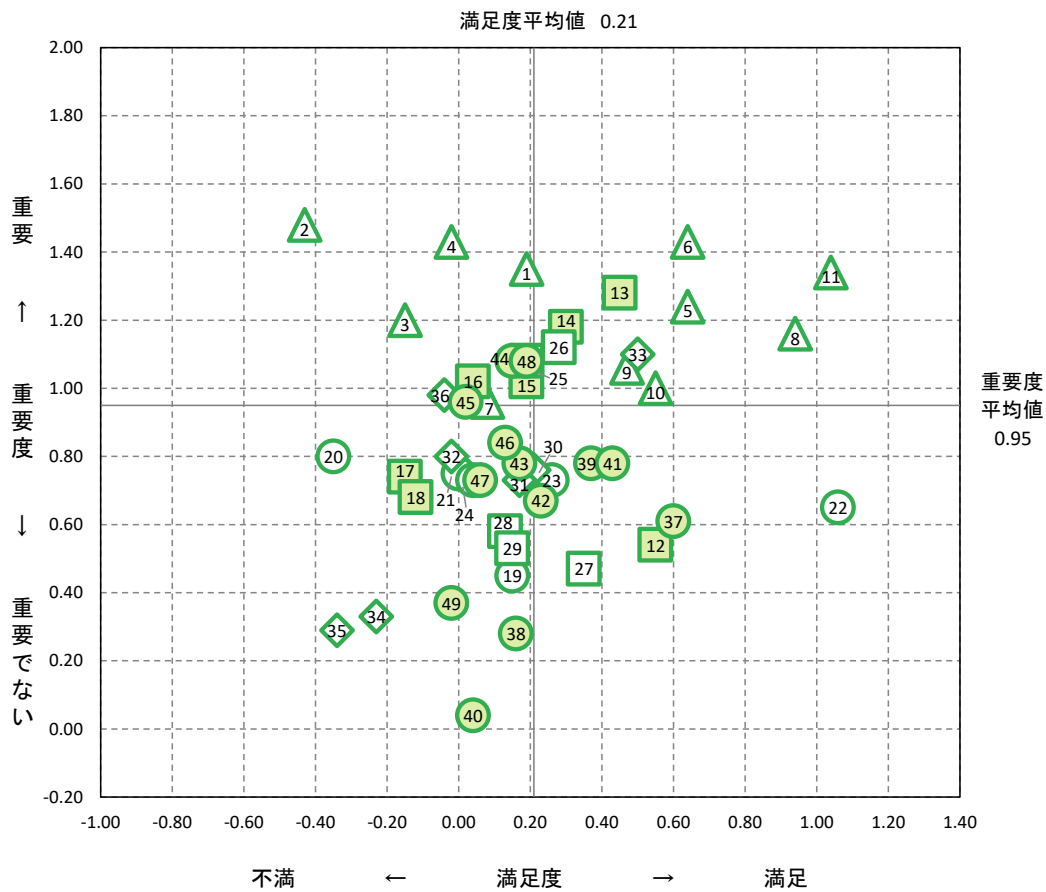
凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	19	住環境の整備(区画整理・住宅対策など)	● 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		20	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		21	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		22	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制	23	公園の状況	41		市からの情報提供・公表	
	6	救急体制	24	河川の状況	42		地域の情報化	
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	25	学校の指導や取り組み		43	公共施設の適正配置
	8	ごみ処理対策		26	青少年の育成・支援		44	道路、橋などの適正な維持管理
	9	生活における衛生環境		27	生涯学習の取り組み		45	行政サービス
	10	生活排水対策		28	スポーツの振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給		29	文化芸術の振興		47	職員の定員適正化
■ 健康・福祉	12	健康づくり	◇ 産業・雇用	30	農業の振興	48	健全な財政運営	
	13	医療環境		31	工業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	子どもを生み、育てる環境		32	商業の振興			
	15	高齢者福祉		33	日用品などの買い物の利便性			
	16	障害者福祉		34	中心市街地の活性化			
	17	ひとり親家庭支援		35	観光の振興			
	18	経済的な自立支援		36	雇用の安定・勤労者支援			

図表 155 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(9)

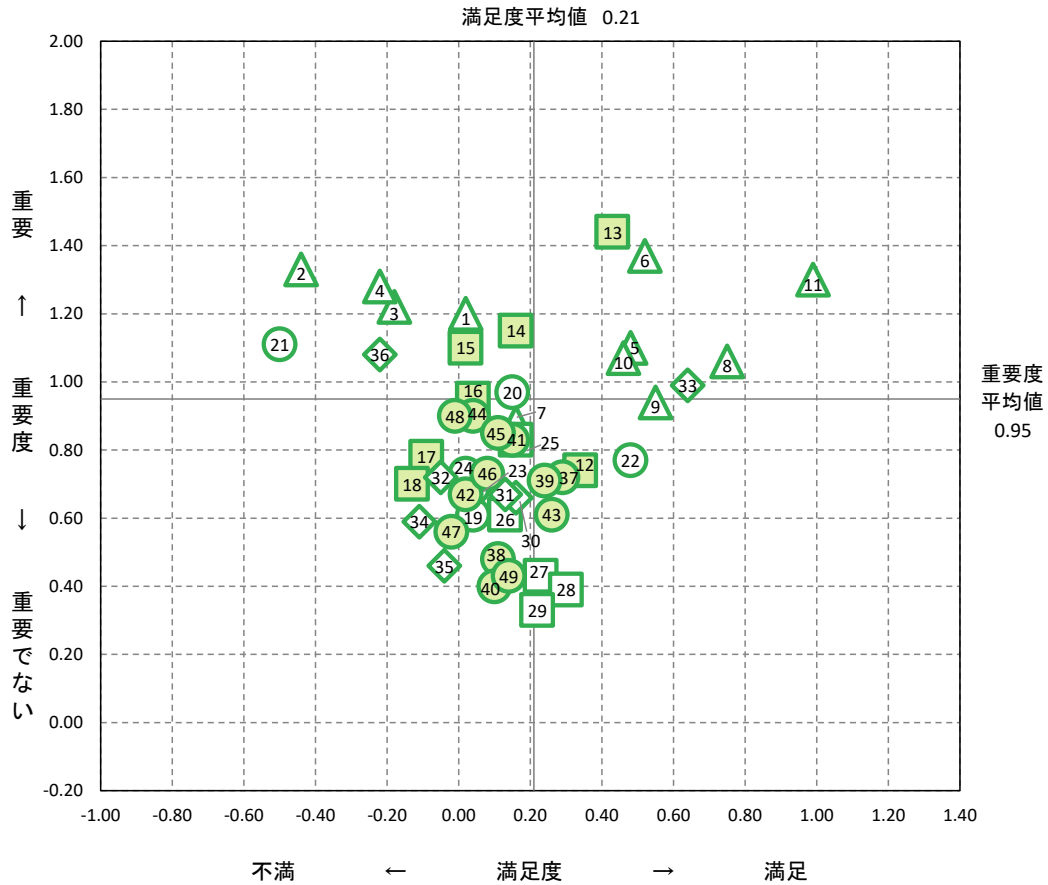
○御津南部小学校区



○御津北部小学校区

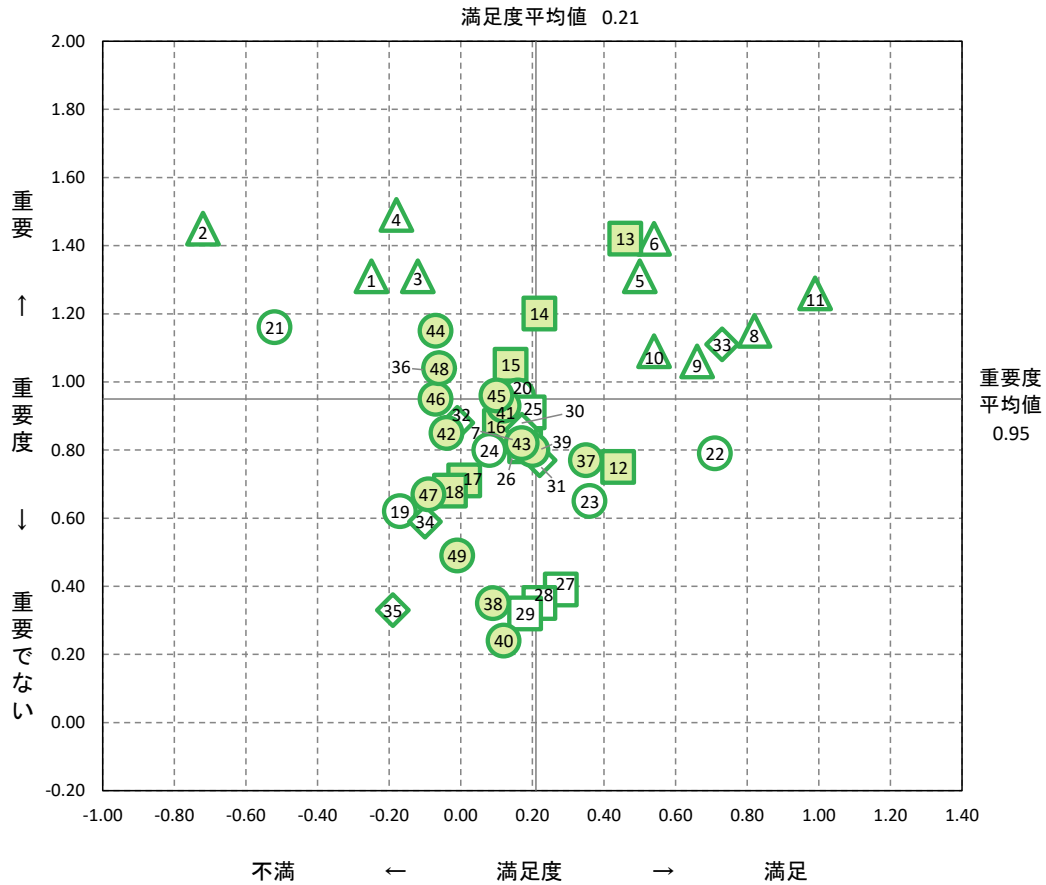


○小坂井東小学校区



凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	19	住環境の整備(区画整理・住宅対策など)	● 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		20	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		21	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		22	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制		23	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制		24	河川の状況		42	地域の情報化
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	25	学校の指導や取り組み		43	公共施設の適正配置
	8	ごみ処理対策		26	青少年の育成・支援		44	道路、橋などの適正な維持管理
	9	生活における衛生環境		27	生涯学習の取り組み		45	行政サービス
	10	生活排水対策		28	スポーツの振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給		29	文化芸術の振興		47	職員の定員適正化
■ 健康・福祉	12	健康づくり	◇ 産業・雇用	30	農業の振興	48	健全な財政運営	
	13	医療環境		31	工業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	子どもを生み、育てる環境		32	商業の振興			
	15	高齢者福祉		33	日用品などの買い物の利便性			
	16	障害者福祉		34	中心市街地の活性化			
	17	ひとり親家庭支援		35	観光の振興			
	18	経済的な自立支援		36	雇用の安定・勤労者支援			

○小坂井西小学校区



凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	19	住環境の整備(区画整理・住宅対策など)	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		20	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		21	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		22	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制		23	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制		24	河川の状況		42	地域の情報化
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	25	学校の指導や取り組み		43	公共施設の適正配置
	8	ごみ処理対策		26	青少年の育成・支援		44	道路、橋などの適正な維持管理
	9	生活における衛生環境		27	生涯学習の取り組み		45	行政サービス
	10	生活排水対策		28	スポーツの振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給		29	文化芸術の振興		47	職員の定員適正化
□ 健康・福祉	12	健康づくり		◇ 産業・雇用	30	農業の振興	48	健全な財政運営
	13	医療環境			31	工業の振興	49	東三河広域連合の活用
	14	子どもを生み、育てる環境			32	商業の振興		
	15	高齢者福祉	33		日用品などの買い物の利便性			
	16	障害者福祉	34		中心市街地の活性化			
	17	ひとり親家庭支援	35		観光の振興			
	18	経済的な自立支援	36		雇用の安定・勤労者支援			

3 安全・安心について

1 交通安全・防犯対策等の行政への期待

問3 行政が実施している次の交通安全・防犯対策等について、行政にどのようなことを期待しますか。3つまで選んで○印をつけてください。

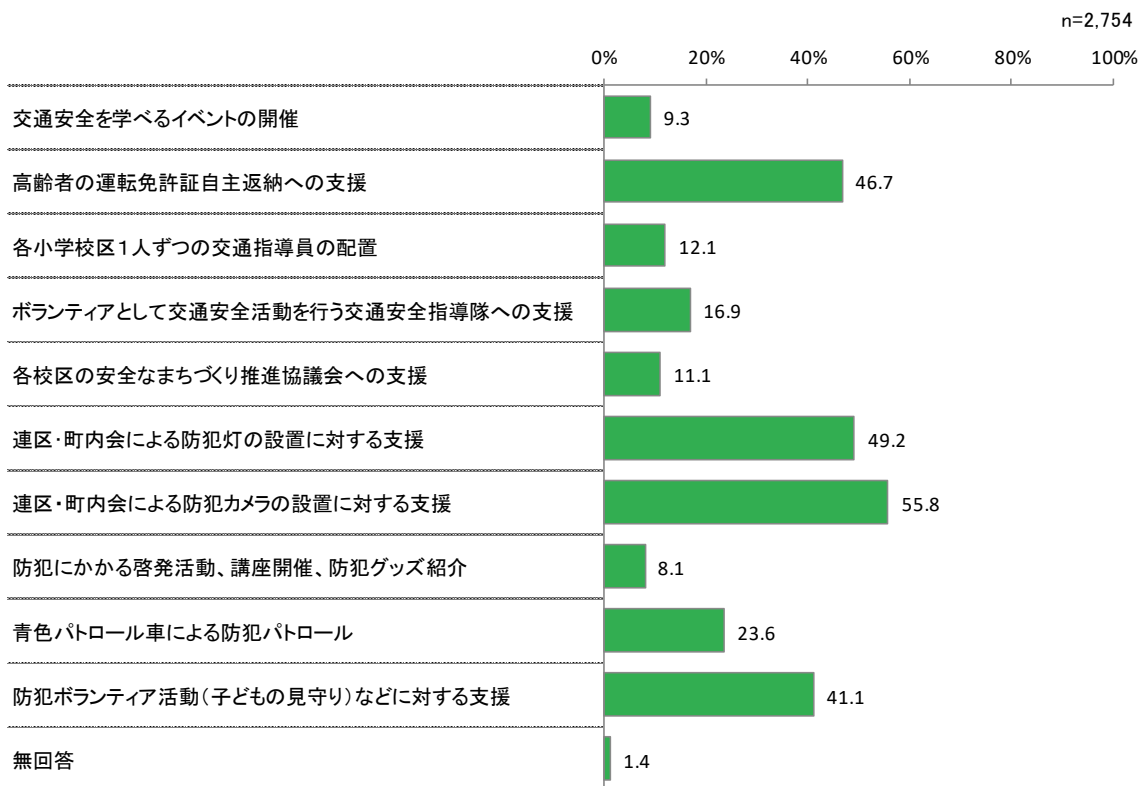
◆ **交通安全・防犯対策等で行政に期待することは「連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援」が55.8%**

交通安全・防犯対策等への期待では、「連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援」(55.8%)が最も高く、次いで「連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援」(49.2%)、「高齢者の運転免許証自主返納への支援」(46.7%)の順となっている。【図表 156】

性別でみると、「連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援」では、「女性」(52.3%)が「男性」(45.3%)を7.0ポイント上回り、「防犯ボランティア活動(子どもの見守り)などに対する支援」では、「女性」(43.2%)が「男性」(38.4%)を4.8ポイント上回っている。【図表 157】

小学校区別でみると、全体平均と比較して、「連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援」では、「東部小学校区」(66.0%)が最も高く、次いで「長沢小学校区」(65.8%)、「小坂井東小学校区」(60.9%)の順となっている。「連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援」では、「牛久保小学校区」(58.1%)、「豊川小学校区」(56.5%)、「御津北部小学校区」(55.6%)、「高齢者の運転免許証自主返納への支援」では、「桜木小学校区」(58.2%)、「八南小学校区」(57.1%)、「金屋小学校区」(55.6%)で割合が高くなっている。【図表 157】

図表 156 交通安全・防犯対策の行政への期待 (全体)



図表 157 交通安全・防犯対策の行政への期待（全体・性別・小学校区・防犯対策の満足度別）

		件数	の交通安全を学べるイベント	高齢者の運転免許証自主返納への支援	各小学校区1人ずつの交通指導員の配置	ボランティアとして交通安全指導隊への支援	各校区の安全なまちづくり推進協議会への支援	連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援	連区・町内会による防犯力メラの設置に対する支援	座開催、防犯グッズ紹介、防犯にかかる啓発活動、講座開催	青色パトロール車による防犯パトロール	防犯ボランティア活動（子どもの見守り）などに対する支援	無回答
全体		2,754	9.3	46.7	12.1	16.9	11.1	49.2	55.8	8.1	23.6	41.1	1.4
性別	男性	1,148	11.0	44.4	12.2	19.4	12.8	45.3	56.8	8.3	22.8	38.4	1.5
	女性	1,552	8.3	48.4	12.1	15.0	9.7	52.3	55.2	8.0	24.4	43.2	1.2
居住小学校区別	豊川小学校区	115	10.4	44.3	10.4	15.7	13.0	56.5	59.1	11.3	21.7	37.4	1.7
	桜木小学校区	91	17.6	58.2	9.9	14.3	12.1	31.9	53.8	4.4	31.9	46.2	0.0
	豊小学校区	122	9.0	47.5	8.2	12.3	9.8	53.3	60.7	4.9	26.2	36.9	0.8
	東部小学校区	106	7.5	50.0	8.5	17.0	7.5	42.5	66.0	5.7	27.4	36.8	0.9
	金屋小学校区	81	9.9	55.6	9.9	24.7	7.4	48.1	43.2	2.5	30.9	38.3	1.2
	三蔵子小学校区	166	8.4	47.6	12.0	15.7	12.0	50.6	55.4	4.8	25.3	46.4	1.8
	桜町小学校区	85	9.4	54.1	12.9	14.1	10.6	52.9	57.6	7.1	22.4	35.3	1.2
	代田小学校区	122	9.0	52.5	12.3	15.6	8.2	47.5	53.3	12.3	24.6	39.3	1.6
	中部小学校区	182	5.5	47.8	12.1	16.5	13.7	45.6	54.4	8.2	29.1	42.9	1.1
	牛久保小学校区	105	8.6	35.2	10.5	12.4	10.5	58.1	59.0	7.6	24.8	42.9	1.0
	天王小学校区	75	13.3	40.0	16.0	16.0	18.7	46.7	54.7	6.7	28.0	36.0	0.0
	国府小学校区	174	8.0	47.1	10.3	21.8	8.6	44.3	56.3	12.6	15.5	49.4	1.7
	御油小学校区	137	9.5	44.5	11.7	14.6	13.9	51.1	54.7	8.0	25.5	46.7	0.7
	千両小学校区	39	17.9	46.2	7.7	23.1	10.3	41.0	38.5	10.3	28.2	43.6	2.6
	八南小学校区	161	11.8	57.1	9.9	14.3	11.8	47.8	53.4	11.8	15.5	38.5	1.2
	平尾小学校区	56	10.7	44.6	21.4	23.2	5.4	50.0	51.8	7.1	33.9	35.7	0.0
	一宮東部小学校区	71	4.2	52.1	9.9	19.7	12.7	42.3	46.5	5.6	16.9	59.2	1.4
	一宮西部小学校区	118	7.6	39.8	15.3	16.1	5.1	51.7	51.7	5.9	28.0	47.5	1.7
	一宮南部小学校区	39	7.7	35.9	12.8	28.2	5.1	53.8	56.4	5.1	15.4	46.2	0.0
	赤坂小学校区	78	10.3	41.0	10.3	25.6	11.5	50.0	52.6	11.5	16.7	37.2	3.8
	長沢小学校区	38	7.9	47.4	15.8	18.4	15.8	50.0	65.8	7.9	21.1	36.8	0.0
	萩小学校区	23	8.7	34.8	21.7	13.0	21.7	43.5	56.5	4.3	13.0	56.5	0.0
	御津南部小学校区	155	8.4	38.1	15.5	15.5	10.3	51.6	56.1	10.3	25.2	37.4	2.6
	御津北部小学校区	54	5.6	42.6	11.1	16.7	13.0	55.6	59.3	5.6	25.9	37.0	0.0
小坂井東小学校区	133	9.8	45.9	12.8	16.5	12.0	51.9	60.9	6.8	23.3	33.8	3.8	
小坂井西小学校区	175	11.4	45.7	13.1	18.3	11.4	54.3	59.4	9.1	20.0	37.7	1.1	
「交通安全」の満足度	満足	86	15.1	52.3	16.3	22.1	10.5	36.0	47.7	9.3	29.1	45.3	2.3
	まあ満足	1,287	10.1	46.5	12.0	18.0	12.0	49.3	54.9	8.2	23.5	43.3	0.9
	やや不満	717	8.4	47.6	12.7	19.0	9.9	50.1	58.3	8.5	21.1	41.6	0.7
	不満	254	11.0	43.7	13.8	13.0	10.6	52.8	63.4	7.5	28.3	31.5	1.6
	わからない	330	6.1	46.4	8.5	10.9	10.0	49.1	50.9	7.6	24.5	38.5	3.0
「防犯対策」の満足度	満足	62	21.0	59.7	17.7	16.1	11.3	45.2	37.1	19.4	17.7	41.9	0.0
	まあ満足	1,039	10.7	45.7	13.6	19.9	12.9	47.7	53.0	6.8	23.6	43.5	1.0
	やや不満	693	8.9	45.2	12.1	17.3	11.0	48.5	60.3	9.8	25.4	41.7	0.9
	不満	245	7.3	44.5	9.4	11.4	8.2	59.2	72.2	8.6	22.9	32.7	2.0
	わからない	631	7.4	48.8	10.1	14.6	9.0	48.7	51.7	7.0	22.2	40.9	2.1

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

2 自転車の安全な利用のための心掛け

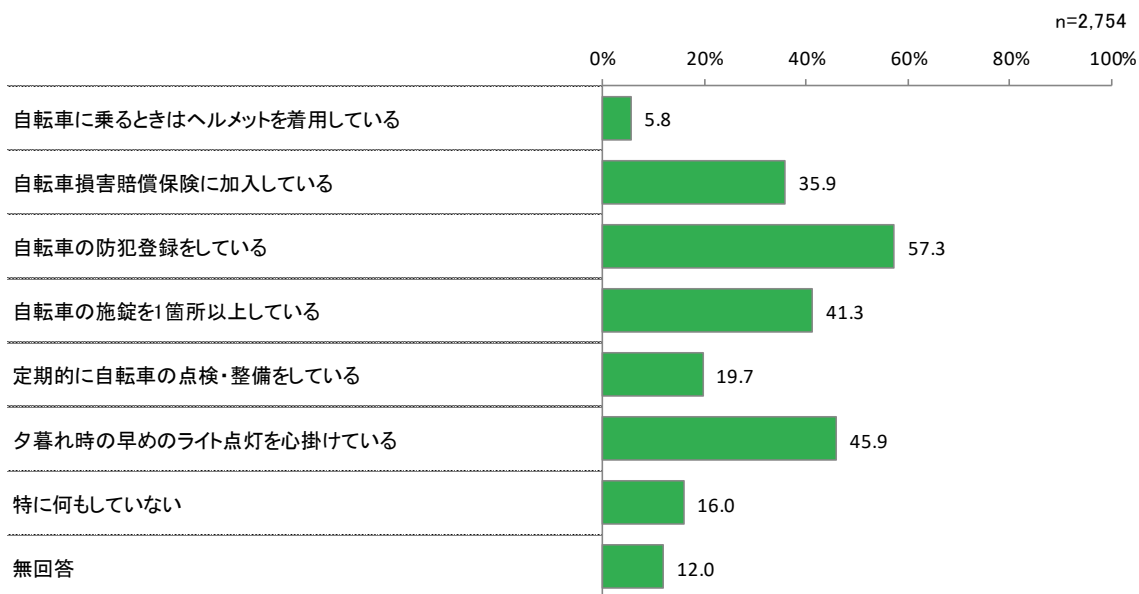
問4 あなたは、自転車の安全な利用について、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。
次の中から行っていることすべてに○印をつけてください。

◆ 自転車の安全な利用のための心掛けは「自転車の防犯登録をしている」が57.3%

自転車の安全な利用のための心掛けでは、「自転車の防犯登録をしている」(57.3%)が最も高く、次いで「夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている」(45.9%)、「自転車の施錠を1箇所以上している」(41.3%)の順となっている。【図表 158】

年齢別で見ると、全体平均と比較して、「自転車損害賠償保険に加入している」、「自転車の施錠を1箇所以上している」、「定期的に自転車の点検・整備をしている」では、「10代(18・19歳)」の割合が最も高くなっている。「自転車の防犯登録をしている」では、「40代」(71.6%)で、「夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている」では、「20代」(62.0%)で割合が最も高くなっている。【図表 159】

図表 158 自転車の安全な利用のための心掛け (全体)



図表 159 自転車の安全な利用のための心掛け（全体・年齢別・小学校区別）

		件数	自転車に乗るときはヘルメットを着用している	自転車損害賠償保険に加入している	自転車の防犯登録をしている	自転車の施錠を1箇所以上している	定期的に自転車の点検・整備をしている	夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている	特に何もしていない	無回答
全体		2,754	5.8	35.9	57.3	41.3	19.7	45.9	16.0	12.0
年齢別	10代(18・19歳)	52	5.8	57.7	69.2	63.5	30.8	57.7	7.7	1.9
	20代	229	6.1	33.6	59.4	54.1	22.7	62.0	14.8	4.4
	30代	357	9.0	38.9	57.7	46.5	21.6	47.1	22.1	5.3
	40代	490	9.2	52.0	71.6	51.0	25.5	56.5	10.8	3.1
	50代	479	3.1	35.5	62.8	47.8	20.3	43.4	16.7	7.9
	60代	527	3.6	29.4	50.5	30.6	13.7	37.4	18.8	19.2
	70歳以上	595	4.7	25.9	45.7	28.1	17.1	39.3	15.0	23.5
居住 小学校区別	豊川小学校区	115	4.3	47.8	62.6	53.9	21.7	53.9	11.3	6.1
	桜木小学校区	91	9.9	36.3	57.1	44.0	18.7	37.4	15.4	15.4
	豊小学校区	122	4.1	27.0	58.2	37.7	18.9	50.0	18.9	11.5
	東部小学校区	106	6.6	39.6	64.2	42.5	18.9	45.3	16.0	10.4
	金屋小学校区	81	3.7	35.8	53.1	46.9	19.8	56.8	16.0	6.2
	三蔵子小学校区	166	5.4	38.6	56.6	41.6	24.1	49.4	13.9	11.4
	桜町小学校区	85	3.5	37.6	60.0	38.8	20.0	48.2	11.8	14.1
	代田小学校区	122	4.9	40.2	59.0	45.9	27.0	54.1	13.9	13.1
	中部小学校区	182	2.7	41.2	62.6	46.2	19.2	47.3	13.2	7.7
	牛久保小学校区	105	2.9	42.9	62.9	41.9	15.2	50.5	13.3	10.5
	天王小学校区	75	2.7	40.0	69.3	50.7	29.3	52.0	9.3	6.7
	国府小学校区	174	5.2	30.5	50.6	40.8	24.1	42.5	20.7	8.0
	御油小学校区	137	5.1	32.8	54.7	36.5	14.6	41.6	14.6	21.2
	千両小学校区	39	7.7	23.1	35.9	28.2	15.4	33.3	35.9	12.8
	八南小学校区	161	6.2	36.0	64.0	46.0	25.5	59.0	14.9	6.2
	平尾小学校区	56	12.5	37.5	58.9	46.4	12.5	42.9	19.6	8.9
	一宮東部小学校区	71	15.5	40.8	50.7	36.6	25.4	32.4	22.5	12.7
	一宮西部小学校区	118	7.6	36.4	53.4	41.5	18.6	41.5	11.9	15.3
	一宮南部小学校区	39	5.1	25.6	46.2	30.8	5.1	35.9	28.2	12.8
	赤坂小学校区	78	15.4	30.8	42.3	21.8	17.9	33.3	21.8	24.4
	長沢小学校区	38	13.2	31.6	55.3	39.5	15.8	31.6	15.8	21.1
	萩小学校区	23	8.7	21.7	34.8	30.4	21.7	39.1	13.0	30.4
	御津南部小学校区	155	6.5	37.4	52.3	35.5	17.4	36.1	18.7	12.3
御津北部小学校区	54	7.4	35.2	66.7	44.4	20.4	48.1	9.3	13.0	
小坂井東小学校区	133	3.0	28.6	59.4	38.3	16.5	51.9	16.5	11.3	
小坂井西小学校区	175	1.7	34.3	62.9	45.7	17.1	45.1	17.7	10.3	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

3 日ごろの地震に備えた対策

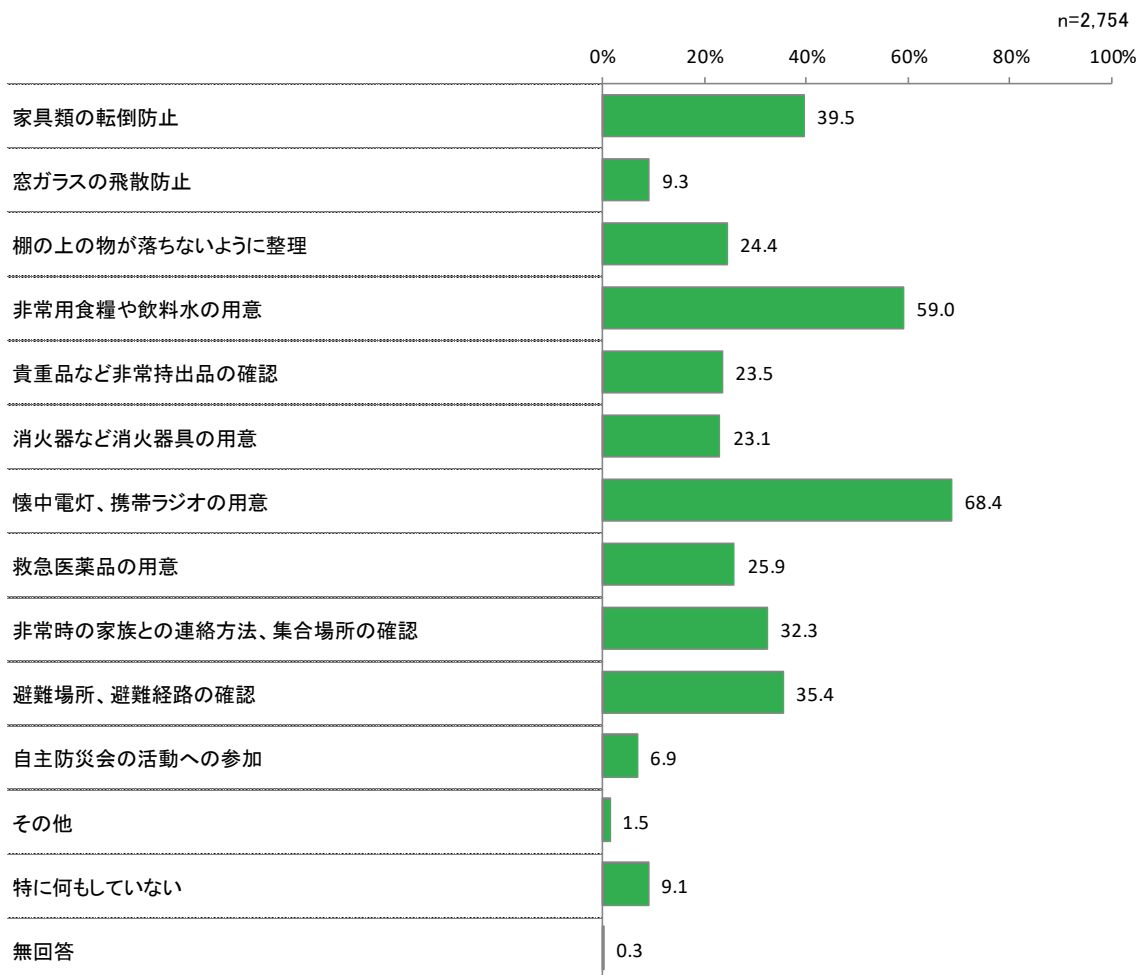
問5 あなたのご家庭では、日ごろ地震に備えてどのような対策をしていますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

◆ 日ごろの地震に備えた対策は「懐中電灯、携帯ラジオの用意」が68.4%

防災対策で行政に期待することは、「懐中電灯、携帯ラジオの用意」(68.4%)が最も高く、次いで「非常用食糧や飲料水の用意」(59.0%)、「家具類の転倒防止」(39.5%)の順となっている。【図表 160】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「懐中電灯、携帯ラジオの用意」「消火器など消火器具の用意」「棚の上の物が落ちないように整理」「自主防災会の活動への参加」「貴重品など非常持出品の確認」「家具類の転倒防止」は「70歳以上」の割合が最も高くなっている。「40代」は「非常時の家族との連絡方法、集合場所の確認」(40.0%)、「10代(18・19歳)」は「特に何もしていない」(19.2%)の割合が、他の年齢に比べて高くなっている。【図表 161】

図表 160 日ごろの地震に備えた対策（全体）



図表 161 日ごろの地震に備えた対策（全体・年齢別）

		件数	家具類の転倒防止	窓ガラスの飛散防止	棚の上の物が落ちないように整理	非常用食糧や飲料水の用意	貴重品など非常持出品の確認	消火器など消火器具の用意	懐中電灯、携帯ラジオの用意	救急医薬品の用意	非常時の家族との連絡方法、集合場所の確認	避難場所、避難経路の確認	自主防災会の活動への参加	その他	特に何もしていない	無回答
全体		2,754	39.5	9.3	24.4	59.0	23.5	23.1	68.4	25.9	32.3	35.4	6.9	1.5	9.1	0.3
年齢別	10代(18・19歳)	52	44.2	11.5	25.0	53.8	19.2	17.3	55.8	19.2	26.9	32.7	1.9	0.0	19.2	0.0
	20代	229	34.9	6.6	19.2	62.0	20.5	14.0	55.0	29.7	31.9	31.0	0.9	0.9	12.2	0.0
	30代	357	31.1	10.6	21.8	61.6	26.1	15.1	56.6	27.7	30.3	28.3	2.5	2.0	12.3	0.3
	40代	490	38.6	10.2	22.9	61.6	21.8	19.4	65.9	27.6	40.0	38.6	5.5	1.8	9.8	0.2
	50代	479	37.8	7.5	23.8	57.0	20.9	24.0	67.0	22.8	36.3	36.3	5.6	1.5	8.8	0.4
	60代	527	42.7	7.6	22.6	59.8	19.9	25.0	74.6	23.0	25.8	34.9	8.2	1.9	7.0	0.2
	70歳以上	595	44.5	11.3	31.6	56.5	29.7	33.4	80.0	27.6	30.3	38.5	13.3	1.2	6.7	0.3

全体より10%以上

全体より5%以上

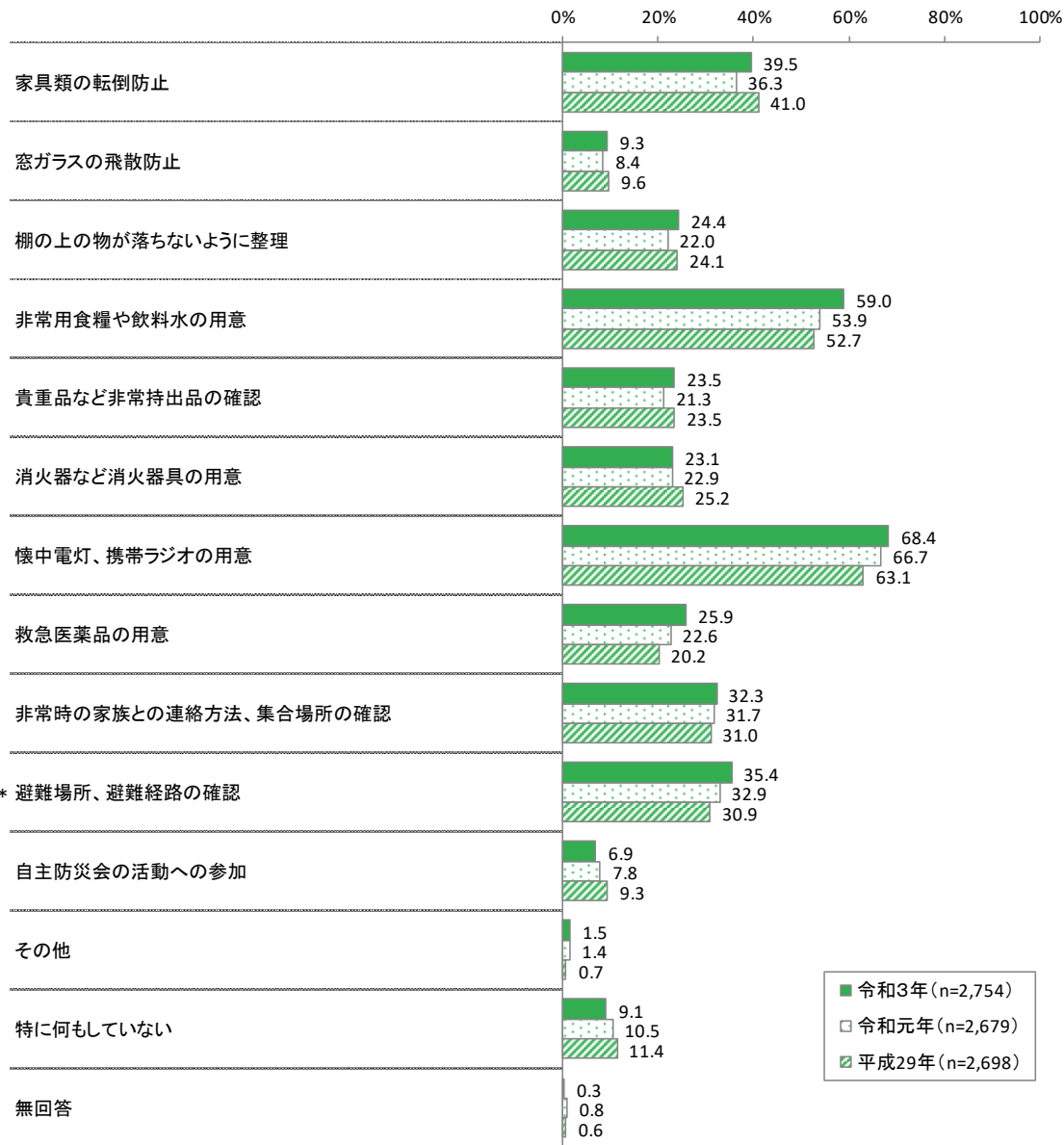
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「非常用食糧や飲料水の用意」(5.1ポイント増)、「救急医薬品の用意」(3.3ポイント増)、「家具類の転倒防止」(3.2ポイント増)などとなっている。【図表 162】

図表 162 日ごろの地震に備えた対策（経年比較）



* 「避難場所、避難経路の確認」は、前々回「避難所、避難経路の確認」と表記。

4 防災対策の行政への期待

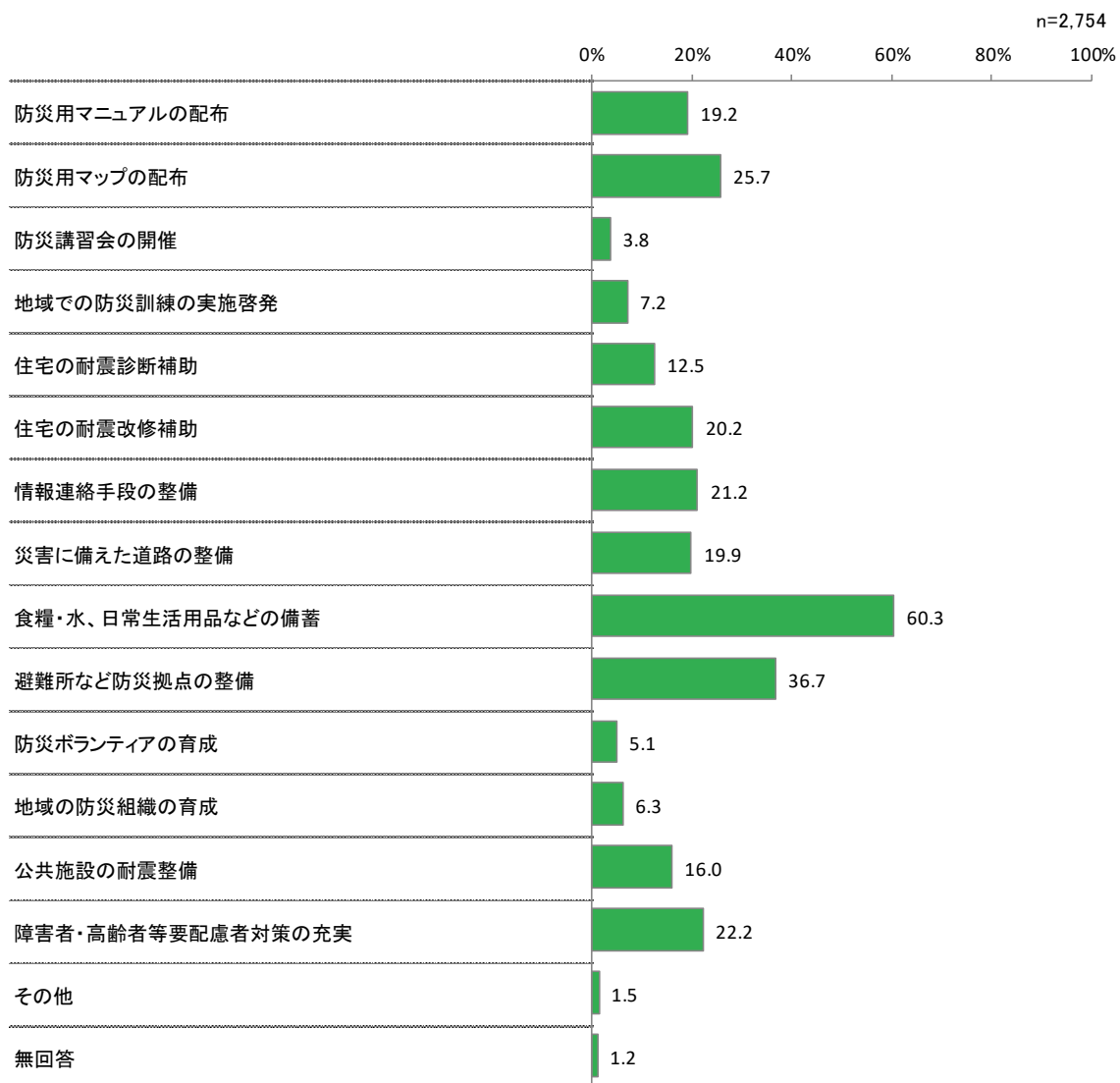
問6 あなたは、防災対策として、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ 防災対策で行政に期待することは「食糧・水、日常生活用品などの備蓄」が60.3%

防災対策で行政に期待することは、「食糧・水、日常生活用品などの備蓄」(60.3%)が最も高く、次いで「避難所など防災拠点の整備」(36.7%)、「防災用マップの配布」(25.7%)の順となっている。【図表 163】

年齢別で見ると、全体平均と比較して、「食糧・水、日常生活用品などの備蓄」は「10代(18・19歳)」(71.2%)と「30代」(70.3%)で、「防災用マップの配布」は「10代(18・19歳)」(38.5%)で、「障害者・高齢者等要配慮者対策の充実」は「70歳以上」(36.0%)で、「住宅の耐震改修補助」は「20代」(31.9%)で割合が高くなっている。【図表 164】

図表 163 防災対策の行政への期待 (全体)



図表 164 防災対策の行政への期待（全体・年齢・地震などに対する防災対策の満足度別）

		(%)																
		件数	防災用マニュアルの配布	防災用マップの配布	防災講習会の開催	地域での防災訓練の実施啓発	住宅の耐震診断補助	住宅の耐震改修補助	情報連絡手段の整備	災害に備えた道路の整備	食糧・水、日常生活用品などの備蓄	避難所など防災拠点の整備	防災ボランティアの育成	地域の防災組織の育成	公共施設の耐震整備	障害者・高齢者等要配慮者対策の充実	その他	無回答
全 体		2,754	19.2	25.7	3.8	7.2	12.5	20.2	21.2	19.9	60.3	36.7	5.1	6.3	16.0	22.2	1.5	1.2
年齢別	10代(18・19歳)	52	17.3	38.5	3.8	1.9	11.5	5.8	13.5	21.2	71.2	38.5	1.9	1.9	23.1	17.3	0.0	0.0
	20代	229	18.3	28.4	2.6	4.4	15.3	31.9	20.1	20.1	69.0	34.9	2.6	3.9	20.1	14.0	1.7	0.9
	30代	357	20.7	25.8	3.1	4.5	13.2	24.4	15.1	26.3	70.3	38.7	2.8	3.4	22.4	10.9	1.1	0.6
	40代	490	18.0	24.3	2.9	4.9	13.1	22.2	22.7	19.8	66.3	37.3	5.5	4.5	19.8	16.7	1.8	0.4
	50代	479	18.6	25.5	4.0	6.3	12.7	22.1	21.7	19.4	62.4	39.0	4.6	7.3	13.2	20.0	1.5	0.4
	60代	527	20.7	27.5	3.6	9.1	11.0	15.2	22.8	20.1	54.8	39.7	6.5	9.7	11.8	25.6	1.3	1.1
	70歳以上	595	19.0	23.0	5.4	11.4	11.6	15.8	23.0	17.1	48.4	31.4	6.6	7.2	12.9	36.0	1.3	3.0
「地震などに対する防災対策」の満足度	満足	68	19.1	35.3	5.9	2.9	11.8	14.7	13.2	14.7	63.2	32.4	8.8	8.8	23.5	19.1	0.0	0.0
	まあ満足	925	21.9	29.0	4.1	6.7	10.9	17.3	20.5	20.9	60.2	34.9	5.9	5.7	18.7	22.2	0.9	0.6
	やや不満	627	20.7	28.5	5.3	9.6	14.2	20.6	23.4	17.9	57.3	36.0	4.5	7.8	13.1	23.6	1.4	1.0
	不満	230	15.2	21.7	5.2	7.0	15.2	25.7	18.3	24.8	56.1	36.1	5.2	7.0	15.7	23.9	3.9	0.9
	わからない	821	16.2	21.2	1.8	6.5	12.4	21.8	21.6	19.9	64.3	40.4	4.1	5.2	15.3	19.9	1.3	1.8

全体より10%以上

全体より5%以上

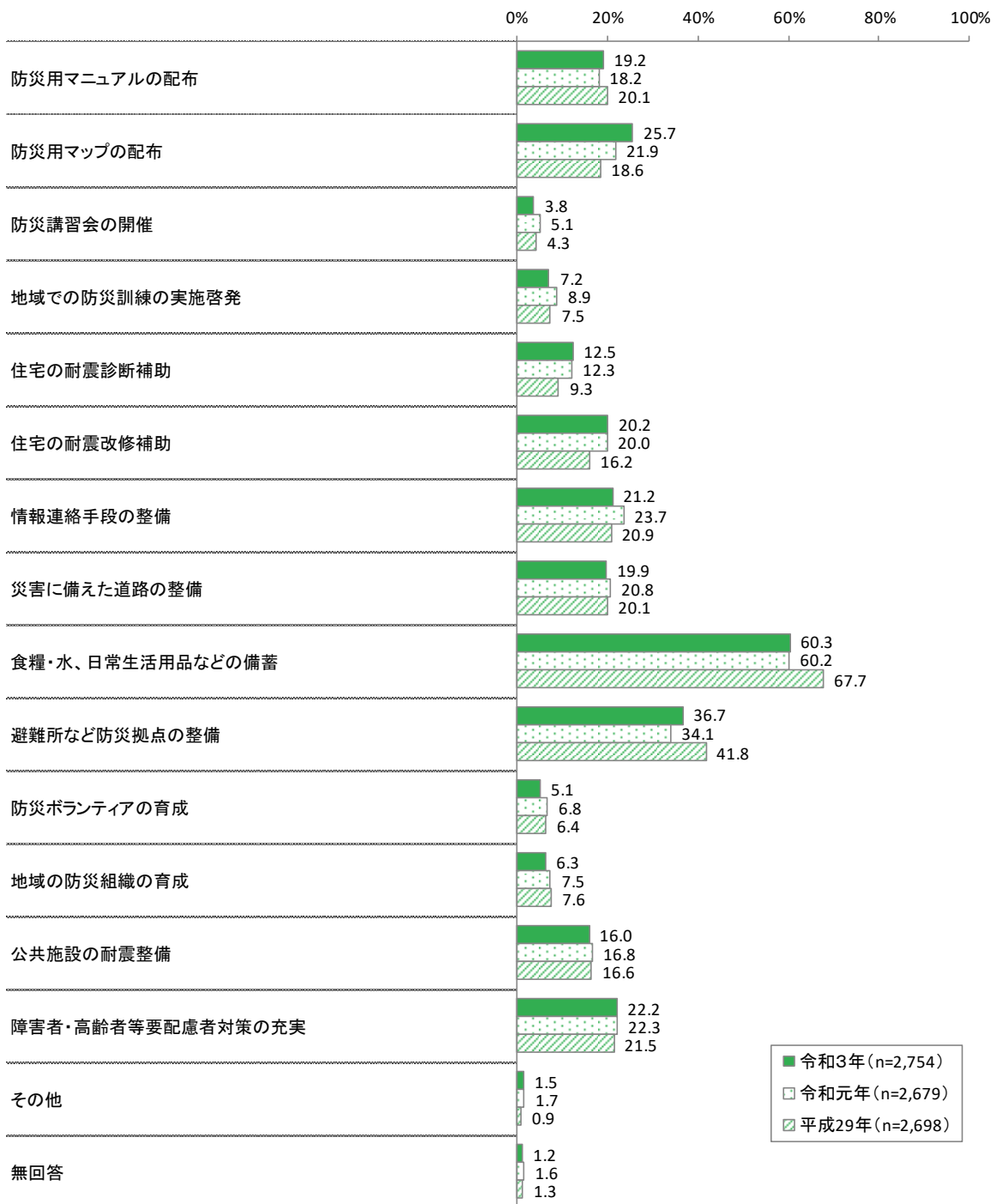
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「防災用マップの配布」(3.8ポイント増)、「避難所など防災拠点の整備」(2.6ポイント増)となっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「情報連絡手段の整備」(2.5ポイント減)などとなっている。【図表165】

図表 165 防災対策の行政への期待（経年比較）



5 衛生環境の行政への期待

問7 あなたが生活する上での衛生環境について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

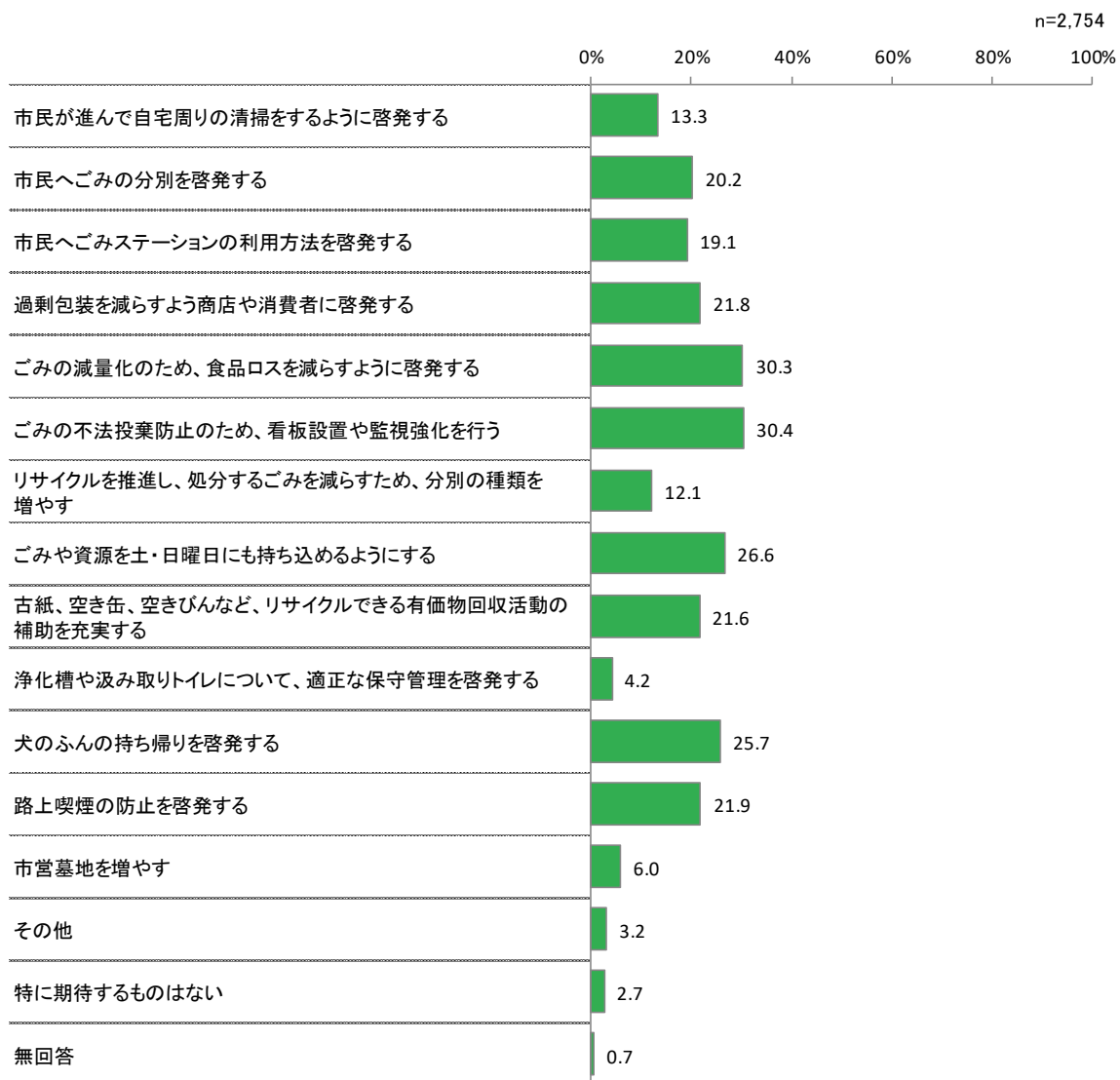
- ◆ 衛生環境で行政に期待することは「ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う」が30.4%、「ごみの減量化のため、食品ロスを減らすように啓発する」が30.3%

衛生環境で行政に期待することは、「ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う」(30.4%)が最も高く、次いで「ごみの減量化のため、食品ロスを減らすように啓発する」(30.3%)、「ごみや資源を土・日曜日にも持ち込めるようにする」(26.6%)の順となっている。

【図表 166】

年齢別でみると、全体平均と比較して「路上喫煙の防止を啓発する」は「20代」(38.0%)で割合が高くなっている。【図表 167】

図表 166 衛生環境の行政への期待（全体）



図表 167 衛生環境の行政への期待

(全体・年齢・ごみ処理対策の満足度、生活における衛生環境の満足度別)

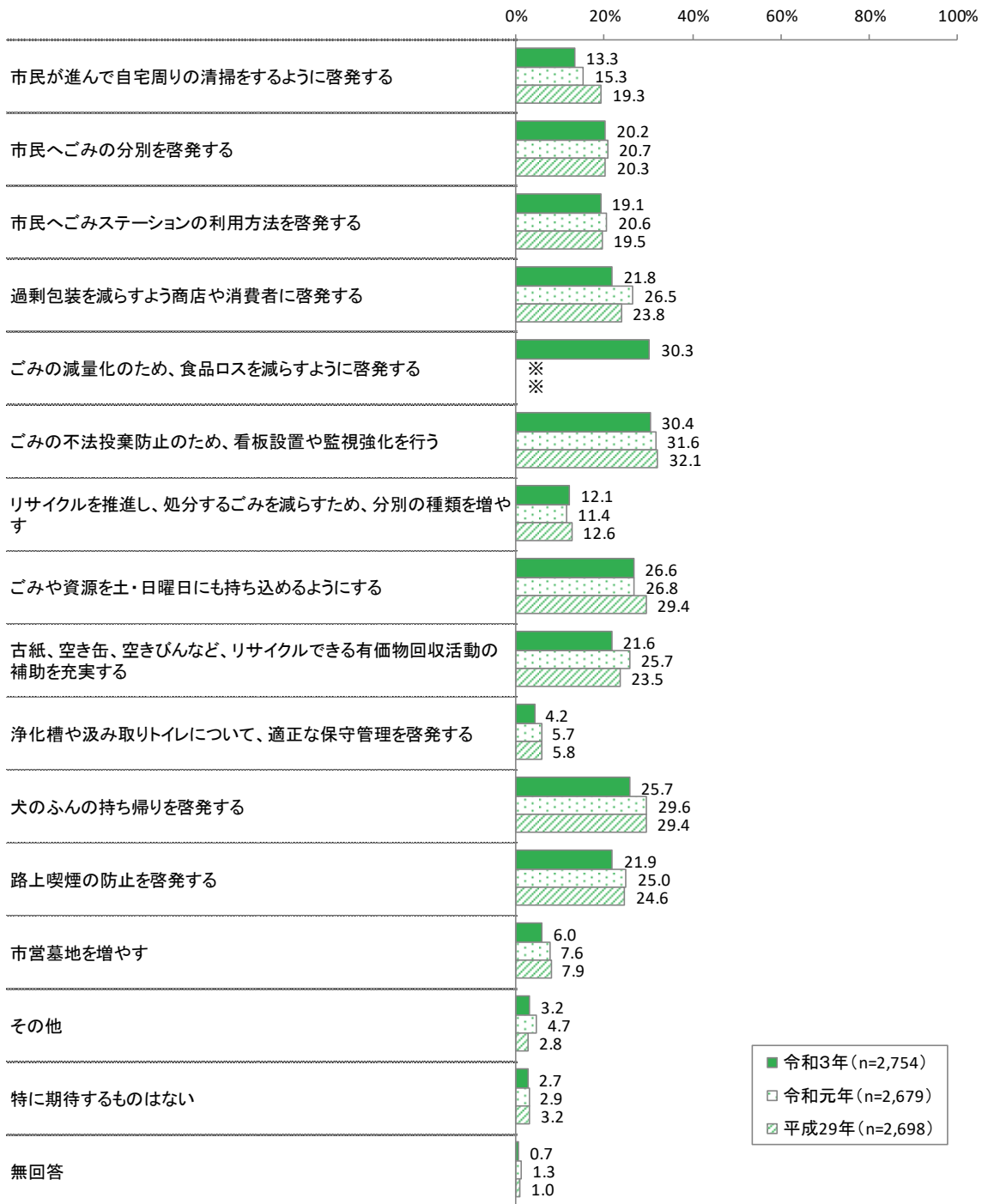
		(%)																
		件数	市民が進んで自宅周りの清掃をするように啓発する	市民へごみの分別を啓発する	市民へごみステーションの利用方法を啓発する	過剰包装を減らすよう商店や消費者に啓発する	ごみの減量化のため、食品ロスを減らすように啓発する	ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う	リサイクルを推進し、処分するごみを減らすため、分別の種類を増やす	ごみや資源を土・日曜日にも持ち込めるようにする	古紙、空き缶、空きびんなど、リサイクルできる有価物回収活動の補助を充実する	浄化槽や汲み取りトイレについて、適正な保守管理を啓発する	犬のふんの持ち帰りを啓発する	路上喫煙の防止を啓発する	市営墓地を増やす	その他	特に期待するものはない	無回答
全 体		2,754	13.3	20.2	19.1	21.8	30.3	30.4	12.1	26.6	21.6	4.2	25.7	21.9	6.0	3.2	2.7	0.7
年齢別	10代(18・19歳)	52	7.7	21.2	13.5	9.6	34.6	26.9	9.6	25.0	21.2	5.8	23.1	28.8	1.9	0.0	5.8	0.0
	20代	229	4.4	15.3	14.8	18.3	30.6	25.8	13.1	35.4	21.0	6.1	22.3	38.0	3.1	4.4	1.7	0.0
	30代	357	8.7	14.6	16.0	18.5	26.9	27.7	9.8	32.8	22.4	7.0	26.6	30.5	3.1	3.9	2.5	0.0
	40代	490	9.8	17.6	18.0	19.8	27.3	29.4	10.8	32.4	21.4	4.1	23.7	23.1	5.9	3.9	4.9	0.0
	50代	479	9.8	20.9	22.3	19.6	25.7	28.4	10.0	32.6	21.5	3.8	27.1	20.3	5.2	3.5	2.3	0.4
	60代	527	16.7	23.5	21.3	23.7	32.1	33.6	13.9	19.7	21.6	3.0	25.0	17.3	11.2	3.0	1.5	0.9
	70歳以上	595	22.2	24.0	19.5	27.6	36.5	33.6	14.8	16.0	22.0	3.2	28.1	15.1	5.0	1.8	2.4	1.8
「ごみ処理対策」の満足度	満足	501	15.0	16.8	18.0	22.2	30.3	30.5	7.6	25.3	23.0	4.0	25.1	24.8	6.0	3.2	2.8	0.8
	まあ満足	1,486	14.5	20.4	18.5	23.0	32.2	29.3	12.8	25.8	21.1	4.2	26.2	21.2	6.3	2.2	2.6	0.9
	やや不満	328	10.4	23.5	21.6	21.3	27.4	33.2	16.8	30.2	24.1	4.6	24.4	20.4	6.4	2.7	0.9	0.0
	不満	122	10.7	21.3	29.5	18.0	24.6	35.2	14.8	29.5	17.2	4.9	25.4	18.0	2.5	13.9	2.5	0.0
	わからない	241	7.1	18.7	16.6	17.4	25.3	32.0	7.9	29.5	21.2	3.7	26.1	25.7	4.1	4.1	5.4	0.0
「生活における衛生環境」の満足度	満足	305	13.8	17.7	15.7	26.2	29.8	31.1	9.5	24.6	19.3	5.6	23.6	25.2	3.6	2.6	3.6	0.3
	まあ満足	1,592	13.6	20.0	19.5	23.4	33.5	29.1	13.1	25.4	22.6	3.8	25.0	21.1	6.3	2.5	2.1	0.7
	やや不満	309	13.3	22.3	22.0	17.2	26.9	37.9	12.6	28.5	20.7	5.5	29.1	21.7	5.8	2.9	2.3	0.0
	不満	76	6.6	21.1	25.0	17.1	21.1	26.3	17.1	26.3	25.0	10.5	31.6	17.1	13.2	14.5	1.3	0.0
	わからない	390	12.3	20.3	16.7	17.2	23.1	30.3	8.5	32.6	19.2	2.8	26.7	24.6	5.1	4.1	4.4	0.8

全体より10%以上 全体より5%以上 全体より5%以下 全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して減少した項目は、「過剰包装を減らすよう商店や消費者に啓発する」(4.7ポイント減)、「古紙、空き缶、空きびんなど、リサイクルできる有価物回収活動の補助を充実する」(4.1ポイント減)、「犬のふんの持ち帰りを啓発する」(3.9ポイント減) などとなっている。【図表 168】

図表 168 衛生環境の行政への期待 (経年比較)



※調査項目に含まれず

6 省エネや環境に負荷をかけないための心掛け

問8 あなたは、省エネや環境に負荷をかけないために、日ごろ生活の中でどのようなことを心掛けていますか。次の中から行っていることすべてに○印をつけてください。

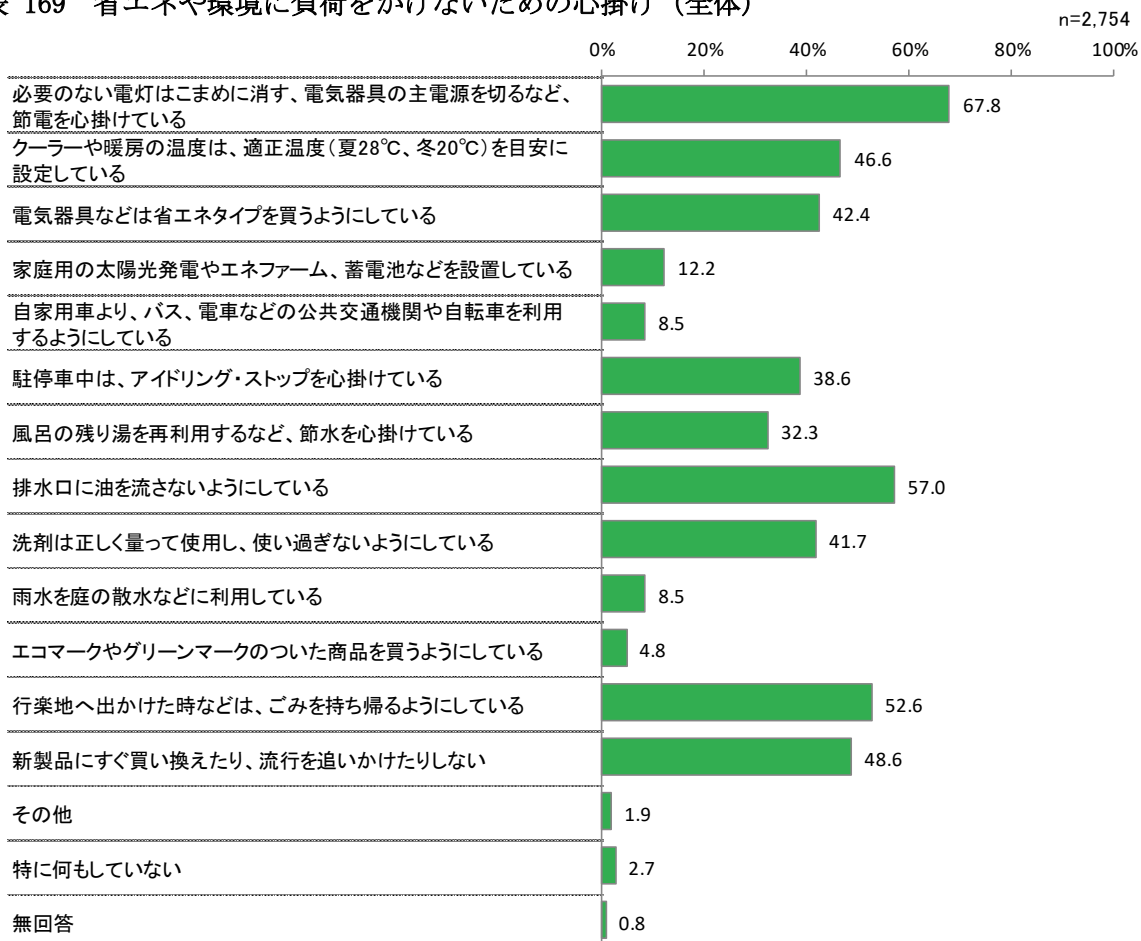
- ◆ 省エネや環境に負荷をかけないために日ごろ生活の中で心掛けていることは「必要のない電灯はこまめに消す、電気器具の主電源を切るなど、節電を心掛けている」が67.8%

省エネや環境に負荷をかけないために日ごろ生活の中で心掛けていることは、「必要のない電灯はこまめに消す、電気器具の主電源を切るなど、節電を心掛けている」(67.8%)が最も高く、次いで「排水口に油を流さないようにしている」(57.0%)、「行楽地へ出かけた時などは、ゴミを持ち帰るようにしている」(52.6%)の順となっている。【図表 169】

性別でみると、「女性」は多くの項目で「男性」を上回っており、特に「排水口に油を流さないようにしている」では、「男性」(44.1%)と「女性」(66.8%)の差が20ポイント以上と大きくなっている。その他に「洗剤は正しく量って使用し、使い過ぎないようにしている」、「行楽地へ出かけた時などは、ゴミを持ち帰るようにしている」、「新製品にすぐ買い換えたり、流行を追いかけたりしない」でも「男性」よりも「女性」の意識が高くなっている。【図表 170】

年齢別でみると、「70歳以上」で全体平均よりも割合が高い項目が多く、意識が高くなっている。特に「70歳以上」では、「クーラーや暖房の温度は、適正温度(夏28℃、冬20℃)を目安に設定している」(58.0%)、「洗剤は正しく量って使用し、使い過ぎないようにしている」(52.1%)、「雨水を庭の散水などに利用している」(18.8%)で、全体平均よりも10%以上割合が高くなっている。「10代(18・19歳)」では、「自家用車より、バス、電車などの公共交通機関や自転車を利用するようにしている」(23.1%)、「特に何もしていない」(13.5%)の割合が高くなっている。【図表 170】

図表 169 省エネや環境に負荷をかけないための心掛け (全体)



図表 170 省エネや環境に負荷をかけないための心掛け（全体・性別・年齢別）

		件数	(%)															
			必要のない電灯はこまめに消す、電気器具の主電源を切るなど、節電を心掛けている	28℃、冬20℃を目安に設定している	クーラーや暖房の温度は、適正温度（夏している）	電気器具などは省エネタイプを買いようにしている	家庭用の太陽光発電やエネファーム、蓄電池などを設置している	自家用車より、バス、電車などの公共交通機関や自転車を利用するようにしている	駐停車中は、アイドリング・ストップを心掛けている	風呂の残り湯を再利用するなど、節水を心掛けている	排水口に油を流さないようにしている	洗剤は正しく量って使用し、使い過ぎないようにしている	雨水を庭の散水などに利用している	エコマークやグリーンマークのついた商品を買うようにしている	行楽地へ出かけた時などは、ごみを持ち帰るようにしている	新製品にすぐ買い換えたり、流行を追いかけたりしない	その他	特に何もしていない
全体		2,754	67.8	46.6	42.4	12.2	8.5	38.6	32.3	57.0	41.7	8.5	4.8	52.6	48.6	1.9	2.7	0.8
性別	男性	1,148	66.2	45.7	40.1	11.1	10.5	37.3	32.7	44.1	33.1	7.6	4.3	45.7	42.2	1.6	3.8	0.9
	女性	1,552	69.1	47.5	44.5	13.2	7.0	39.5	32.3	66.8	48.3	9.0	5.0	57.6	53.4	2.2	1.9	0.5
年齢別	10代(18・19歳)	52	63.5	30.8	26.9	11.5	23.1	11.5	23.1	34.6	42.3	3.8	0.0	59.6	38.5	1.9	13.5	1.9
	20代	229	71.2	38.4	23.6	10.0	9.6	35.4	27.9	47.2	31.0	3.9	2.6	41.0	34.9	0.4	3.9	0.9
	30代	357	70.0	36.1	35.0	21.6	7.6	36.1	25.2	52.1	36.1	3.1	1.7	47.9	47.9	2.2	4.2	0.0
	40代	490	67.8	43.7	43.7	17.3	8.8	36.5	26.5	53.5	35.5	4.3	4.9	48.2	45.9	2.2	2.7	0.4
	50代	479	68.3	43.8	43.2	11.1	5.6	39.7	32.6	58.0	39.9	5.0	5.2	45.5	52.6	1.0	2.3	0.4
	60代	527	64.5	51.4	48.8	10.1	6.8	41.9	35.1	62.4	46.1	9.7	4.6	60.0	49.5	2.7	1.9	0.6
	70歳以上	595	68.6	58.0	48.2	6.1	10.6	41.8	41.5	63.7	52.1	18.8	7.2	62.2	53.3	2.0	1.5	1.3

全体より10%以上

全体より5%以上

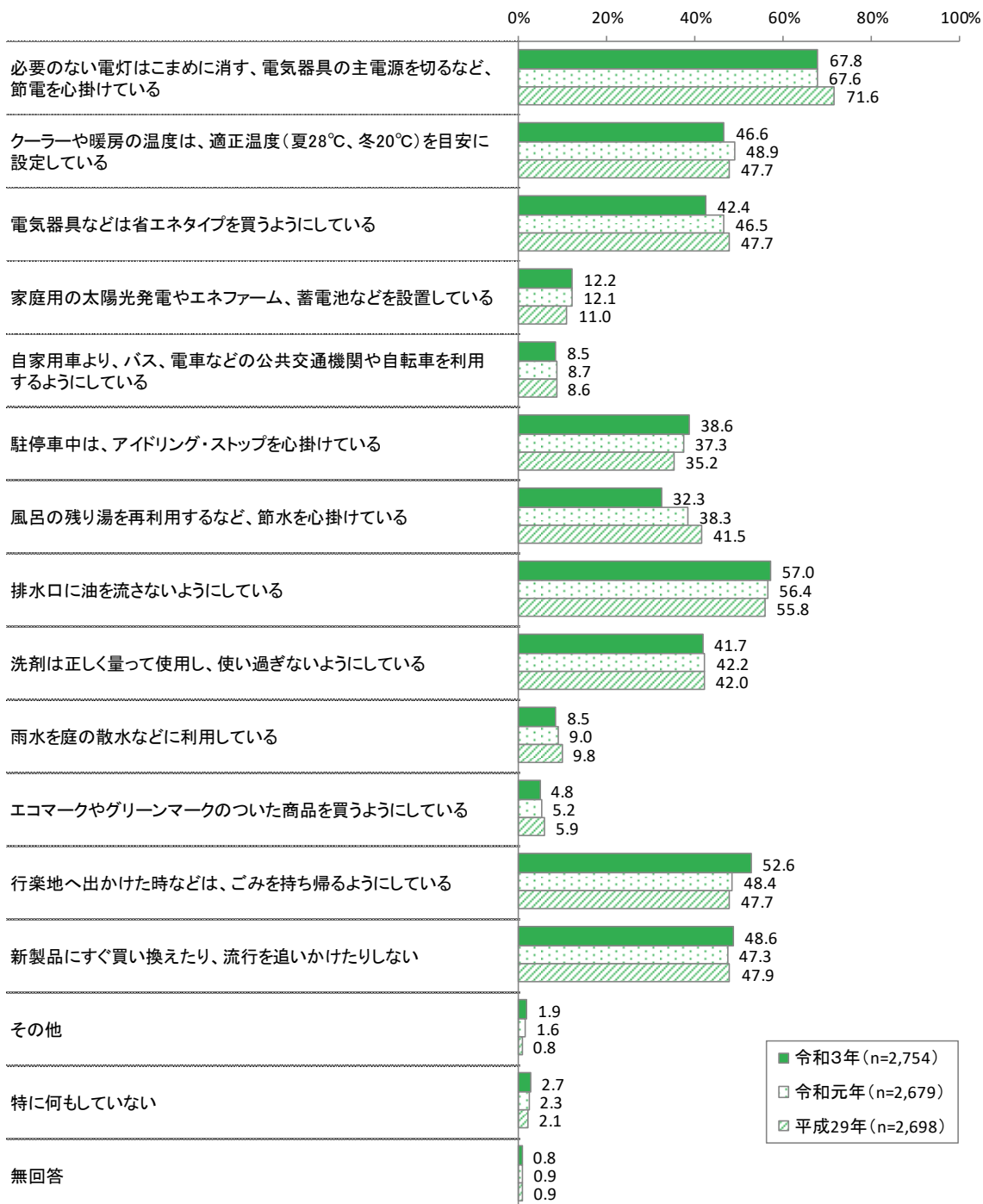
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「行楽地へ出かけた時などは、ごみを持ち帰るようにしている」(4.2ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「風呂の残り湯を再利用するなど、節水を心掛けている」(6.0ポイント減)、「電気器具などは省エネタイプを買うようにしている」(4.1ポイント減)、「クーラーや暖房の温度は、適正温度(夏28℃、冬20℃)を目安に設定している」(2.3ポイント減)などとなっている。【図表 171】

図表 171 省エネや環境に負荷をかけないための心掛け(経年比較)



4 健康・福祉について

1 健康の維持・増進のための心掛け

問9 あなたは、健康維持や増進のために、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。次の中から行っていることすべてに○印をつけてください。

◆ **健康維持や増進のために日ごろから心掛けていることは「睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている」が51.7%**

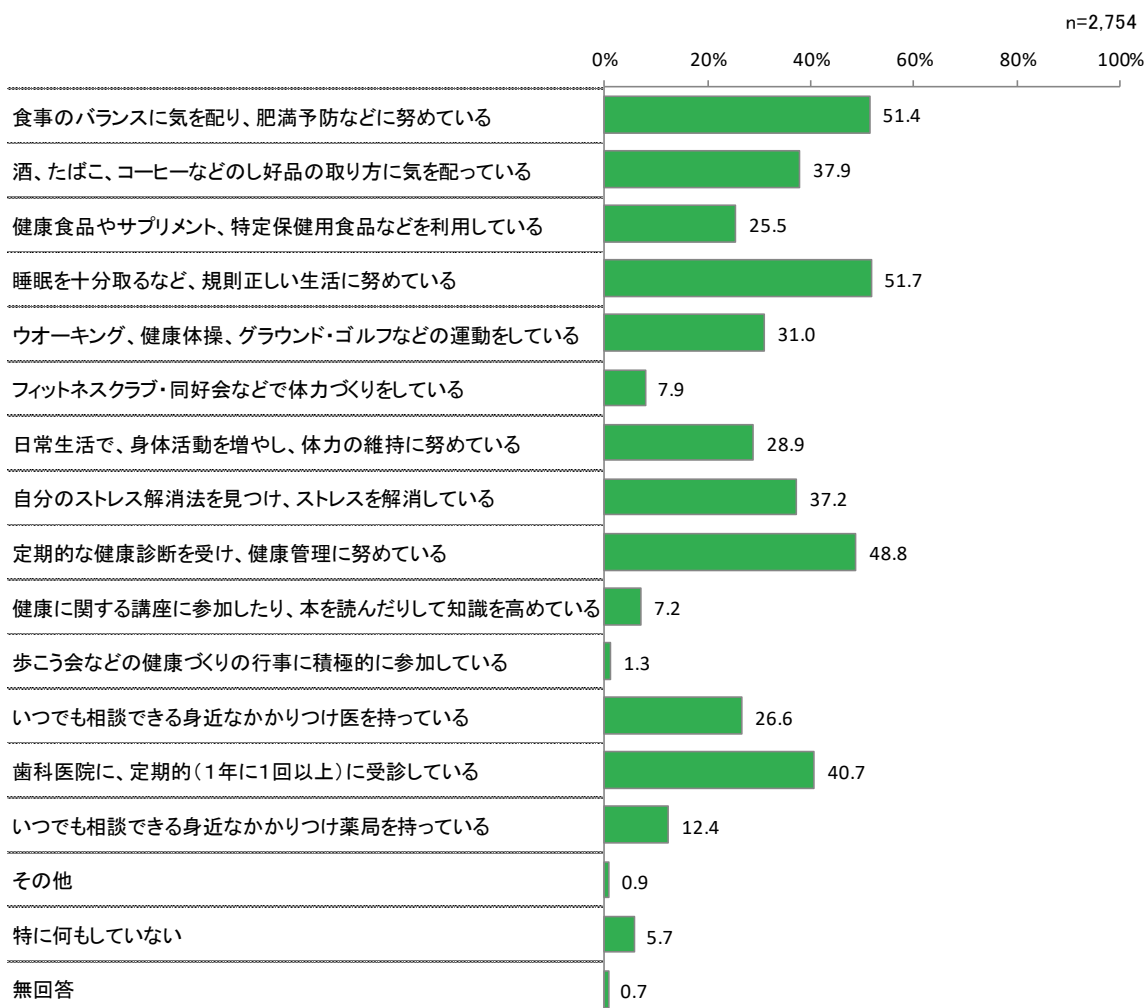
健康維持や増進のために日ごろから心掛けていることは、「睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている」(51.7%)が最も高く、次いで「食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている」(51.4%)、「定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている」(48.8%)の順となっている。【図表 172】

性別でみると、「健康食品やサプリメント、特定保健用食品などを利用している」では、「女性」(31.1%)が「男性」(17.9%)を13.2ポイント上回っている。【図表 173】

年齢別でみると、「70歳以上」で全体平均よりも高い割合の項目が多く、健康への意識が高くなっている。【図表 173】

職業別でみると、「無職」で全体平均よりも高い割合の項目が多くなっている。「定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている」では、「管理職・会社経営」(72.7%)で、「自分のストレス解消法を見つけ、ストレスを解消している」では、「学生」(49.3%)で割合が高くなっている。【図表 173】

図表 172 健康の維持・増進のための心掛け（全体）



図表 173 健康の維持・増進のための心掛け（全体・性別・年齢・職業別）

		件数	食事のバランスに努めている	酒、たばこ、コーヒーなどの嗜好品の取り方に気を配っている	健康食品やサプリメント、特定保健用食品などを利用している	睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている	ウォーキング、健康体操、グラウンド・ゴルフなどの運動をしている	フィットネスクラブ・同好会などで体づくりをしている	日常生活で、身体活動を増やし、体力の維持に努めている	自分のストレス解消法を見つけ、ストレスを解消している	定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている	健康に関する講座に参加したり、本を読んだりして知識を高めている	積極的に参加している	歩こう会などの健康づくりの行事に積極的に参加している	いつでも相談できる身近なかかりつけ薬局を持っている	歯科医院に、定期的（1年に1回以上）に受診している	いつでも相談できる身近なかかりつけ薬局を持っている	その他	特に何もしていない	無回答
全体		2,754	51.4	37.9	25.5	51.7	31.0	7.9	28.9	37.2	48.8	7.2	1.3	26.6	40.7	12.4	0.9	5.7	0.7	
性別	男性	1,148	46.8	36.9	17.9	49.7	35.4	6.4	30.1	34.8	49.5	4.0	1.3	25.3	34.8	9.4	1.4	6.6	0.8	
	女性	1,552	54.9	38.5	31.1	53.3	28.0	9.1	28.0	39.2	49.1	9.7	1.3	27.6	45.6	14.6	0.6	5.0	0.4	
年齢別	10代（18・19歳）	52	40.4	36.5	15.4	38.5	21.2	1.9	28.8	44.2	21.2	7.7	0.0	23.1	19.2	13.5	1.9	7.7	1.9	
	20代	229	44.1	46.3	23.6	44.5	21.4	8.7	33.6	46.3	24.9	5.2	0.4	13.5	28.4	6.6	1.3	7.0	0.9	
	30代	357	42.6	36.7	22.7	47.9	23.0	5.6	23.8	38.1	43.1	4.8	0.6	12.0	37.0	8.1	0.6	9.0	0.3	
	40代	490	48.4	34.7	25.9	48.0	25.3	7.8	25.9	35.9	50.6	8.0	1.2	16.1	38.0	10.0	1.0	7.6	0.4	
	50代	479	48.0	31.9	30.3	45.9	26.3	9.6	24.0	36.7	54.3	8.6	1.0	18.8	41.3	9.6	0.8	6.9	0.2	
	60代	527	52.9	36.2	23.5	52.9	35.5	9.9	29.6	34.9	52.9	5.9	1.5	33.8	46.9	13.7	0.8	3.0	0.4	
	70歳以上	595	64.7	44.7	26.1	64.5	45.5	6.6	35.8	36.1	55.1	8.9	2.2	49.4	46.6	20.3	1.2	3.2	1.2	
職業別	事務系勤労者	421	50.6	38.7	29.5	50.1	33.3	8.6	26.8	37.3	54.6	6.4	1.7	18.3	41.1	8.1	0.7	5.2	0.2	
	労働系勤労者	499	37.9	31.7	21.2	42.1	22.8	7.8	24.6	40.1	46.7	3.2	0.6	14.4	31.3	8.0	1.0	9.6	0.8	
	管理職・会社経営	143	50.3	34.3	24.5	48.3	37.8	9.1	30.1	31.5	72.7	7.0	0.7	22.4	42.7	8.4	0.0	4.9	0.0	
	商店・サービス業の個人経営	85	52.9	44.7	31.8	49.4	25.9	8.2	27.1	41.2	42.4	10.6	0.0	30.6	45.9	14.1	0.0	3.5	0.0	
	自由業	37	59.5	43.2	32.4	51.4	24.3	10.8	27.0	45.9	43.2	10.8	0.0	13.5	32.4	5.4	0.0	2.7	0.0	
	農林水産業	65	53.8	29.2	30.8	58.5	13.8	9.2	36.9	35.4	44.6	4.6	1.5	35.4	36.9	9.2	1.5	3.1	0.0	
	主婦（夫）	375	62.1	40.3	30.7	53.6	35.5	8.3	27.2	36.5	45.9	12.5	1.9	32.8	48.5	17.6	0.8	5.6	0.3	
	パートタイマー・アルバイト	490	47.1	37.1	28.0	53.3	24.9	7.8	28.8	38.4	47.8	8.2	1.0	25.9	41.4	13.3	0.6	4.7	0.4	
	学生	71	42.3	40.8	15.5	36.6	19.7	7.0	32.4	49.3	19.7	5.6	0.0	22.5	31.0	8.5	1.4	8.5	0.0	
	無職	485	62.3	43.7	20.4	63.3	45.2	6.6	35.5	32.6	50.1	6.6	2.1	43.7	43.7	18.4	1.6	4.1	1.2	
	その他	51	51.0	31.4	13.7	43.1	17.6	7.8	17.6	37.3	45.1	7.8	2.0	19.6	51.0	9.8	3.9	7.8	2.0	

全体より10%以上

全体より5%以上

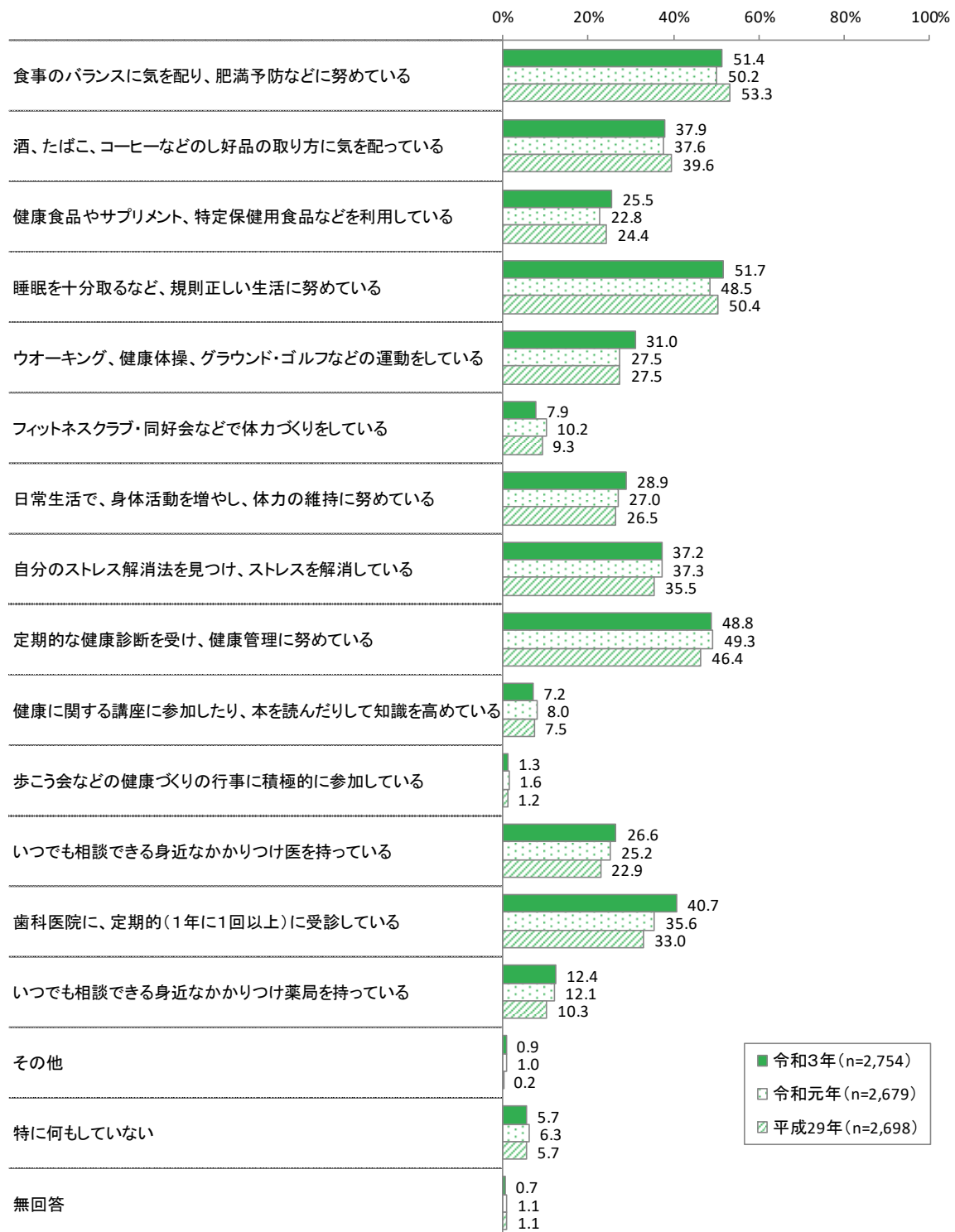
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ 経年比較 ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「歯科医院に、定期的（1年に1回以上）に受診している」（5.1ポイント増）、「ウォーキング、健康体操、グラウンド・ゴルフなどの運動をしている」（3.5ポイント増）、「睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている」（3.2ポイント増）などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「フィットネスクラブ・同好会などで体づくりをしている」（2.3ポイント減）などとなっている。【図表 174】

図表 174 健康の維持・増進のための心掛け（経年比較）



2 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと

問10 あなたは、子どもを生み、育てる環境を充実させるために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ 子どもを生み、育てる環境を充実させるために行政が取り組むべきことは「子育てに掛かる費用負担を減らす」が47.5%

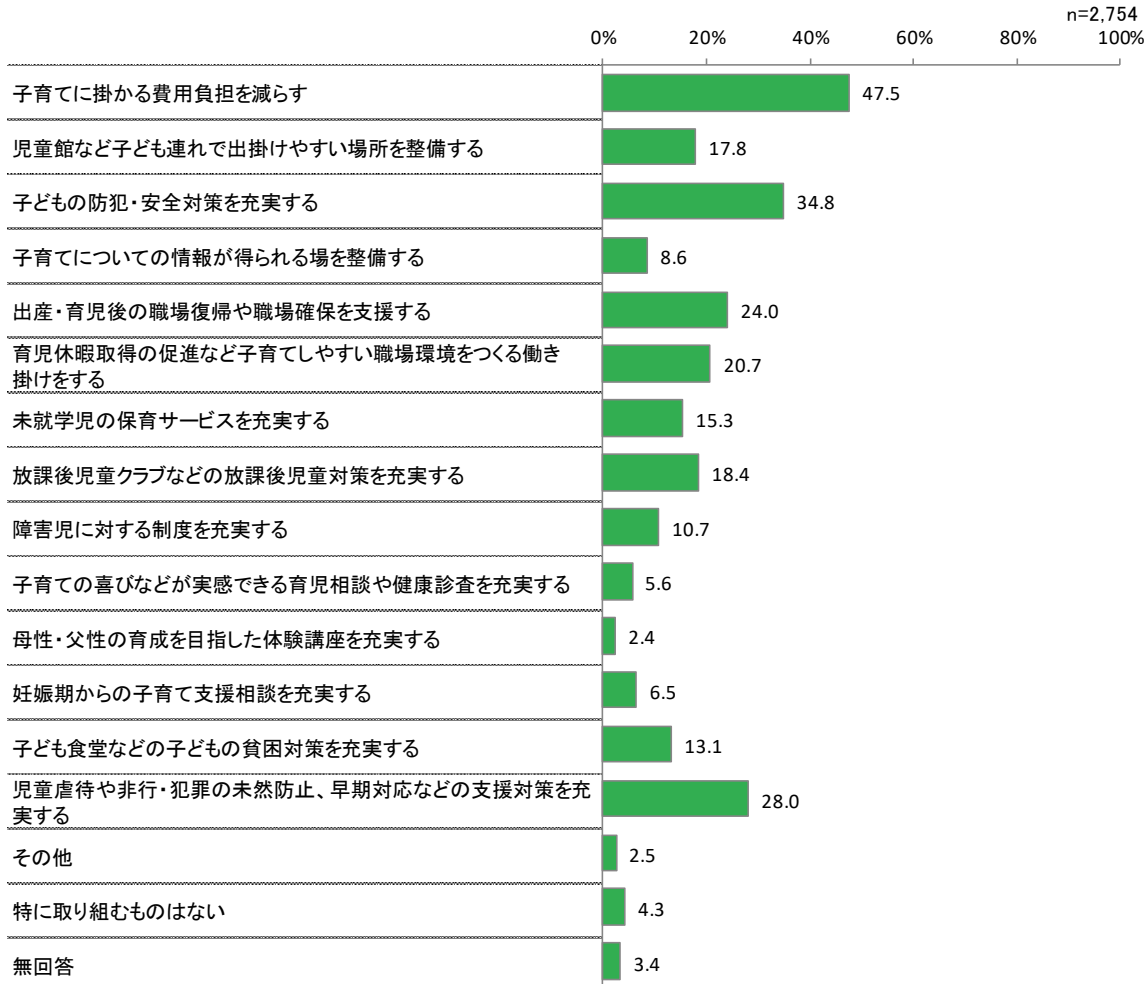
子どもを生み、育てる環境を充実させるために行政が取り組むべきことは、「子育てに掛かる費用負担を減らす」(47.5%)が最も高く、次いで「子どもの防犯・安全対策を充実する」(34.8%)、「児童虐待や非行・犯罪の未然防止、早期対応などの支援対策を充実する」(28.0%)の順となっている。【図表 175】

性別でみると、「子育てに掛かる費用負担を減らす」では、「男性」(54.2%)が「女性」(42.5%)を10ポイント以上上回っている。【図表 176】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「子育てに掛かる費用負担を減らす」では、「30代」(67.8%)、「20代」(66.8%)、「10代(18・19歳)」(61.5%)の割合が高くなっている。「20代」では、「育児休暇取得の促進など子育てしやすい職場環境をつくる働き掛けをする」(31.0%)、「出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する」(34.1%)の割合も高くなっている。【図表 176】

職業別でみると、全体平均と比較して「子育てに掛かる費用負担を減らす」では、「学生」(64.8%)、「育児休暇取得の促進など子育てしやすい職場環境をつくる働き掛けをする」では、「学生」(31.0%)、「農林水産業」(30.8%)の割合が高くなっている。【図表 176】

図表 175 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと (全体)



図表 176 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと

(全体・性別・年齢・職業・子どもを生子、育てる環境の満足度別)

		件数																(%)	
			子育てに掛かる費用負担を減らす	児童館など子ども連れで出掛けやすい場所を整備する	子どもの防犯・安全対策を充実する	子育てについての情報が得られる場を整備する	支援する	出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する	育児休暇取得の促進など子育てしやすい職場環境をつくる働き掛けをする	未就学児の保育サービスを充実する	放課後児童クラブなどの放課後児童対策を充実する	障害児に対する制度を充実する	子育ての喜びなどが実感できる育児相談や健康診査を充実する	母子・父性の育成を目指した体験講座を充実する	妊娠期からの子育て支援相談を充実する	子ども食堂などの子どもの貧困対策を充実する	児童虐待や非行・犯罪の未然防止、早期対応などの支援対策を充実する	その他	特に取り組むものはない
全 体		2,754	47.5	17.8	34.8	8.6	24.0	20.7	15.3	18.4	10.7	5.6	2.4	6.5	13.1	28.0	2.5	4.3	3.4
性別	男性	1,148	54.2	16.1	34.8	7.8	23.4	18.0	13.7	16.4	10.5	4.6	2.2	7.3	11.0	26.3	2.5	5.8	4.0
	女性	1,552	42.5	19.3	35.0	9.1	24.4	22.5	16.6	20.3	10.8	6.3	2.6	6.0	14.5	29.6	2.6	3.2	2.4
年齢別	10代(18・19歳)	52	61.5	11.5	30.8	9.6	30.8	19.2	9.6	5.8	11.5	9.6	3.8	5.8	17.3	28.8	3.8	1.9	1.9
	20代	229	66.8	12.2	23.6	11.4	34.1	31.0	12.7	9.2	10.0	4.4	5.7	15.7	13.1	21.4	3.1	2.2	0.9
	30代	357	67.8	21.6	36.7	8.1	26.3	22.7	19.6	16.2	7.0	3.1	2.5	7.0	10.1	18.8	3.6	2.8	0.8
	40代	490	52.7	16.3	35.7	9.2	18.2	19.2	16.1	21.6	12.2	3.7	1.4	6.5	14.1	29.6	4.5	3.5	1.4
	50代	479	42.0	16.5	34.9	8.4	25.5	19.0	15.7	20.3	12.3	6.9	2.1	6.1	13.8	28.0	2.7	5.0	1.3
	60代	527	39.5	19.7	37.2	8.0	24.5	18.8	17.6	21.4	9.9	5.9	1.5	5.7	14.2	34.5	1.1	4.0	1.9
	70歳以上	595	34.3	18.7	35.8	8.1	20.7	20.0	11.1	18.0	10.9	7.1	3.0	3.9	12.4	28.9	1.2	6.9	10.3
職業別	事務系勤労者	421	52.7	20.0	31.8	10.2	25.9	17.3	18.3	21.9	9.7	6.2	3.3	6.4	11.4	26.1	3.3	3.8	1.7
	労働系勤労者	499	57.1	14.0	31.9	7.0	27.1	24.0	14.6	15.8	9.6	3.2	2.0	9.0	11.8	23.8	3.2	5.8	1.6
	管理職・会社経営	143	53.8	20.3	38.5	9.1	18.9	13.3	18.9	16.8	14.0	4.9	2.8	11.2	9.8	32.2	2.8	1.4	0.0
	商店・サービス業の個人経営	85	45.9	22.4	41.2	4.7	22.4	15.3	14.1	16.5	11.8	5.9	2.4	4.7	20.0	31.8	3.5	1.2	3.5
	自由業	37	51.4	21.6	40.5	8.1	27.0	21.6	18.9	18.9	13.5	0.0	2.7	10.8	16.2	24.3	2.7	0.0	0.0
	農林水産業	65	40.0	9.2	40.0	10.8	23.1	30.8	12.3	23.1	12.3	4.6	1.5	0.0	12.3	21.5	4.6	6.2	3.1
	主婦(夫)	375	41.9	19.7	38.9	8.0	21.1	19.7	13.9	16.8	12.5	7.2	2.7	7.2	12.5	30.1	2.1	4.8	4.3
	パートタイマー・アルバイト	490	45.9	19.2	35.7	7.6	24.3	21.6	17.1	20.2	9.4	5.5	2.0	5.5	15.5	32.9	2.2	3.1	1.0
	学生	71	64.8	12.7	29.6	14.1	28.2	31.0	8.5	9.9	8.5	8.5	1.4	7.0	21.1	21.1	2.8	0.0	1.4
	無職	485	36.9	16.1	33.0	9.9	22.5	19.0	12.6	18.6	10.9	6.4	2.5	3.9	13.2	28.5	1.0	6.6	9.5
その他	51	47.1	19.6	43.1	7.8	19.6	29.4	21.6	21.6	9.8	3.9	3.9	3.9	9.8	21.6	5.9	3.9	2.0	
「子どもを生子、育てる環境」の満足度	満足	181	47.5	22.7	31.5	10.5	19.9	24.9	12.7	21.0	8.8	7.2	2.8	7.7	10.5	37.6	1.7	2.2	2.2
	まあ満足	1,163	45.7	17.9	39.3	9.7	23.8	21.2	14.6	19.3	11.2	6.7	2.1	6.5	12.3	29.2	1.6	3.1	3.1
	やや不満	434	55.5	20.7	33.9	9.0	25.6	20.0	19.4	18.4	10.1	5.8	2.8	6.9	14.7	23.5	3.7	1.8	1.6
	不満	160	63.8	20.0	33.1	3.8	27.5	15.6	19.4	19.4	13.1	3.1	3.1	6.3	13.1	23.1	6.9	1.9	3.1
わからない	737	43.0	15.1	29.6	7.7	23.9	20.8	14.1	16.4	9.9	3.5	2.7	5.8	13.3	27.5	2.6	8.7	4.3	

全体より10%以上

全体より5%以上

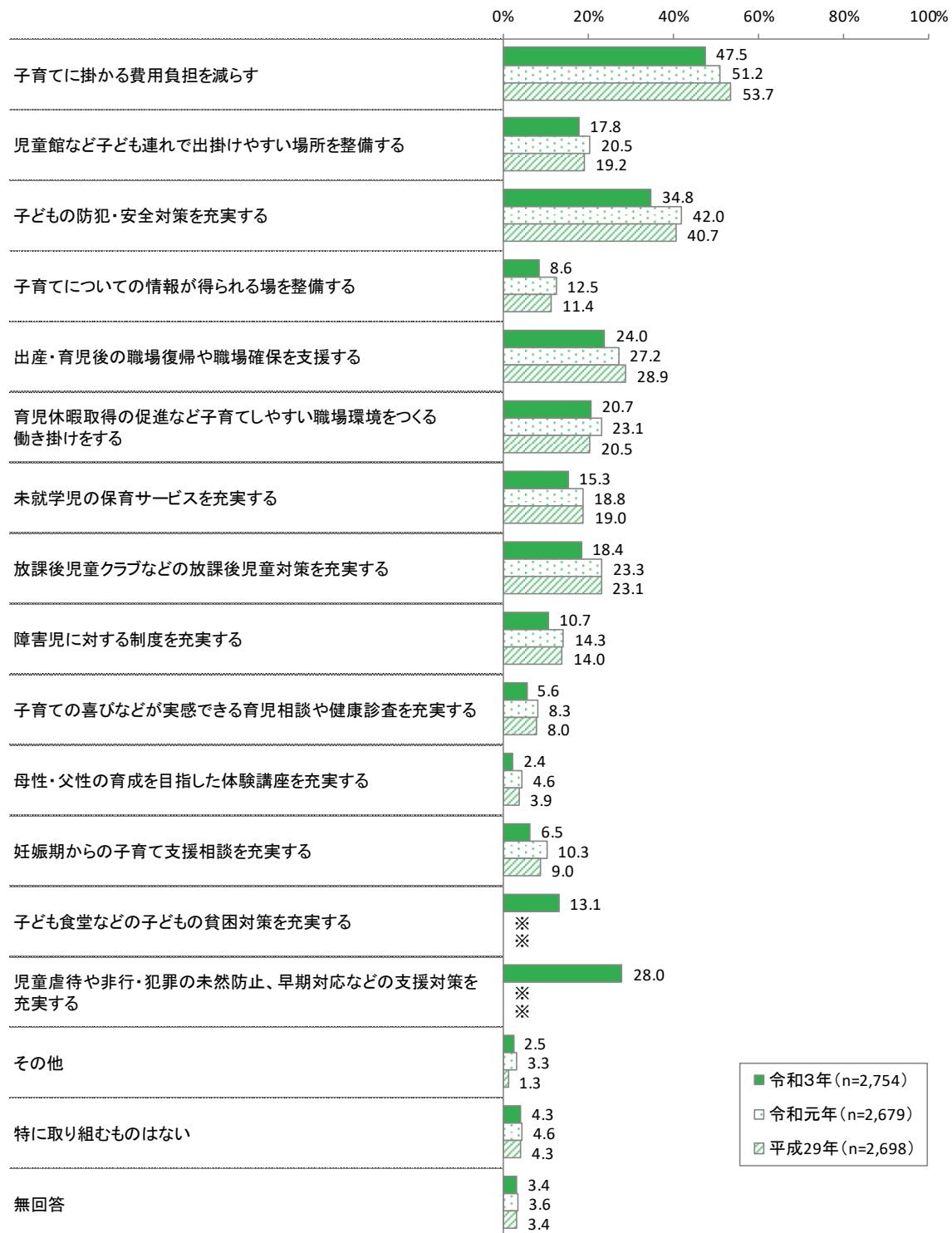
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して減少した項目は、「子どもの防犯・安全対策を充実する」(7.2ポイント減)、「放課後児童クラブなどの放課後児童対策を充実する」(4.9ポイント減)、「子育てについての情報が得られる場を整備する」(3.9ポイント減)、「妊娠期からの子育て支援相談を充実する」(3.8ポイント減)、「子育てに掛かる費用負担を減らす」(3.7ポイント減)などとなっている。一方、前回調査と比較して増加した項目はない。【図表 177】

図表 177 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと（経年比較）



※調査項目に含まれず

5 建設・整備について

1 公共交通機関の利便性の行政への期待

問11 あなたは、公共交通機関（電車・バス）の利便性を向上させるために、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ **公共交通機関の利便性向上のために行政に期待することは「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」が34.8%**

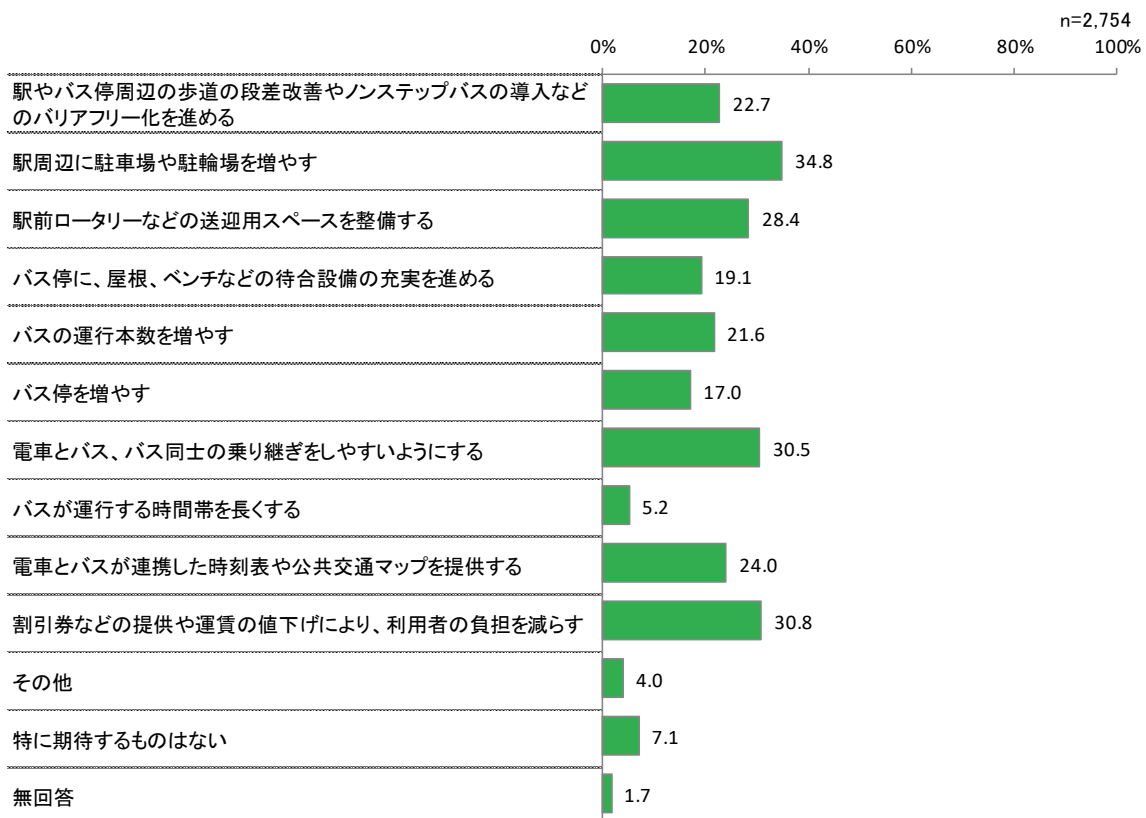
公共交通機関の利便性を向上させるために行政に期待することは、「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」(34.8%)が最も高く、次いで「割引券などの提供や運賃の値下げにより、利用者の負担を減らす」(30.8%)、「電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすいようにする」(30.5%)の順となっている。【図表 178】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「バス停に、屋根、ベンチなどの待合設備の充実を進める」では、「10代(18・19歳)」(30.8%)の割合が高くなっており、「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」では、「20代」(45.0%)の割合が高くなっている。【図表 179】

通勤・通学先別でみると、全体平均と比較して、「名古屋市」、「新城市」、「田原市」では、「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」の割合が10%以上高く、「田原市」では、「駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する」の割合も10%以上高くなっている。【図表 179】

居住小学校区別でみると、全体平均と比較して、「電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすいようにする」では、「長沢小学校区」(52.6%)、「赤坂小学校区」(48.7%)、「萩小学校区」(43.5%)の割合が高く、「バスの運行本数を増やす」では、「長沢小学校区」(42.1%)、「駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する」では、「国府小学校区」(44.3%)の割合が高くなっている。【図表 179】

図表 178 公共交通機関の利便性の行政への期待（全体）



図表 179 公共交通機関の利便性の行政への期待

(全体・年齢・通勤・通学先・小学校区・公共交通機関の利便性の満足度別)

		件数	どのバスや駅周辺の歩道の段差な改善を促進する	駅周辺の駐車場や駐輪場を増やす	駅前ロータリーなどの送迎スペースを整備する	待合設備の充実を進める	バスの運行本数を増やす	バス停を増やす	電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすいようにする	バスが運行する時間帯を長くする	公共交通マップを提供する	割引券などの提供や運賃の値下げにより、利用者の負担を減らす	その他	特に期待するものはない	無回答
全体		2,754	22.7	34.8	28.4	19.1	21.6	17.0	30.5	5.2	24.0	30.8	4.0	7.1	1.7
年齢別	10代(18・19歳)	52	19.2	44.2	34.6	30.8	23.1	17.3	34.6	3.8	21.2	23.1	1.9	7.7	0.0
	20代	229	27.1	45.0	27.9	19.7	19.2	14.8	31.4	5.7	21.4	33.2	3.9	4.8	0.9
	30代	357	21.6	40.6	26.6	21.8	16.2	13.7	28.0	6.7	26.9	28.3	4.2	7.6	0.0
	40代	490	20.4	35.3	33.3	13.5	23.7	19.6	30.0	6.7	22.4	28.0	4.7	7.3	0.6
	50代	479	20.5	30.1	33.4	13.6	21.9	19.8	31.9	5.8	24.4	30.5	4.6	6.9	0.6
	60代	527	24.7	37.0	29.6	19.4	19.7	14.0	32.4	2.8	27.3	33.4	3.6	5.9	2.1
	70歳以上	595	24.5	28.2	20.3	24.2	25.0	18.3	28.7	4.4	22.0	32.9	3.0	8.9	3.9
通勤・通学先	通勤・通学していない	560	23.9	35.4	27.0	20.5	25.0	17.9	29.5	5.2	22.1	32.5	3.9	7.3	2.0
	豊川市内	1,210	22.5	35.0	30.1	18.5	19.4	17.1	31.0	4.6	23.2	30.8	4.0	7.0	1.0
	豊橋市	250	21.6	31.6	30.0	15.6	24.0	20.4	30.4	6.8	24.4	28.8	3.2	10.0	1.2
	蒲郡市	56	30.4	35.7	23.2	21.4	19.6	14.3	33.9	5.4	26.8	28.6	5.4	3.6	1.8
	新城市	54	25.9	50.0	27.8	22.2	14.8	14.8	18.5	13.0	27.8	35.2	1.9	1.9	0.0
	田原市	13	15.4	46.2	38.5	0.0	15.4	15.4	38.5	7.7	15.4	38.5	0.0	7.7	0.0
	岡崎市	68	25.0	39.7	29.4	17.6	23.5	17.6	27.9	5.9	30.9	32.4	1.5	5.9	0.0
	名古屋市	76	17.1	51.3	31.6	15.8	25.0	17.1	36.8	5.3	13.2	32.9	9.2	2.6	0.0
	左記以外の愛知県	95	17.9	44.2	35.8	13.7	21.1	13.7	38.9	6.3	30.5	25.3	6.3	2.1	0.0
	県外	51	27.5	39.2	29.4	9.8	19.6	15.7	37.3	7.8	25.5	29.4	5.9	2.0	0.0
居住小学校区別	豊川小学校区	115	17.4	36.5	33.9	22.6	23.5	10.4	32.2	4.3	27.8	36.5	2.6	6.1	0.0
	桜木小学校区	91	23.1	31.9	37.4	24.2	23.1	17.6	29.7	5.5	26.4	27.5	1.1	7.7	1.1
	豊小学校区	122	24.6	36.1	34.4	18.9	13.1	18.9	24.6	4.1	27.0	31.1	0.8	9.8	0.8
	東部小学校区	106	23.6	24.5	32.1	13.2	22.6	25.5	22.6	1.9	22.6	23.6	6.6	12.3	2.8
	金屋小学校区	81	24.7	33.3	33.3	22.2	17.3	8.6	27.2	4.9	35.8	37.0	7.4	3.7	0.0
	三蔵子小学校区	166	24.1	31.9	31.9	17.5	18.7	21.7	25.9	6.0	17.5	28.9	2.4	9.6	3.0
	桜町小学校区	85	27.1	30.6	31.8	18.8	27.1	23.5	36.5	1.2	21.2	29.4	2.4	4.7	3.5
	代田小学校区	122	24.6	36.1	19.7	23.8	18.0	7.4	37.7	5.7	27.9	35.2	5.7	4.1	3.3
	中部小学校区	182	23.1	37.9	20.3	24.7	15.4	10.4	31.9	4.9	29.1	31.9	4.4	10.4	1.6
	牛久保小学校区	105	25.7	41.0	20.0	25.7	18.1	16.2	29.5	6.7	21.9	33.3	2.9	5.7	1.9
	天王小学校区	75	32.0	34.7	26.7	25.3	9.3	16.0	28.0	2.7	33.3	28.0	5.3	8.0	0.0
	国府小学校区	174	23.6	38.5	44.3	14.4	18.4	18.4	27.6	4.6	17.8	28.2	4.0	7.5	1.7
	御油小学校区	137	19.0	35.8	32.8	16.8	24.8	21.2	33.6	4.4	25.5	38.7	1.5	3.6	0.7
	千両小学校区	39	23.1	25.6	15.4	23.1	35.9	17.9	20.5	5.1	25.6	30.8	5.1	7.7	0.0
	八南小学校区	161	16.1	29.8	24.8	22.4	29.8	24.2	32.9	5.6	24.2	33.5	3.1	5.0	1.9
	平尾小学校区	56	28.6	32.1	39.3	14.3	30.4	16.1	28.6	10.7	23.2	28.6	3.6	1.8	0.0
	一宮東部小学校区	71	21.1	31.0	15.5	19.7	28.2	14.1	36.6	8.5	31.0	33.8	5.6	5.6	0.0
	一宮西部小学校区	118	22.0	36.4	30.5	16.1	14.4	9.3	29.7	5.1	21.2	36.4	3.4	11.0	2.5
	一宮南部小学校区	39	12.8	30.8	23.1	23.1	17.9	25.6	35.9	0.0	25.6	38.5	5.1	5.1	0.0
	赤坂小学校区	78	20.5	38.5	30.8	21.8	30.8	6.4	48.7	3.8	23.1	24.4	3.8	1.3	2.6
	長沢小学校区	38	23.7	28.9	15.8	10.5	42.1	15.8	52.6	13.2	36.8	23.7	5.3	0.0	0.0
	萩小学校区	23	13.0	30.4	43.5	26.1	30.4	8.7	43.5	4.3	13.0	26.1	0.0	4.3	0.0
	御津南部小学校区	155	26.5	36.1	28.4	15.5	18.1	11.6	27.1	3.2	19.4	27.7	6.5	9.7	1.9
御津北部小学校区	54	31.5	40.7	27.8	11.1	25.9	22.2	18.5	7.4	13.0	22.2	3.7	7.4	3.7	
小坂井東小学校区	133	21.1	41.4	21.8	18.8	19.5	24.8	29.3	6.0	24.1	30.1	6.0	5.3	1.5	
小坂井西小学校区	175	22.9	34.9	23.4	12.6	24.6	24.0	28.0	5.7	21.7	28.6	4.0	9.7	0.6	
「公共交通機関の利便性」の満足度	満足	158	31.0	31.6	29.1	23.4	16.5	7.6	25.9	6.3	25.3	29.7	3.8	8.9	1.3
	まあ満足	949	26.2	37.9	31.9	21.6	14.3	11.3	30.6	3.6	24.3	32.9	2.1	7.7	1.6
	やや不満	786	23.4	35.2	28.0	16.5	24.2	17.9	33.8	5.7	27.1	31.6	3.1	3.8	1.5
	不満	513	14.8	30.6	24.6	15.0	41.1	32.4	30.8	8.8	22.0	27.1	9.0	3.7	1.0
	わからない	289	20.4	31.8	26.6	22.5	8.7	11.8	22.8	2.8	19.0	28.0	3.5	18.0	2.4

全体より10%以上

全体より5%以上

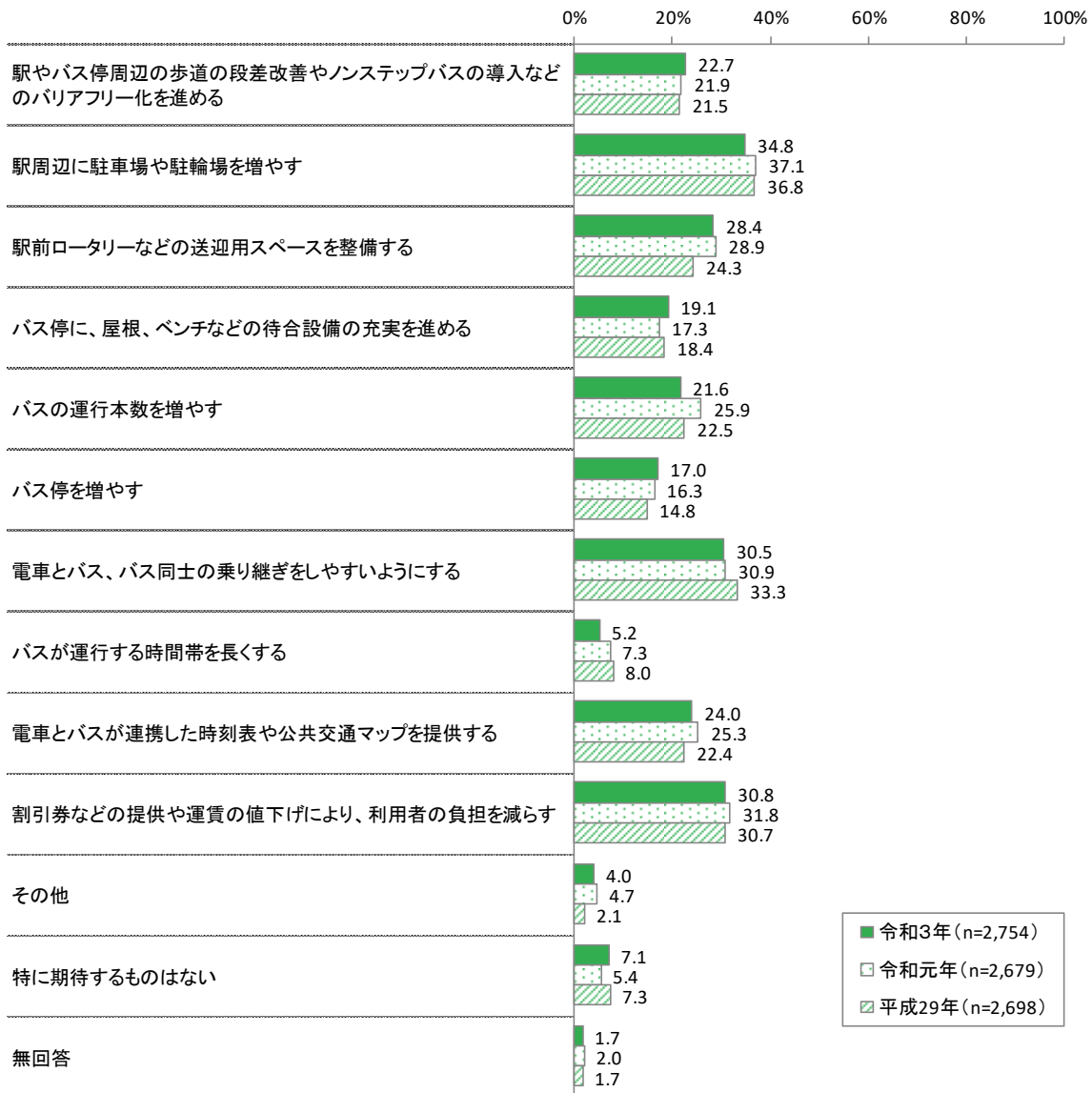
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して減少した項目は、「バスの運行本数を増やす」(4.3ポイント減)、「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」(2.3ポイント減)、「バスが運行する時間帯を長くする」(2.1ポイント減) などとなっている。【図表 180】

図表 180 公共交通機関の利便性の行政への期待（経年比較）



2 道路の整備の行政への期待

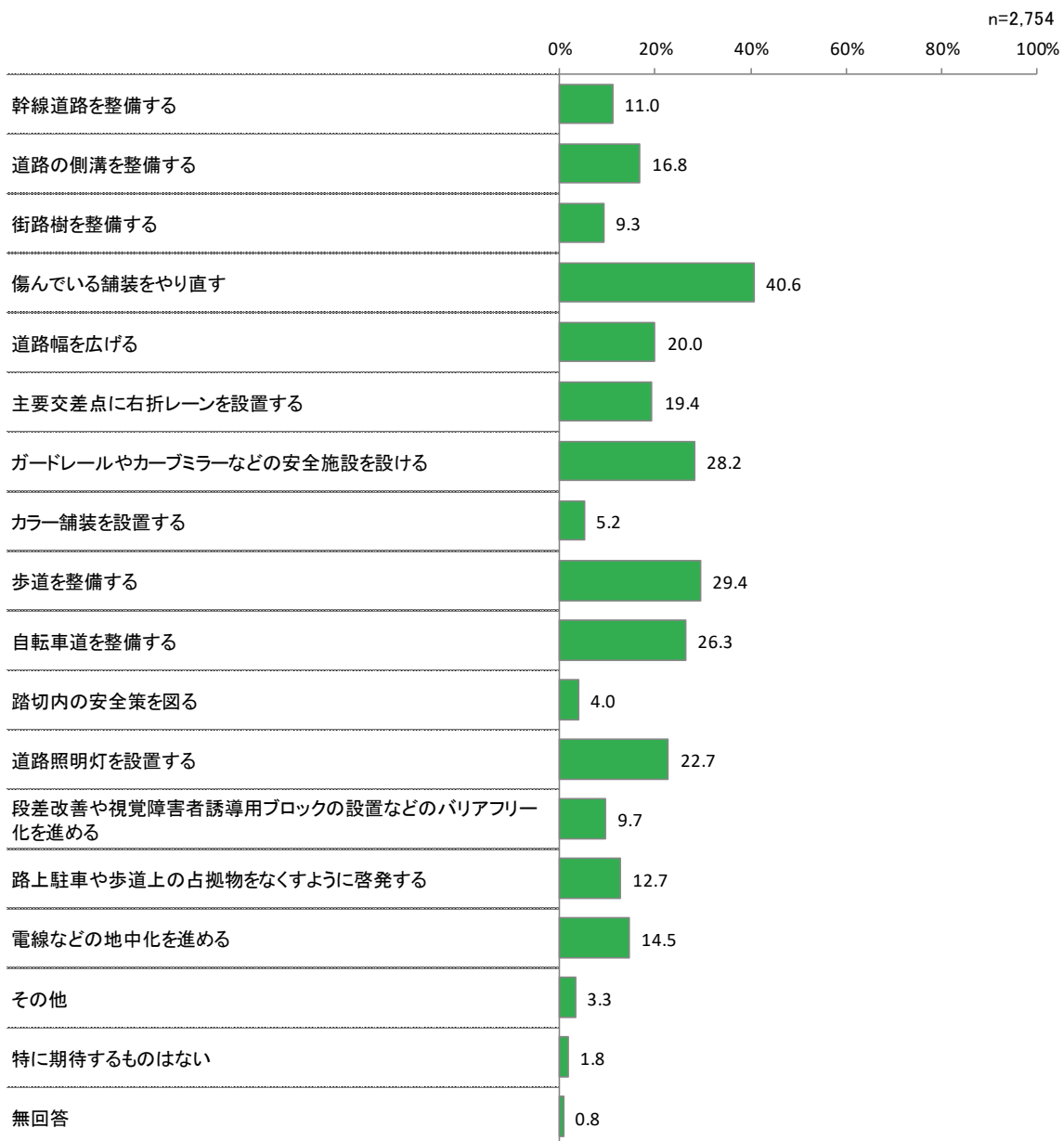
問12 あなたは、道路の整備について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ 道路の整備について行政に期待することは「傷んでいる舗装をやり直す」が40.6%、「歩道を整備する」が29.4%

道路の整備について行政に期待することは、「傷んでいる舗装をやり直す」(40.6%)が最も高く、次いで「歩道を整備する」(29.4%)、「ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける」(28.2%)の順となっている。【図表 181】

小学校区別で見ると、全体平均と比較して、「傷んでいる舗装をやり直す」では、「萩小学校区」(65.2%)、「長沢小学校区」(57.9%)の割合が高く、「道路幅を広げる」では、「小坂井西小学校区」(39.4%)、「小坂井東小学校区」(35.3%)、「自転車道を整備する」では、「天王小学校区」(44.0%)の割合が高くなっている。【図表 182】

図表 181 道路の整備の行政への期待 (全体)



図表 182 道路の整備の行政への期待

(全体・小学校区・道路の整備状況の満足度・歩行者にとっての道路の安全性の満足度別)

		(%)																		
		件数	幹線道路を整備する	道路の側溝を整備する	街路樹を整備する	傷んでいる舗装をやり直す	道路幅を広げる	主要交差点に右折レーンを設置する	ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける	カラー舗装を設置する	歩道を整備する	自転車道を整備する	踏切内の安全策を図る	道路照明灯を設置する	段差改善や視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を進める	路上駐車や歩道上の占拠物をなくすように啓発する	電線などの地中化を進める	その他	特に期待するものはない	無回答
全体		2,754	11.0	16.8	9.3	40.6	20.0	19.4	28.2	5.2	29.4	26.3	4.0	22.7	9.7	12.7	14.5	3.3	1.8	0.8
居住 小学校区別	豊川小学校区	115	13.0	15.7	5.2	38.3	20.9	19.1	32.2	4.3	26.1	30.4	5.2	18.3	5.2	13.0	14.8	3.5	4.3	0.9
	桜木小学校区	91	12.1	13.2	17.6	47.3	18.7	22.0	31.9	4.4	26.4	20.9	3.3	20.9	14.3	9.9	22.0	0.0	1.1	0.0
	豊小学校区	122	7.4	13.1	9.8	38.5	15.6	15.6	32.8	9.0	27.9	25.4	0.0	29.5	7.4	12.3	12.3	2.5	3.3	0.0
	東部小学校区	106	12.3	19.8	10.4	48.1	16.0	17.0	29.2	6.6	33.0	25.5	0.0	17.0	8.5	13.2	6.6	5.7	1.9	1.9
	金屋小学校区	81	9.9	14.8	6.2	42.0	16.0	17.3	34.6	6.2	32.1	35.8	4.9	22.2	12.3	6.2	17.3	3.5	0.0	0.0
	三蔵子小学校区	166	12.0	15.7	8.4	38.0	19.9	19.9	35.5	4.2	25.9	30.1	1.2	21.1	13.9	11.4	14.5	3.6	1.2	0.6
	桜町小学校区	85	9.4	18.8	10.6	42.4	10.6	23.5	23.5	3.5	34.1	31.8	1.2	32.9	10.6	16.5	12.9	3.5	1.2	0.0
	代田小学校区	122	16.4	18.9	11.5	37.7	12.3	20.5	27.9	4.1	25.4	20.5	1.6	19.7	15.6	20.5	13.9	6.6	0.0	1.6
	中部小学校区	182	13.2	9.9	11.5	36.8	14.8	22.0	28.6	7.1	28.0	25.8	1.1	26.9	14.3	14.3	16.5	3.8	1.6	0.0
	牛久保小学校区	105	6.7	21.0	8.6	43.8	16.2	23.8	22.9	2.9	25.7	30.5	2.9	20.0	17.1	10.5	19.0	2.9	1.9	1.9
	天王小学校区	75	6.7	14.7	9.3	44.0	21.3	14.7	25.3	1.3	30.7	44.0	2.7	13.3	9.3	12.0	20.0	4.0	2.7	0.0
	国府小学校区	174	6.9	12.6	8.6	43.1	17.8	29.3	25.3	6.9	35.6	24.7	4.0	22.4	5.7	13.2	13.8	6.3	1.7	1.1
	御油小学校区	137	12.4	17.5	10.9	32.8	19.0	25.5	35.8	2.9	22.6	28.5	8.8	21.2	6.6	20.4	12.4	2.9	0.7	0.0
	千両小学校区	39	5.1	28.2	7.7	48.7	20.5	12.8	28.2	7.7	17.9	35.9	0.0	12.8	10.3	15.4	7.7	2.6	0.0	2.6
	八南小学校区	161	12.4	11.8	7.5	43.5	20.5	23.0	32.9	8.1	32.9	30.4	2.5	22.4	11.8	11.8	7.5	4.3	1.2	0.0
	平尾小学校区	56	10.7	8.9	7.1	48.2	17.9	19.6	28.6	3.6	39.3	19.6	5.4	25.0	7.1	5.4	16.1	0.0	1.8	1.8
	一宮東部小学校区	71	15.5	25.4	9.9	40.8	12.7	22.5	19.7	7.0	29.6	29.6	1.4	21.1	9.9	16.9	11.3	0.0	1.4	0.0
	一宮西部小学校区	118	15.3	21.2	9.3	39.0	15.3	17.8	33.1	5.1	26.3	20.3	3.4	32.2	5.1	12.7	10.2	1.7	4.2	0.0
	一宮南部小学校区	39	12.8	25.6	7.7	41.0	15.4	20.5	23.1	2.6	25.6	20.5	0.0	25.6	15.4	15.4	15.4	5.1	2.6	0.0
	赤坂小学校区	78	11.5	23.1	11.5	43.6	12.8	12.8	17.9	3.8	32.1	17.9	5.1	28.2	9.0	15.4	16.7	5.1	1.3	2.6
長沢小学校区	38	5.3	26.3	7.9	57.9	23.7	21.1	13.2	10.5	39.5	18.4	5.3	18.4	2.6	21.1	13.2	5.3	0.0	0.0	
萩小学校区	23	4.3	13.0	13.0	65.2	13.0	13.0	21.7	0.0	30.4	26.1	0.0	13.0	13.0	4.3	17.4	4.3	8.7	0.0	
御津南部小学校区	155	12.3	16.1	9.7	36.1	25.8	16.1	26.5	5.2	28.4	21.3	5.8	26.5	7.1	11.6	16.1	1.9	1.9	1.9	
御津北部小学校区	54	11.1	14.8	16.7	42.6	25.9	20.4	24.1	7.4	31.5	22.2	0.0	22.2	5.6	16.7	13.0	0.0	1.9	0.0	
小坂井東小学校区	133	10.5	19.5	7.5	34.6	35.3	15.0	23.3	4.5	30.8	23.3	5.3	23.3	9.0	9.0	21.1	2.3	1.5	1.5	
小坂井西小学校区	175	10.9	18.9	5.1	36.6	39.4	9.7	27.4	1.7	35.4	24.6	16.6	17.1	6.3	7.4	16.0	2.9	1.1	0.6	
「道路の 整備状況」 の満足度	満足	109	9.2	17.4	11.0	41.3	17.4	15.6	31.2	8.3	25.7	22.9	5.5	26.6	10.1	11.9	8.3	0.9	3.7	0.0
	まあ満足	1,140	9.6	14.6	10.6	37.5	15.4	22.0	30.3	5.8	29.5	27.0	3.2	23.3	10.1	14.0	13.2	1.9	2.2	0.9
	やや不満	863	12.5	20.2	8.6	44.5	22.9	19.9	26.7	4.6	29.9	25.1	4.6	21.0	9.2	13.0	16.3	4.4	0.3	0.6
	不満	381	16.5	17.1	7.1	45.1	31.8	13.6	25.7	5.0	33.3	24.7	4.2	20.7	11.0	7.9	16.3	6.3	0.3	0.3
	わからない	193	5.2	12.4	9.3	34.2	12.4	18.1	25.9	4.1	21.8	30.6	5.2	26.9	8.3	15.5	11.4	3.1	5.2	2.1
「歩行者に とっての道路 の安全性」 の満足度	満足	67	14.9	14.9	10.4	44.8	22.4	14.9	26.9	1.5	16.4	26.9	7.5	23.9	11.9	16.4	11.9	0.0	4.5	0.0
	まあ満足	951	10.8	16.3	10.9	43.3	16.6	20.2	29.9	6.2	22.5	24.3	3.4	25.3	8.8	12.8	13.4	2.0	2.3	0.8
	やや不満	1,028	11.1	17.4	8.9	41.0	21.3	20.8	28.4	5.0	34.3	28.5	4.2	20.9	10.8	12.5	14.6	3.2	0.4	0.6
	不満	436	11.7	17.9	6.4	34.6	27.3	14.7	23.6	4.4	40.8	27.1	4.8	20.9	10.1	12.2	17.0	6.9	1.4	0.7
	わからない	200	9.0	15.0	10.0	37.0	14.0	23.5	28.0	5.0	16.0	23.5	3.0	23.0	6.0	15.5	15.5	4.5	5.5	1.0

全体より10%以上

全体より5%以上

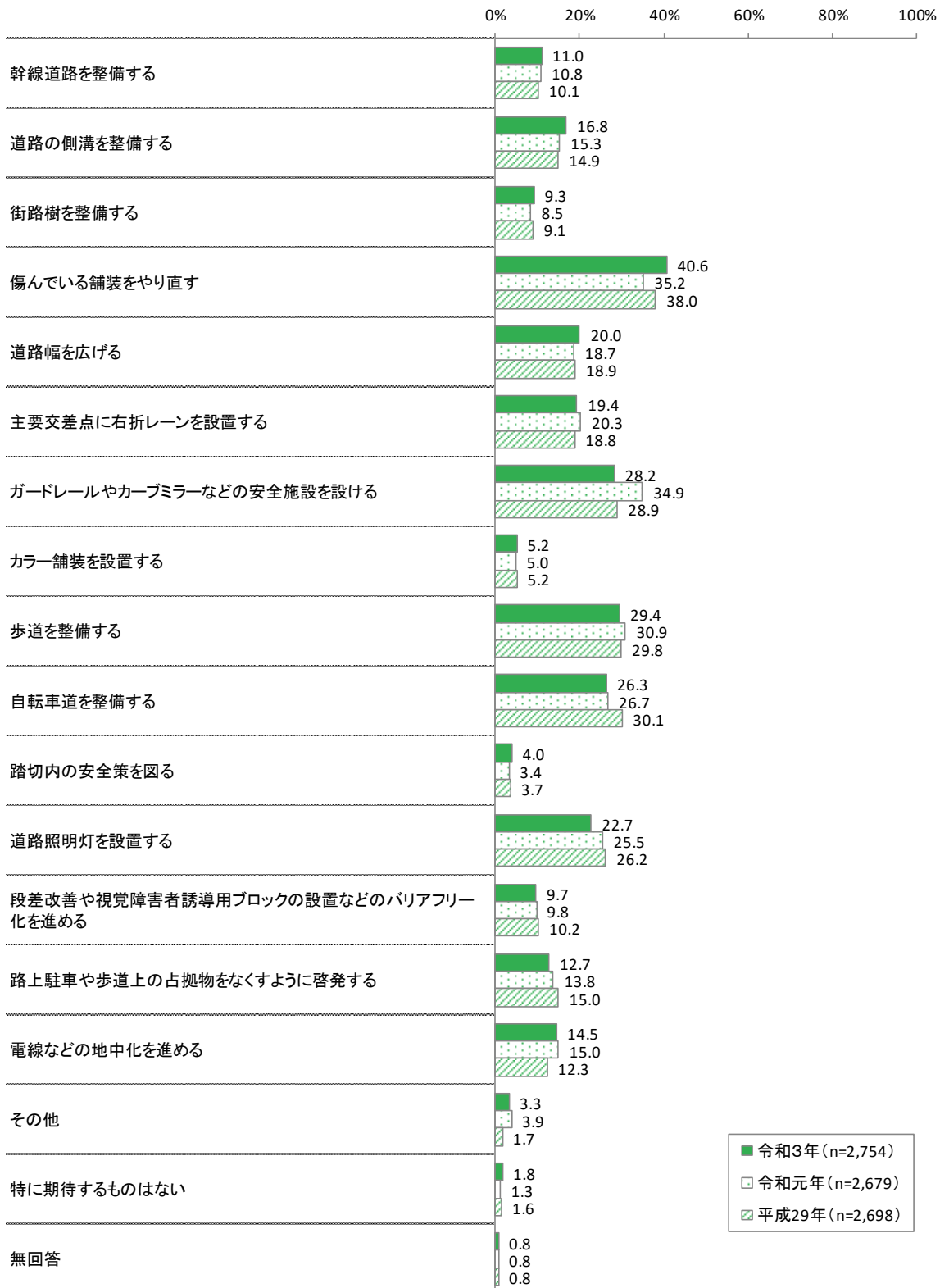
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「傷んでいる舗装をやり直す」(5.4ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける」(6.7ポイント減)、「道路照明灯を設置する」(2.8ポイント減)などとなっている。【図表 183】

図表 183 道路の整備の行政への期待（経年比較）



3 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと

問13 あなたは、公園の整備や緑地の保全について、行政がどのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

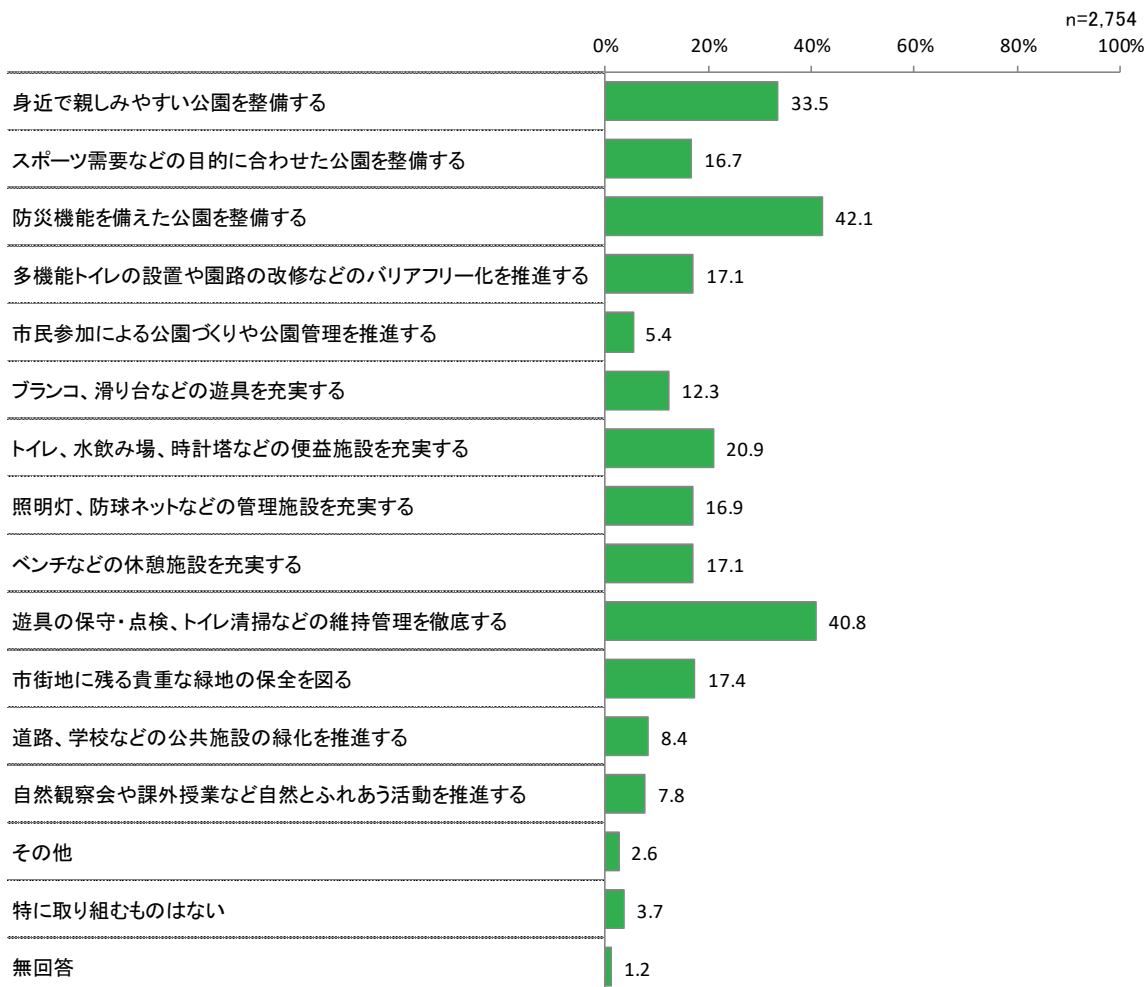
- ◆ 公園の整備や緑地の保全について行政が取り組むべきことは「防災機能を備えた公園を整備する」が42.1%、「遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する」が40.8%

公園の整備や緑地の保全について行政が取り組むべきことは、「防災機能を備えた公園を整備する」(42.1%)が最も高く、次いで「遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する」(40.8%)、「身近で親しみやすい公園を整備する」(33.5%)の順となっている。【図表184】

年齢別で見ると、全体平均と比較して「スポーツ需要などの目的に合わせた公園を整備する」では、「10代(18・19歳)」(38.5%)、「ブランコ、滑り台などの遊具を充実する」では、「30代」(29.1%)、「10代(18・19歳)」(23.1%)、「照明灯、防球ネットなどの管理施設を充実する」では、「10代(18・19歳)」(26.9%)の割合が高くなっている。【図表185】

小学校区別で見ると、全体平均と比較して「市街地に残る貴重な緑地の保全を図る」は、「萩小学校区」(34.8%)、「照明灯、防球ネットなどの管理施設を充実する」は、「桜町小学校区」(30.6%)、「防災機能を備えた公園を整備する」は、「長沢小学校区」(52.6%)の割合が高くなっている。【図表185】

図表184 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと (全体)



図表 185 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと

(全体・年齢・小学校区・緑、自然の豊かさの満足度・公園の状況の満足度別)

	件数	(%)																
		身近で親しみやすい公園を整備する	スポーツ需要などの目的に合わせた公園を整備する	防災機能を備えた公園を整備する	多機能トイレの設置や園路の改修などのバリアフリー化を推進する	多機能トイレの設置や園路の改修	市民参加による公園づくりや公園管理を推進する	ブランコ、滑り台などの遊具を充実する	トイレ、水飲み場、時計塔などの便益施設を充実する	照明灯、防球ネットなどの管理施設を充実する	ベンチなどの休憩施設を充実する	遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する	市街地に残る貴重な緑地の保全を図る	道路、学校などの公共施設の緑化を推進する	自然観察会や課外授業など自然ふれあう活動を推進する	その他	特に取り組むものはない	無回答
全体	2,754	33.5	16.7	42.1	17.1	5.4	12.3	20.9	16.9	17.1	40.8	17.4	8.4	7.8	2.6	3.7	1.2	
年齢別	10代(18・19歳)	52	25.0	38.5	32.7	19.2	3.8	23.1	21.2	26.9	19.2	23.1	11.5	7.7	9.6	0.0	5.8	0.0
	20代	229	27.5	26.2	35.8	18.8	0.9	19.2	21.4	25.3	10.0	46.7	12.7	10.0	7.0	3.1	2.2	0.0
	30代	357	38.1	20.7	30.3	16.8	2.8	29.1	20.4	17.1	9.2	49.0	8.7	7.3	7.6	4.8	3.9	0.3
	40代	490	31.2	22.0	41.4	19.0	4.1	13.3	20.4	19.2	13.7	38.4	13.5	9.6	9.0	3.1	3.7	0.4
	50代	479	28.0	15.4	47.0	14.6	5.2	9.0	18.6	15.2	14.8	42.6	19.8	8.8	7.9	2.7	4.2	0.4
	60代	527	38.7	11.6	49.0	17.1	6.5	7.6	20.1	15.4	20.1	46.5	22.8	7.2	7.6	1.7	2.8	0.6
	70歳以上	595	35.6	10.4	43.7	17.0	9.4	4.7	23.7	13.9	26.2	31.3	20.8	8.4	7.6	1.7	4.4	3.7
居住小学校区別	豊川小学校区	115	32.2	19.1	48.7	12.2	7.8	13.0	12.2	15.7	14.8	40.0	23.5	7.0	7.0	2.6	5.2	1.7
	桜木小学校区	91	28.6	17.6	44.0	16.5	3.3	17.6	19.8	15.4	17.6	50.5	24.2	7.7	6.6	2.2	3.3	0.0
	豊小学校区	122	36.9	16.4	32.8	19.7	1.6	15.6	26.2	20.5	20.5	42.6	11.5	9.8	6.6	3.3	2.5	0.0
	東部小学校区	106	30.2	17.9	41.5	17.0	4.7	11.3	28.3	11.3	15.1	38.7	19.8	12.3	3.8	0.9	3.8	1.9
	金星小学校区	81	40.7	18.5	39.5	14.8	6.2	12.3	25.9	12.3	18.5	44.4	14.8	11.1	8.6	4.9	2.5	0.0
	三蔵子小学校区	166	33.1	13.9	36.1	21.1	2.4	12.0	21.1	16.9	14.5	46.4	14.5	9.6	10.2	4.2	4.2	0.0
	桜町小学校区	85	32.9	12.9	50.6	15.3	3.5	18.8	18.8	30.6	17.6	50.6	10.6	5.9	8.2	1.2	2.4	1.2
	代田小学校区	122	41.0	23.8	43.4	16.4	5.7	11.5	23.8	13.1	15.6	41.0	14.8	6.6	11.5	1.6	2.5	0.8
	中部小学校区	182	30.8	19.8	44.5	13.7	8.2	12.6	13.7	20.3	19.2	40.7	17.0	7.1	6.0	1.6	4.4	0.5
	牛久保小学校区	105	28.6	9.5	43.8	18.1	6.7	12.4	20.0	16.2	19.0	33.3	15.2	13.3	7.6	3.8	1.9	1.9
	天王小学校区	75	34.7	18.7	41.3	16.0	1.3	12.0	20.0	14.7	20.0	44.0	20.0	6.7	8.0	1.3	2.7	1.3
	国府小学校区	174	35.1	19.5	46.0	15.5	5.7	9.2	20.1	12.1	14.9	37.4	25.3	8.6	9.2	2.9	4.0	1.1
	御油小学校区	137	27.0	21.2	39.4	20.4	7.3	11.7	15.3	20.4	20.4	40.1	22.6	8.0	13.1	2.2	2.9	1.5
	千両小学校区	39	33.3	7.7	43.6	12.8	7.7	17.9	12.8	15.4	25.6	35.9	20.5	10.3	10.3	2.6	5.1	2.6
	八南小学校区	161	33.5	15.5	46.0	18.6	5.0	15.5	25.5	16.8	14.9	42.9	18.0	3.7	8.1	2.5	1.9	0.0
	平尾小学校区	56	35.7	10.7	41.1	17.9	7.1	16.1	26.8	12.5	8.9	48.2	16.1	12.5	5.4	1.8	3.6	3.6
	一宮東部小学校区	71	25.4	12.7	47.9	14.1	9.9	7.0	21.1	14.1	15.5	42.3	25.4	8.5	12.7	2.8	4.2	0.0
	一宮西部小学校区	118	29.7	16.9	39.0	12.7	4.2	16.1	28.8	19.5	15.3	43.2	10.2	7.6	4.2	0.8	9.3	0.8
	一宮南部小学校区	39	20.5	20.5	38.5	15.4	0.0	2.6	23.1	15.4	15.4	43.6	17.9	10.3	5.1	5.1	7.7	0.0
	赤坂小学校区	78	39.7	19.2	32.1	14.1	7.7	11.5	24.4	19.2	17.9	38.5	11.5	5.1	10.3	7.7	0.0	2.6
長沢小学校区	38	23.7	21.1	52.6	13.2	7.9	13.2	13.2	13.2	13.2	31.6	13.2	15.8	15.8	2.6	5.3	0.0	
萩小学校区	23	30.4	17.4	30.4	17.4	4.3	8.7	17.4	4.3	21.7	13.0	34.8	8.7	17.4	8.7	8.7	0.0	
御津南部小学校区	155	39.4	11.6	41.9	15.5	5.8	9.7	17.4	14.8	16.8	45.8	14.2	9.0	5.8	0.6	5.2	3.9	
御津北部小学校区	54	33.3	13.0	38.9	14.8	9.3	9.3	24.1	20.4	24.1	46.3	11.1	11.1	9.3	0.0	1.9	0.0	
小坂井東小学校区	133	38.3	19.5	46.6	18.8	6.0	9.8	18.0	18.8	15.0	36.1	18.0	9.0	5.3	2.3	3.0	1.5	
小坂井西小学校区	175	38.9	16.6	42.9	24.0	5.1	10.9	20.6	19.4	20.0	32.6	16.0	8.0	4.0	3.4	2.9	0.6	
「緑・自然の豊かさ」の満足度	満足	615	30.1	17.7	41.8	17.7	5.4	11.2	22.4	18.0	16.7	43.9	15.3	7.5	11.1	2.4	3.4	0.8
	まあ満足	1,566	33.9	16.0	44.1	16.6	5.2	12.4	21.1	16.0	18.1	41.8	18.1	8.4	7.0	2.6	3.1	1.3
	やや不満	268	38.8	17.9	37.7	18.7	7.1	16.0	17.9	17.2	14.9	36.2	22.4	13.1	6.7	2.6	1.9	1.1
	不満	94	43.6	21.3	36.2	18.1	6.4	12.8	25.5	16.0	17.0	30.9	25.5	8.5	7.4	2.1	2.1	0.0
わからない	160	31.9	15.6	36.3	15.0	2.5	11.9	16.3	20.6	13.8	35.6	6.9	4.4	5.6	3.8	13.1	2.5	
「公園の状況」の満足度	満足	276	31.9	16.3	43.1	17.8	4.0	10.1	20.3	18.5	17.4	44.2	13.8	7.2	10.5	2.2	5.1	0.4
	まあ満足	1,318	32.0	17.1	44.3	16.5	5.6	10.5	22.0	16.9	17.5	40.9	19.0	9.9	8.4	1.9	2.3	1.3
	やや不満	507	37.5	16.4	39.3	17.4	6.7	18.5	20.9	17.0	19.5	45.4	18.1	6.5	7.7	3.2	1.6	1.0
	不満	215	43.3	23.7	31.6	15.3	7.0	22.8	19.1	15.3	14.0	34.4	11.2	9.3	3.3	10.2	2.8	0.5
わからない	390	30.0	12.6	44.9	19.5	2.8	6.7	19.2	16.9	13.8	37.2	16.9	6.2	6.9	0.5	10.3	1.5	

全体より10%以上

全体より5%以上

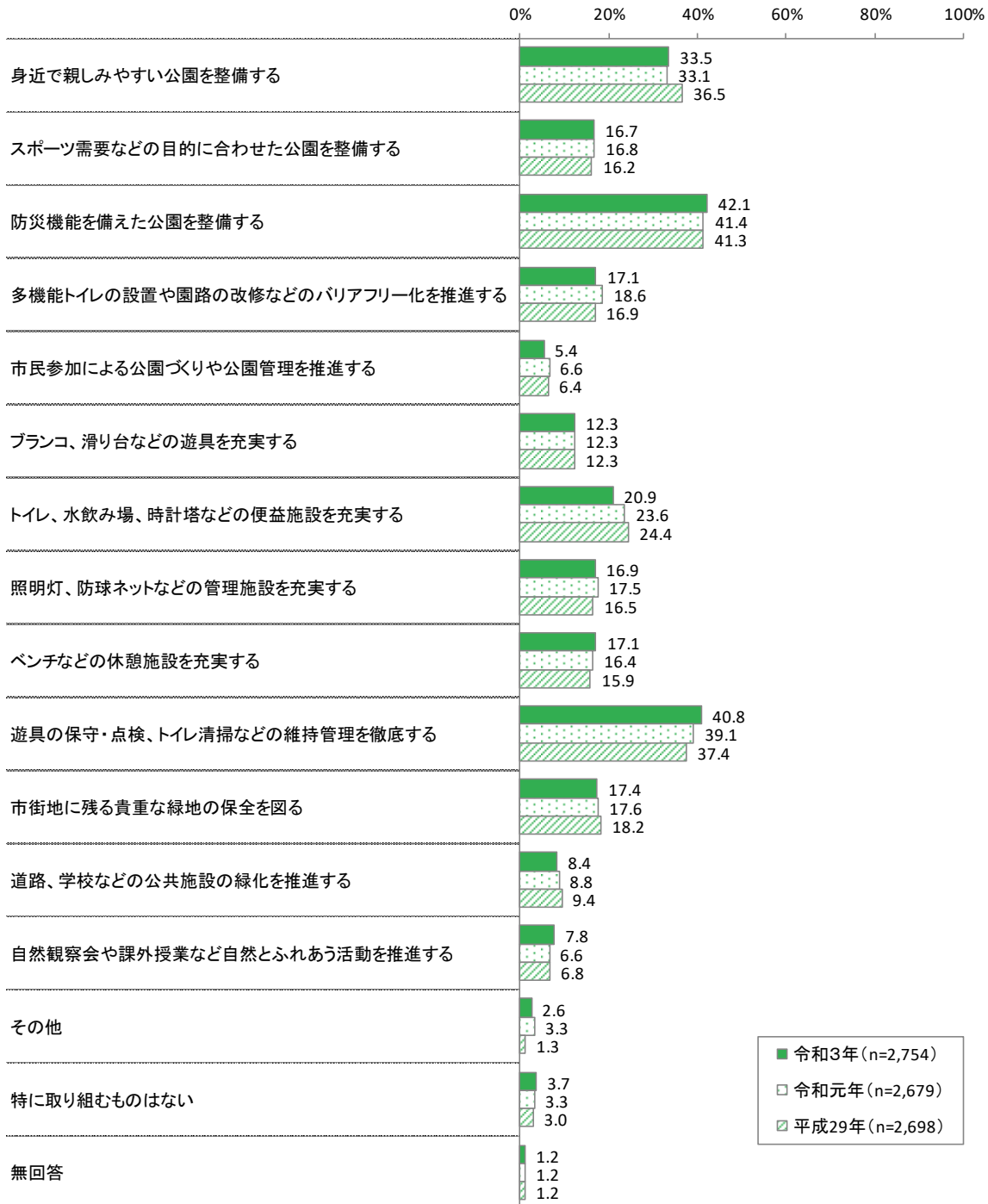
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する」(1.7ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「トイレ、水飲み場、時計塔などの便益施設を充実する」(2.7ポイント減)などとなっている。【図表 186】

図表 186 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと (経年比較)



4 河川の整備のために行政が取り組むべきこと

問14 あなたは、河川の整備について、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

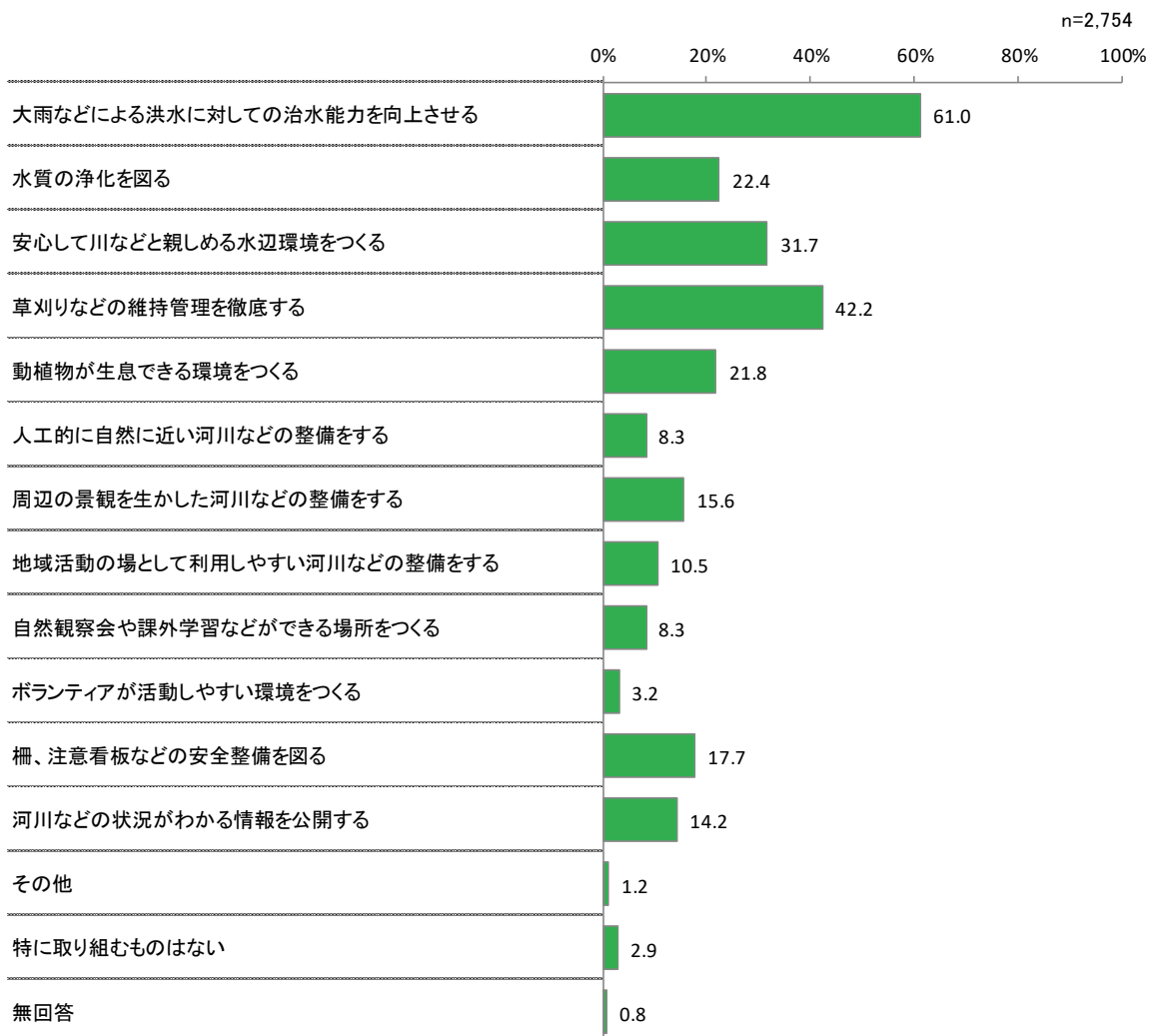
◆ 河川の整備について行政が取り組むべきことは「大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる」が61.0%

河川の整備について行政が取り組むべきことは、「大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる」(61.0%)が最も高く、次いで「草刈りなどの維持管理を徹底する」(42.2%)、「安心して川などと親しめる水辺環境をつくる」(31.7%)の順となっている。【図表 187】

性別でみると、最も差がある項目「柵、注意看板などの安全整備を図る」では、「女性」(20.3%)が「男性」(14.5%)を5.8ポイント上回っている。【図表 188】

小学校区別でみると、全体平均と比較して「大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる」では、「長沢小学校区」(73.7%)「一宮南部小学校区」(71.8%)の割合が高くなっている。また、「安心して川などと親しめる水辺環境をつくる」では、「豊小学校区」(43.4%)、「水質の浄化を図る」では、「御津北部小学校区」(35.2%)、「桜町小学校区」(32.9%)、「動植物が生息できる環境をつくる」では、「平尾小学校区」(41.1%)、「赤坂小学校区」(38.5%)、「萩小学校区」(34.8%)、「柵、注意看板などの安全整備を図る」では、「御津北部小学校区」(33.3%)の割合が高くなっている。【図表 188】

図表 187 河川の整備のために行政が取り組むべきこと (全体)



図表 188 河川の整備のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・小学校区別）

		件数	大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる	水質の浄化を図る	辺り安んじて川などと親しめる水環境をつくる	草刈りなどの維持管理を徹底する	動物植物が生息できる環境をつくる	人工的に自然に近い河川などの整備をする	周辺の景観を生かした河川などの整備をする	すい河川などの整備をする	地域活動の場として利用しやすい河川などの整備をする	自然観察会や課外学習などができる場所をつくる	環境をつくる	ボランティアが活動しやすい	柵、注意看板などの安全整備を図る	河川などの状況がわかる情報を公開する	その他	特に取り組むものはない	無回答
全体		2,754	61.0	22.4	31.7	42.2	21.8	8.3	15.6	10.5	8.3	3.2	17.7	14.2	1.2	2.9	0.8		
性別	男性	1,148	60.0	24.9	33.4	39.3	20.9	11.2	16.7	12.8	6.5	3.5	14.5	14.0	1.3	3.8	0.9		
	女性	1,552	62.1	20.7	30.8	44.3	22.6	6.2	14.6	8.8	9.3	2.8	20.3	14.3	1.1	2.3	0.5		
居住 小学校区別	豊川小学校区	115	59.1	30.4	34.8	34.8	15.7	7.0	13.9	13.9	8.7	3.5	19.1	20.0	0.0	2.6	0.0		
	桜木小学校区	91	57.1	18.7	26.4	49.5	18.7	8.8	17.6	17.6	8.8	5.5	15.4	13.2	1.1	4.4	0.0		
	豊小学校区	122	41.0	20.5	43.4	43.4	22.1	9.0	14.8	14.8	4.9	4.1	21.3	15.6	0.0	4.1	0.0		
	東部小学校区	106	62.3	17.0	31.1	43.4	21.7	6.6	6.6	7.5	7.5	1.9	16.0	21.7	1.9	3.8	0.9		
	金屋小学校区	81	63.0	19.8	35.8	50.6	17.3	11.1	24.7	6.2	11.1	2.5	16.0	13.6	0.0	0.0	0.0		
	三蔵子小学校区	166	63.3	24.7	34.9	42.2	23.5	4.8	15.1	8.4	10.2	3.0	15.1	11.4	0.0	4.2	1.2		
	桜町小学校区	85	65.9	32.9	27.1	45.9	20.0	2.4	27.1	12.9	10.6	0.0	20.0	14.1	1.2	1.2	0.0		
	代田小学校区	122	58.2	23.0	26.2	49.2	20.5	9.0	13.1	10.7	9.0	4.9	21.3	13.9	0.0	3.3	0.0		
	中部小学校区	182	59.9	20.9	29.1	47.8	20.9	8.8	17.6	8.8	8.8	2.2	14.8	11.0	2.7	4.4	0.5		
	牛久保小学校区	105	60.0	28.6	30.5	31.4	21.0	10.5	14.3	13.3	10.5	2.9	21.0	18.1	1.0	1.9	1.0		
	天王小学校区	75	58.7	21.3	33.3	46.7	17.3	10.7	9.3	13.3	6.7	2.7	17.3	13.3	0.0	4.0	1.3		
	国府小学校区	174	59.2	24.7	31.6	44.3	21.3	12.6	18.4	6.9	9.8	2.9	16.7	14.9	1.7	1.7	1.1		
	御油小学校区	137	64.2	21.9	40.9	33.6	25.5	3.6	18.2	12.4	11.7	5.8	16.8	10.9	0.7	2.9	0.7		
	千両小学校区	39	53.8	10.3	25.6	48.7	25.6	12.8	12.8	12.8	10.3	7.7	12.8	7.7	5.1	0.0	5.1		
	八南小学校区	161	70.8	24.2	26.1	44.1	22.4	8.7	15.5	7.5	8.1	6.8	21.1	15.5	3.1	0.6	0.0		
	平尾小学校区	56	67.9	12.5	39.3	39.3	41.1	3.6	10.7	10.7	5.4	7.1	8.9	14.3	0.0	0.0	1.8		
	一宮東部小学校区	71	60.6	11.3	28.2	40.8	16.9	7.0	22.5	19.7	8.5	0.0	19.7	12.7	1.4	1.4	0.0		
	一宮西部小学校区	118	53.4	20.3	33.1	42.4	22.9	12.7	16.9	6.8	10.2	0.0	16.9	13.6	0.0	8.5	0.0		
	一宮南部小学校区	39	71.8	15.4	28.2	25.6	12.8	15.4	10.3	15.4	5.1	5.1	12.8	20.5	10.3	2.6	2.6		
	赤坂小学校区	78	56.4	28.2	39.7	39.7	38.5	10.3	11.5	10.3	7.7	1.3	7.7	3.8	2.6	1.3	3.8		
長沢小学校区	38	73.7	21.1	21.1	47.4	26.3	5.3	13.2	7.9	15.8	5.3	10.5	15.8	2.6	2.6	0.0			
萩小学校区	23	56.5	21.7	26.1	43.5	34.8	0.0	13.0	8.7	13.0	4.3	13.0	4.3	4.3	4.3	0.0			
御津南部小学校区	155	67.1	20.6	26.5	47.1	20.0	7.7	14.2	9.7	4.5	2.6	18.7	12.9	0.0	1.3	2.6			
御津北部小学校区	54	51.9	35.2	27.8	51.9	18.5	7.4	14.8	3.7	3.7	1.9	33.3	9.3	0.0	1.9	0.0			
小坂井東小学校区	133	68.4	19.5	36.8	29.3	22.6	11.3	15.0	5.3	7.5	2.3	20.3	14.3	0.0	4.5	0.0			
小坂井西小学校区	175	66.9	21.7	30.9	38.9	15.4	6.3	16.6	13.1	4.0	2.3	21.1	19.4	1.1	3.4	0.0			

全体より10%以上

全体より5%以上

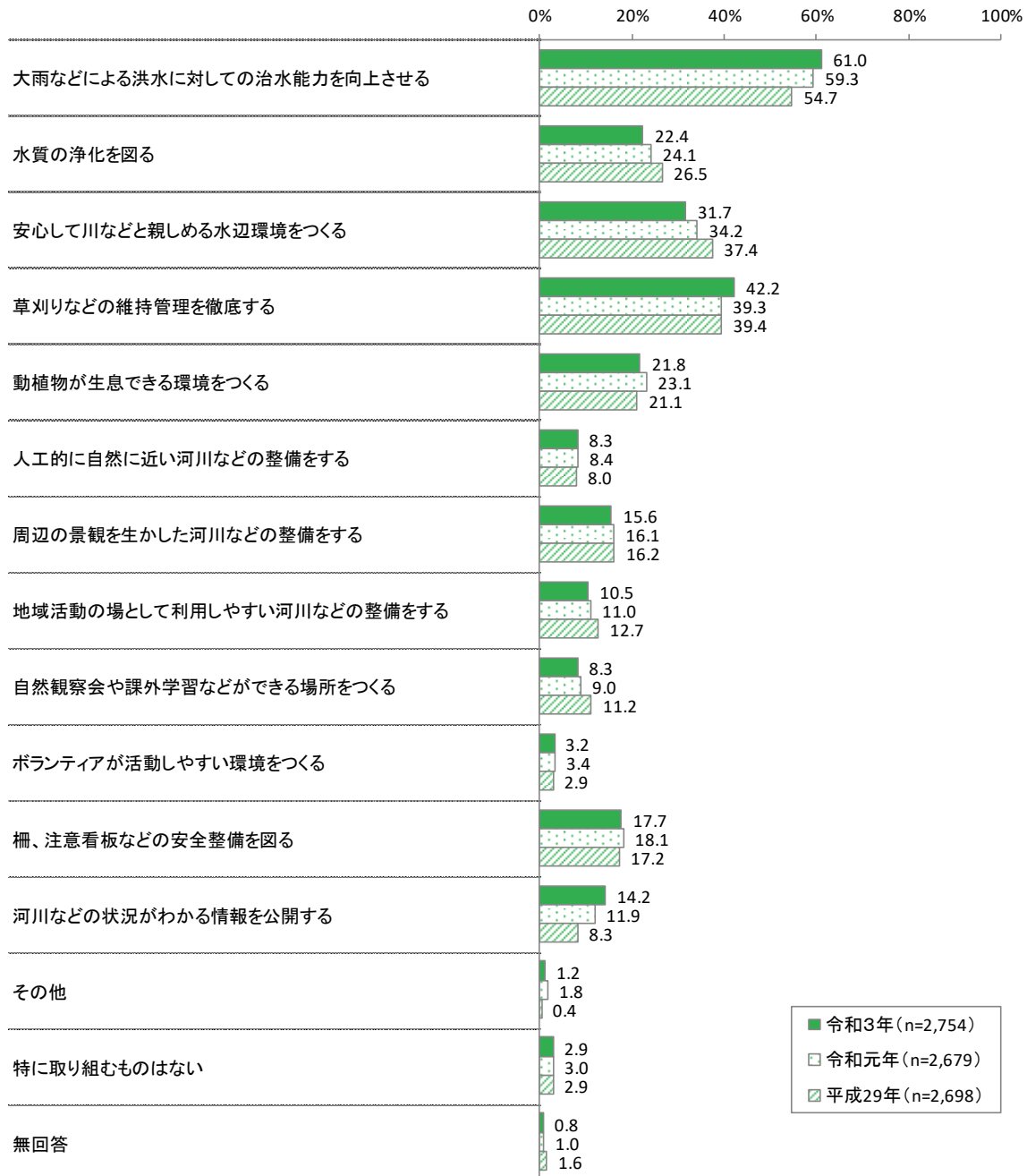
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「草刈りなどの維持管理を徹底する」(2.9ポイント増)、「河川などの状況がわかる情報を公開する」(2.3ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「安心して川などと親しめる水辺環境をつくる」(2.5ポイント減)などとなっている。【図表 189】

図表 189 河川の整備のために行政が取り組むべきこと (経年比較)



6 教育・文化について

1 地域づくりに向けた学校と地域とのかかわり

問15 学校と地域が協力して地域づくりをしていくために、「学校公開日」や「登下校の見守り活動」などを実施しています。あなたは、協力して地域づくりをするために、学校とのかかわりを持っていききたいと思いませんか。次の中からあてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。

◆ 地域づくりに向けた学校と地域とのかかわりについて “かかわりを持っていききたい” が48.5%、“かかわりを持ちたくない” が19.0%

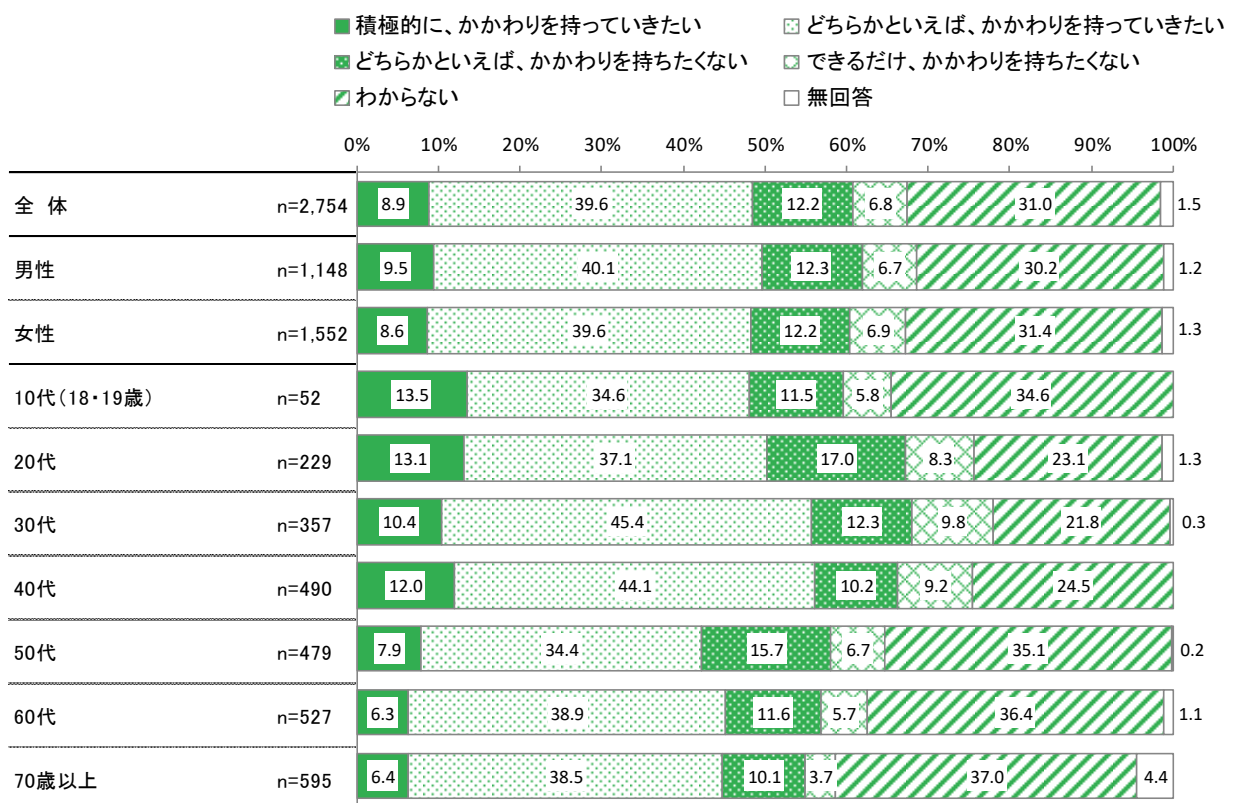
地域づくりに向けた学校と地域とのかかわりについて、「積極的に、かかわりを持っていききたい」(8.9%)と「どちらかといえば、かかわりを持っていききたい」(39.6%)をあわせた“かかわりを持っていききたい”が48.5%となっている。一方、「どちらかといえば、かかわりを持ちたくない」(12.2%)と「できるだけ、かかわりを持ちたくない」(6.8%)をあわせた“かかわりを持ちたくない”が19.0%となっている。【図表 190】

性別でみると、“かかわりを持っていききたい”は「男性」(49.6%)が「女性」(48.2%)を1.4ポイント上回っている。【図表 190】

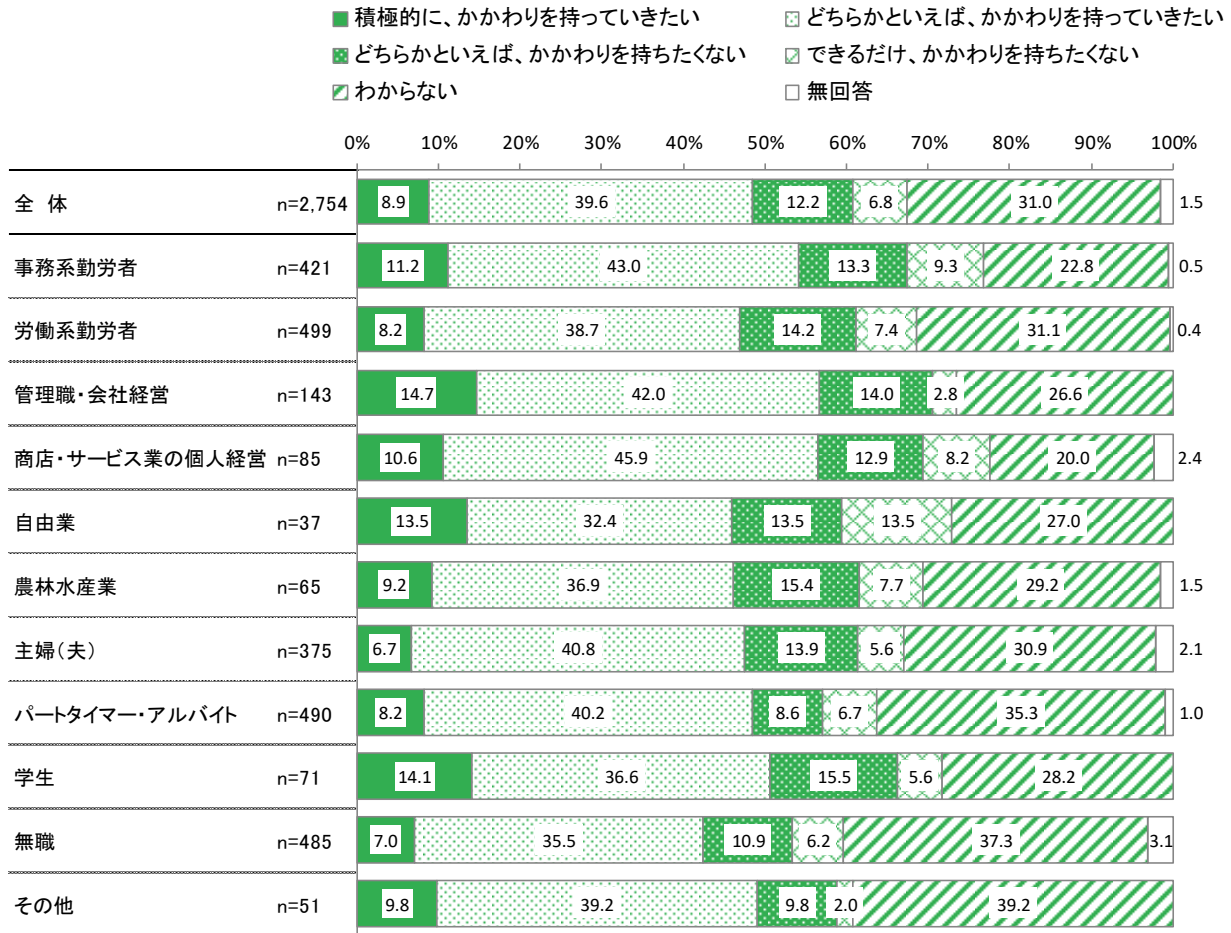
年齢別でみると、全体平均と比較して、“かかわりを持っていききたい”は、「40代」(56.1%)、「30代」(55.8%)での割合が高くなっている。【図表 190】

職業別でみると、全体平均と比較して、“かかわりを持っていききたい”は、「管理職・会社経営」(56.7%)、「商店・サービス業の個人経営」(56.5%)、「事務系勤労者」(54.2%)の割合が高くなっている。【図表 191】

図表 190 地域づくりに向けた学校と地域とのかかわり（全体・性別・年齢別）



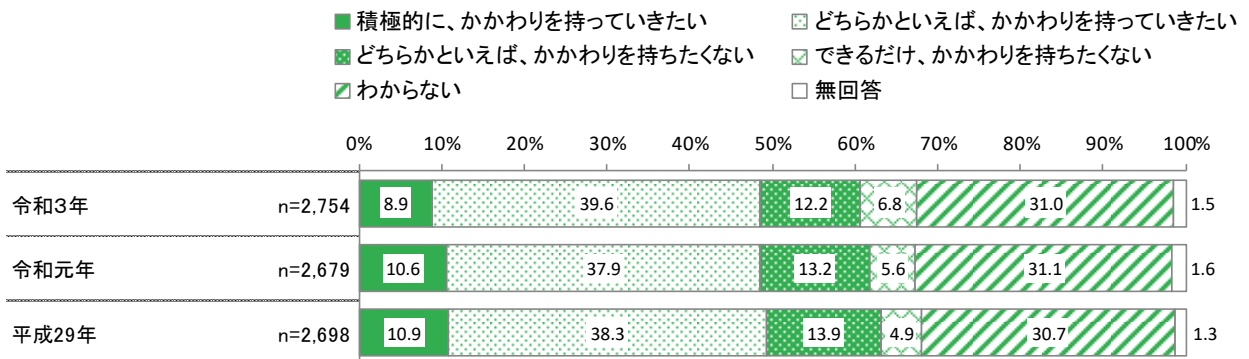
図表 191 地域づくりに向けた学校と地域とのかかわり（全体・職業別）



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して減少した項目は、「積極的に、かかわりを持っていきたい」（1.7ポイント減）などとなっている。【図表 192】

図表 192 地域づくりに向けた学校と地域とのかかわり（経年比較）



2 生涯学習の活動状況

問16 あなたは、生涯学習としてどのような活動をしていますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

◆ 生涯学習の活動状況は「特に行っていない」が40.8%

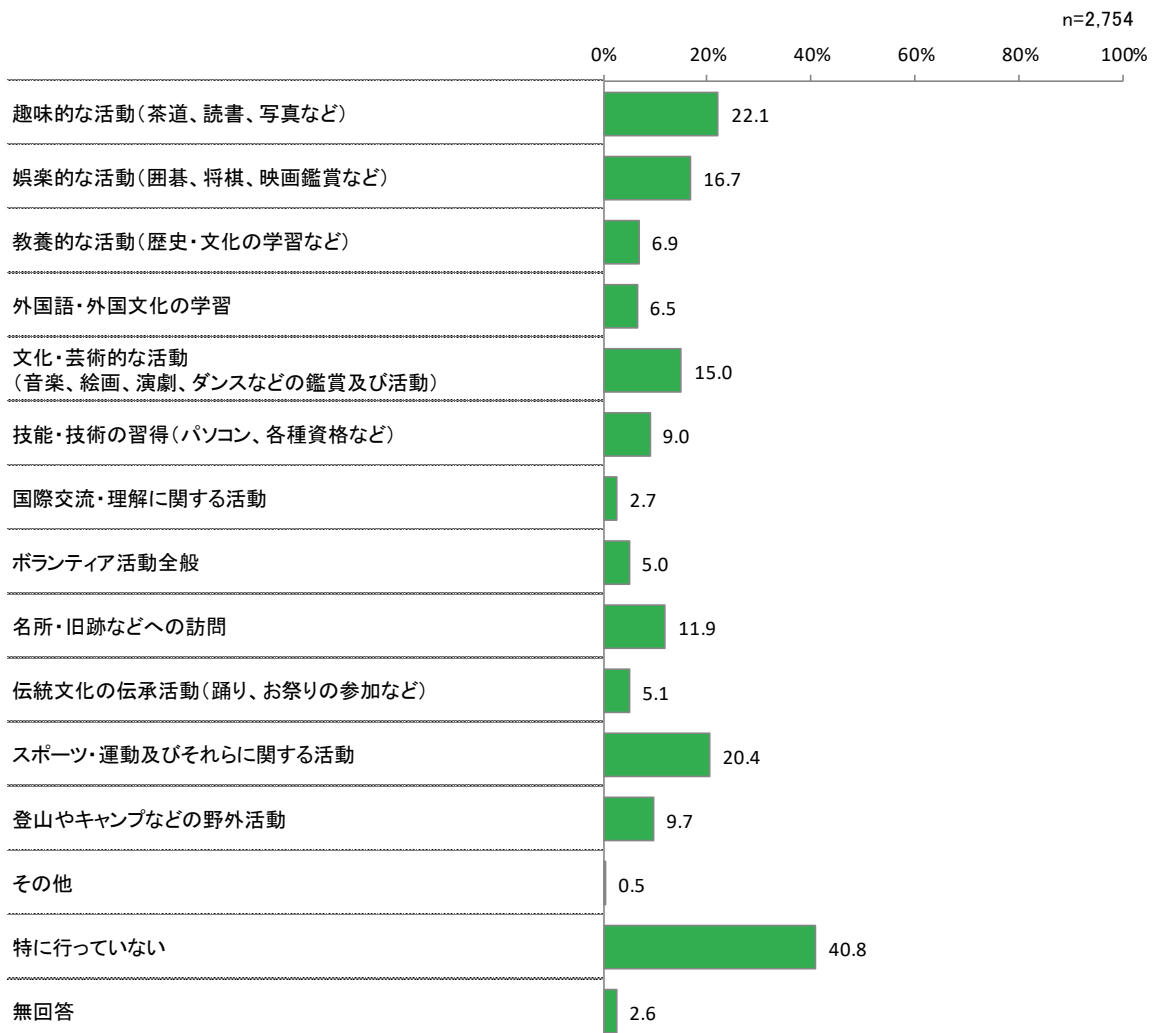
生涯学習の活動状況は、「特に行っていない」(40.8%)が最も高く、次いで「趣味的な活動(茶道、読書、写真など)」(22.1%)、「スポーツ・運動及びそれらに関する活動」(20.4%)の順となっている。【図表 193】

性別で見ると、「文化・芸術的な活動(音楽、絵画、演劇、ダンスなどの鑑賞及び活動)」では、「女性」(18.1%)が「男性」(10.9%)を7.2ポイント上回り、「スポーツ・運動及びそれらに関する活動」では、「男性」(24.5%)が「女性」(17.7%)を6.8ポイント上回っている。

【図表 194】

年齢別で見ると、「10代(18・19歳)」、「20代」で全体平均よりも高い割合の項目が多く、「特に行っていない」の割合は低くなっている。【図表 194】

図表 193 生涯学習の活動状況(全体)



図表 194 生涯学習の活動状況（全体・性別・年齢別）

		件数															(%)	
			趣味的な活動（茶道、読書、写真など）	娯楽的な活動（囲碁、将棋、映画鑑賞など）	教養的な活動（歴史・文化の学習など）	外国語・外国文化の学習	文化・芸術的な活動（音楽、絵画、演劇、ダンスなどの鑑賞及び活動）	資格など）	技能・技術の習得（パソコン、各種資格など）	国際交流・理解に関する活動	ボランティア活動全般	名所・旧跡などへの訪問	伝統文化の伝承活動（踊り、お祭りの参加など）	スポーツ・運動及びそれらに関する活動	登山やキャンプなどの野外活動	その他	特に行っていない	無回答
全 体		2,754	22.1	16.7	6.9	6.5	15.0	9.0	2.7	5.0	11.9	5.1	20.4	9.7	0.5	40.8	2.6	
性別	男性	1,148	19.6	18.9	8.1	4.6	10.9	11.0	2.1	4.9	14.9	5.7	24.5	12.4	0.2	38.4	1.9	
	女性	1,552	24.3	15.4	6.0	7.8	18.1	7.6	3.1	5.2	9.7	4.7	17.7	7.7	0.7	42.8	2.5	
年齢別	10代(18・19歳)	52	36.5	50.0	13.5	28.8	30.8	25.0	13.5	7.7	7.7	9.6	30.8	3.8	0.0	25.0	0.0	
	20代	229	33.2	31.0	9.6	15.7	25.3	14.8	5.7	3.9	6.6	6.1	28.4	10.5	0.0	30.6	0.0	
	30代	357	24.6	24.1	7.6	7.6	13.2	11.5	3.1	3.4	11.5	5.3	17.9	12.3	0.3	40.6	0.8	
	40代	490	22.2	15.9	7.1	8.6	13.1	11.4	2.7	2.7	10.8	4.7	25.1	14.9	0.0	38.4	1.0	
	50代	479	22.5	16.1	5.4	5.6	13.8	8.1	1.9	5.0	13.4	5.0	19.2	10.9	0.0	43.2	1.5	
	60代	527	19.4	11.2	5.3	3.6	14.6	6.8	2.3	5.9	13.9	5.3	18.8	7.6	1.1	44.8	3.6	
	70歳以上	595	17.3	10.1	7.1	2.0	13.8	4.5	1.3	7.2	12.4	4.4	17.0	5.4	1.0	43.4	5.4	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

3 スポーツや運動の頻度

問17 あなたは、どの程度の頻度でスポーツや運動をしていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。なお、スポーツには、ウォーキング、ハイキング、体操、ダンス、ヨガなども含まれます。

◆ スポーツや運動の頻度は「全くしていない」が29.6%

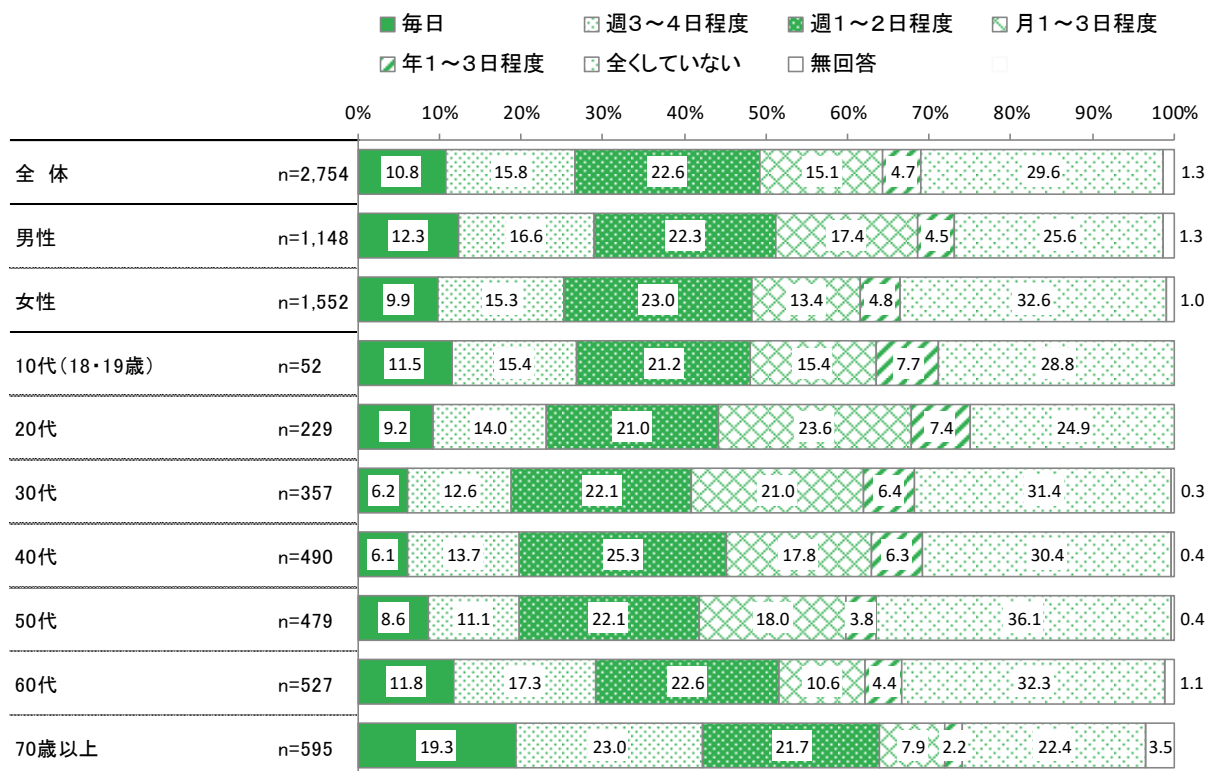
スポーツや運動の頻度は、「全くしていない」(29.6%)が最も高く、次いで「週1～2日程度」(22.6%)、「週3～4日程度」(15.8%)、「月1～3日程度」(15.1%)の順となっている。

【図表 195】

性別で見ると、「全くしていない」では、「女性」(32.6%)が「男性」(25.6%)を7.0ポイント上回っている。【図表 195】

年齢別で見ると、全体平均と比較して、「毎日」は「70歳以上」が19.3%と高く、「40代」(6.1%)、「30代」(6.2%)はそれぞれ低くなっている。一方、「全くしていない」は、「50代」(36.1%)の割合が高く、「70歳以上」(22.4%)の割合が低くなっている。【図表 195】

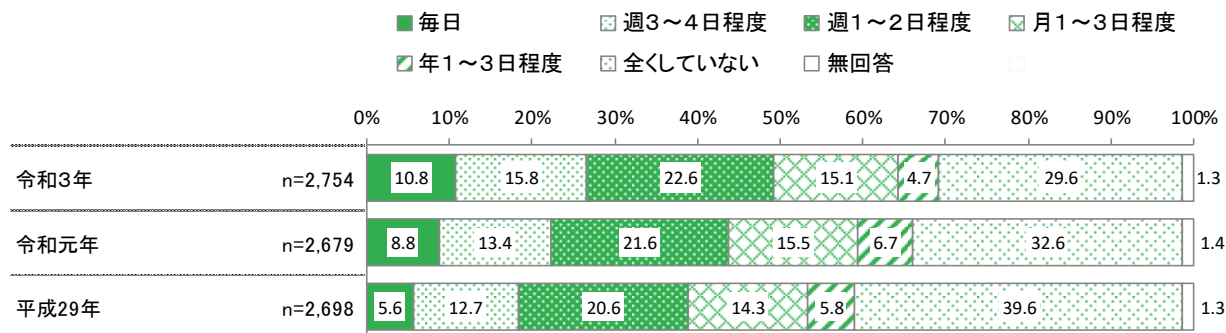
図表 195 スポーツや運動の頻度（全体・性別・年齢別）



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「週3～4日程度」(2.4ポイント増)、「毎日」(2.0ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「全くしていない」(3.0ポイント減)、「年1～3日程度」(2.0ポイント減)などとなっている。【図表 196】

図表 196 スポーツや運動の頻度 (経年比較)



4 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと

問18 あなたは、文化・芸術の振興のために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

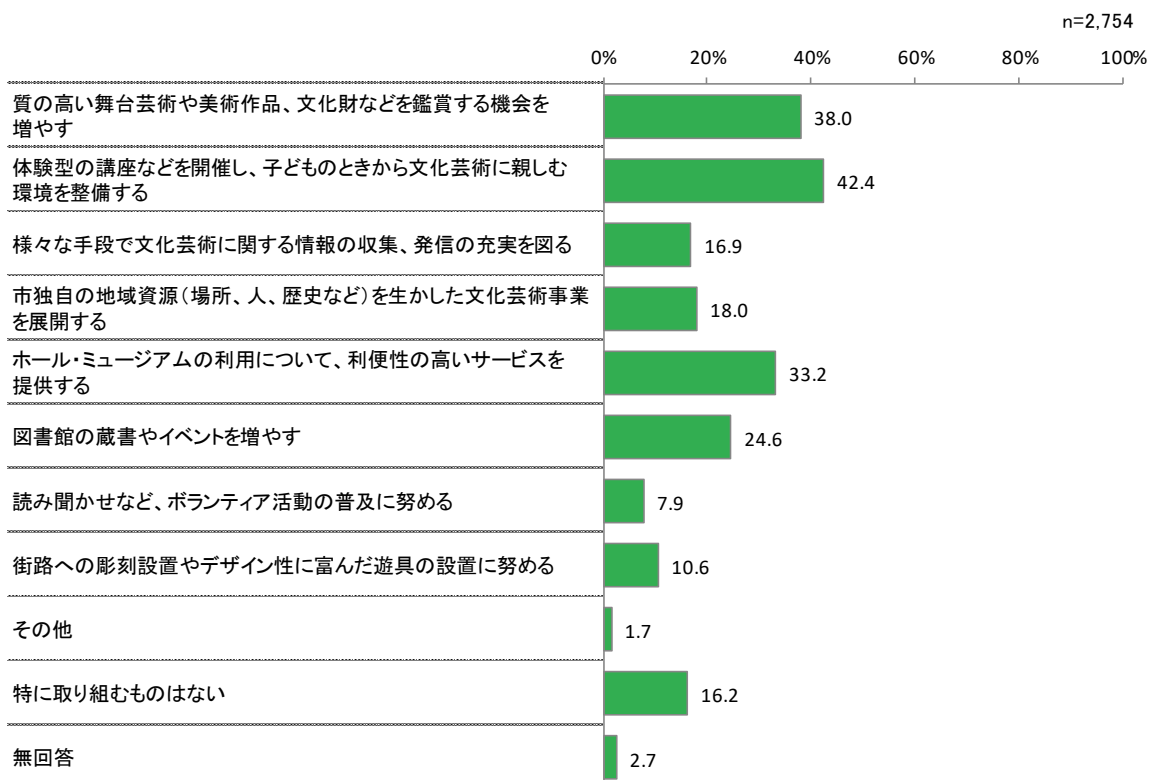
◆ 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきことは「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」が42.4%

文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきことは、「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」(42.4%)が最も高く、次いで「質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす」(38.0%)、「ホール・ミュージアムの利用について、利便性の高いサービスを提供する」(33.2%)の順となっている。【図表 197】

性別で見ると、「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」では、「女性」(47.7%)が「男性」(36.2%)を11.5ポイント、「市独自の地域資源(場所、人、歴史など)を生かした文化芸術事業を展開する」では、「男性」(22.1%)が「女性」(15.3%)を6.8ポイント、「質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす」では、「女性」(41.0%)が「男性」(34.7%)を6.3ポイント、それぞれ上回っている。【図表 198】

年齢別で見ると、全体平均と比較して、「街路への彫刻設置やデザイン性に富んだ遊具の設置に努める」では、「20代」(22.3%)、「質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす」では、「50代」(46.6%)の割合が高くなっている。【図表 198】

図表 197 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと (全体)



図表 198 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・年齢別）

		件数	会を増やす	質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす	親子の環境を整備する	体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する	図る	様々な手段で文化芸術に関する情報の収集、発信の充実を図る	市独自の地域資源（場所、人、歴史など）を生かした文化芸術事業を展開する	ホール・ミュージアムの利用について、利便性の高いサービスを提供する	図書館の蔵書やイベントを増やす	読み聞かせなど、ボランティア活動の普及に努める	街路への彫刻設置やデザイン性に富んだ遊具の設置に努める	その他	特に取り組むものはない	無回答
全体		2,754	38.0	42.4	16.9	18.0	33.2	24.6	7.9	10.6	1.7	16.2	2.7			
性別	男性	1,148	34.7	36.2	19.4	22.1	31.5	23.4	5.9	11.3	1.9	19.5	2.0			
	女性	1,552	41.0	47.7	15.1	15.3	34.7	25.8	9.6	10.2	1.4	13.5	2.6			
年齢別	10代(18・19歳)	52	40.4	42.3	19.2	5.8	32.7	28.8	7.7	15.4	3.8	13.5	0.0			
	20代	229	37.1	44.1	14.8	13.1	29.7	25.8	7.9	22.3	2.6	14.8	0.0			
	30代	357	29.7	48.7	14.0	12.9	32.2	30.3	11.5	14.6	2.0	18.8	0.3			
	40代	490	37.3	50.0	11.8	15.5	33.7	31.2	5.9	9.4	1.6	14.5	0.8			
	50代	479	46.6	43.2	16.9	16.9	34.4	23.6	5.6	7.1	2.1	12.3	0.8			
	60代	527	40.4	40.0	19.2	21.8	22.8	22.8	7.6	8.5	1.7	16.1	3.0			
	70歳以上	595	35.3	34.1	21.0	23.9	30.9	17.8	9.6	9.4	0.5	19.8	7.4			

全体より10%以上

全体より5%以上

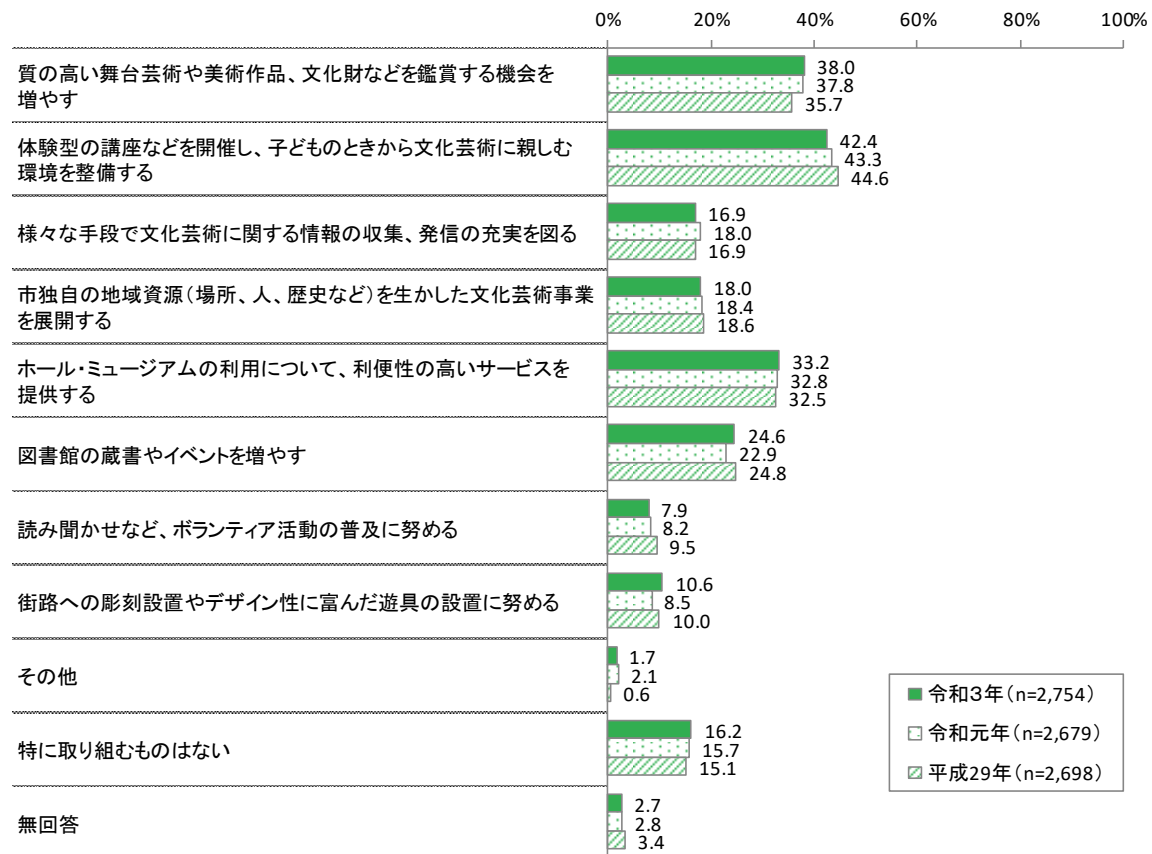
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ 経年比較 ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「街路への彫刻設置やデザイン性に富んだ遊具の設置に努める」（2.1ポイント増）などとなっている。【図表 199】

図表 199 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（経年比較）



7 産業・雇用について

1 観光客増加のために取り組むべきこと

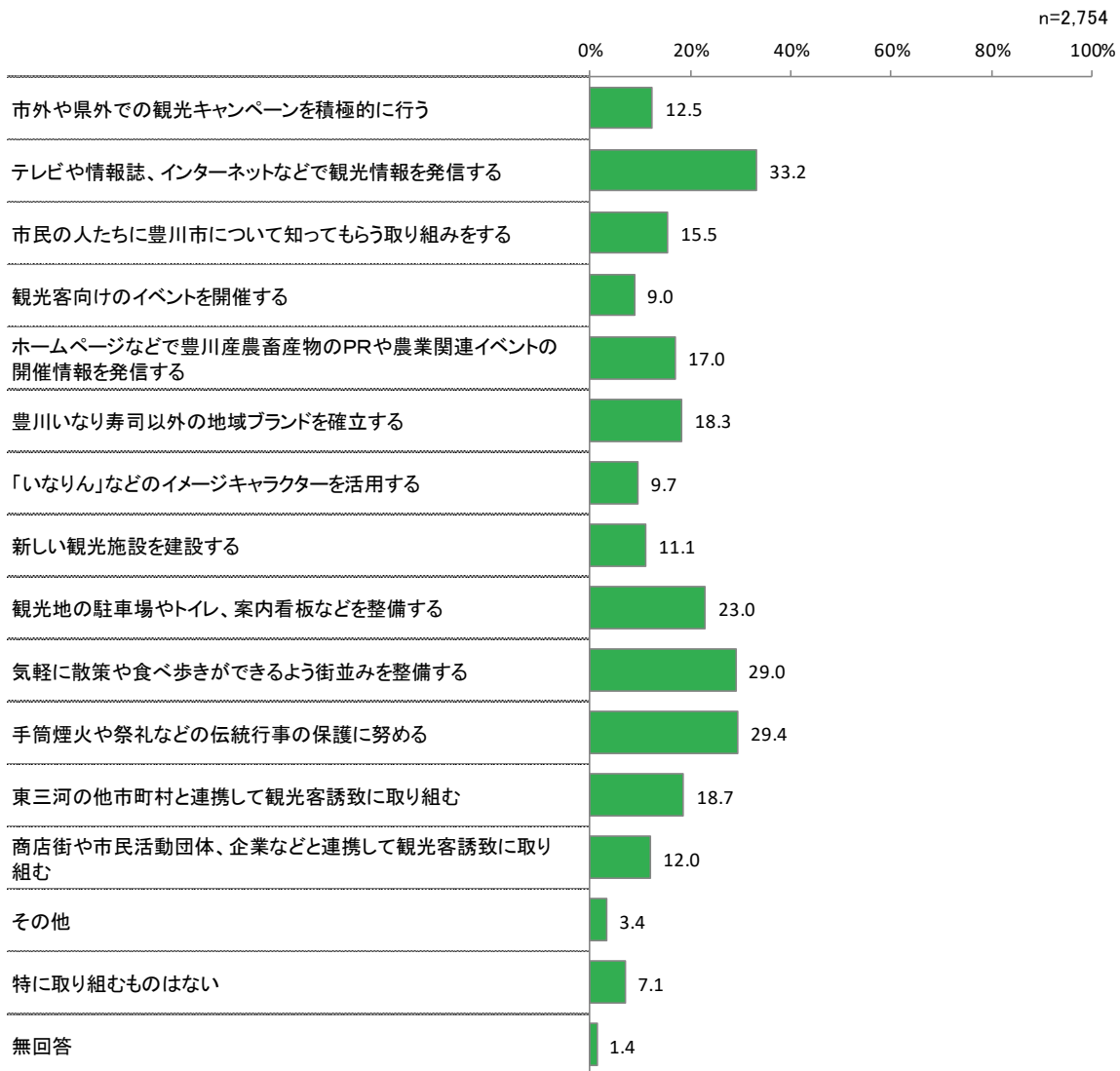
問19 あなたは、多くの観光客の方に豊川市に来ていただくために、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ **観光客増加のために取り組むべきことは「テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する」が33.2%**

観光客増加のために取り組むべきことは、「テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する」(33.2%)が最も高く、次いで「手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に努める」(29.4%)、「気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを整備する」(29.0%)の順となっている。【図表 200】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する」では、「10代(18・19歳)」(44.2%)、「20代」(41.0%)、「50代」(39.0%)、「新しい観光施設を建設する」は「10代(18・19歳)」(23.1%)、「市民の人たちに豊川市について知ってもらう取り組みをする」は「70歳以上」(24.5%)の割合が高くなっている。【図表 201】

図表 200 観光客増加のために取り組むべきこと (全体)



図表 201 観光客増加のために取り組むべきこと（全体・年齢別）

		(%)																
		件数	市外や県外での観光キャンペーンを積極的に行う	テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する	市民の人たちに豊川市について知ってもらう取り組みをする	観光客向けのイベントを開催する	ホームページなどで豊川産農畜産物のPRや農業関連イベントの開催情報を発信する	豊川いなり寿司以外の地域ブランドを確立する	「いなりん」などのイメージキャラクターを活用する	新しい観光施設を建設する	観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを整備する	気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを整備する	手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に努める	東三河の他市町村と連携して観光客誘致に取り組む	商店街や市民活動団体、企業などと連携して観光客誘致に取り組む	その他	特に取り組むものはない	無回答
全 体		2,754	12.5	33.2	15.5	9.0	17.0	18.3	9.7	11.1	23.0	29.0	29.4	18.7	12.0	3.4	7.1	1.4
年齢別	10代(18・19歳)	52	13.5	44.2	5.8	17.3	3.8	25.0	5.8	23.1	23.1	28.8	32.7	11.5	9.6	3.8	5.8	0.0
	20代	229	10.9	41.0	10.5	11.8	6.6	22.3	14.4	18.3	19.2	36.7	35.8	13.5	9.6	5.2	4.8	0.0
	30代	357	9.2	29.7	14.3	9.2	11.2	22.1	15.4	16.8	24.9	35.3	32.5	14.0	8.7	2.5	7.6	0.0
	40代	490	12.9	34.3	10.2	10.4	13.1	21.8	11.2	14.5	20.0	29.8	31.4	16.7	11.2	4.5	7.3	0.8
	50代	479	12.5	39.0	10.2	10.6	16.3	15.0	7.3	9.8	21.1	30.5	30.7	20.3	12.7	4.4	6.1	0.8
	60代	527	13.9	32.3	19.2	7.4	23.9	15.6	8.2	7.4	23.1	26.8	25.8	22.0	12.5	3.4	7.6	1.1
	70歳以上	595	13.9	26.7	24.5	5.5	23.4	16.1	7.1	5.2	27.2	23.4	25.7	22.0	14.6	1.5	8.2	3.2

全体より10%以上

全体より5%以上

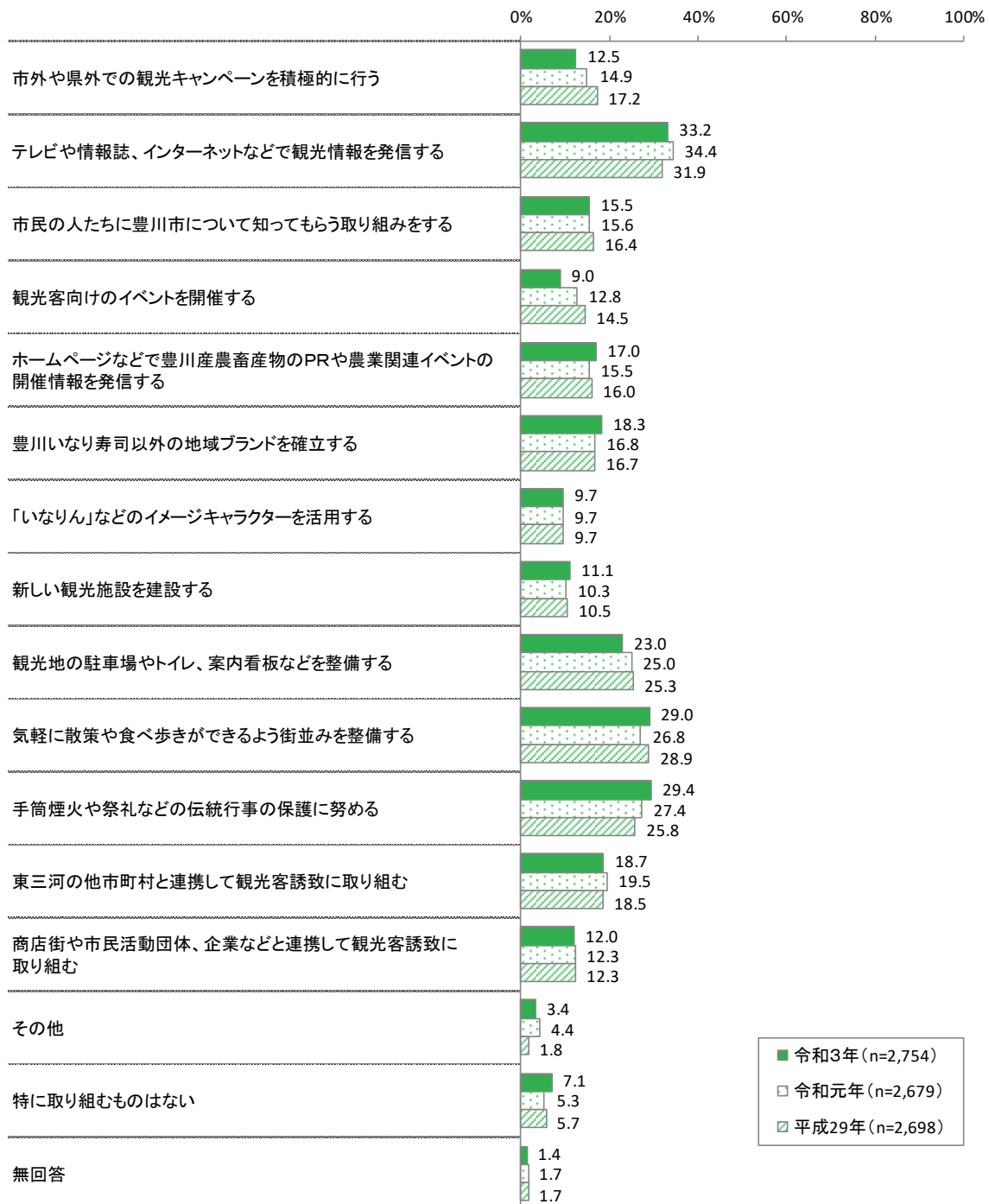
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを整備する」(2.2ポイント増)、「手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に努める」(2.0ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「観光客向けのイベントを開催する」(3.8ポイント減)、「市外や県外での観光キャンペーンを積極的に行う」(2.4ポイント減)、「観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを整備する」(2.0ポイント減)などとなっている。【図表 202】

図表 202 観光客増加のために取り組むべきこと（経年比較）



8 地域・行政について

1 まちづくり活動への参加状況

問20 あなたは、まちづくり活動（町内会・お祭りなどの地域活動、NPO活動、ボランティア・市民活動など）に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

◆ まちづくり活動への参加状況は“参加したことがある”が61.3%、“参加したことがない”が37.6%

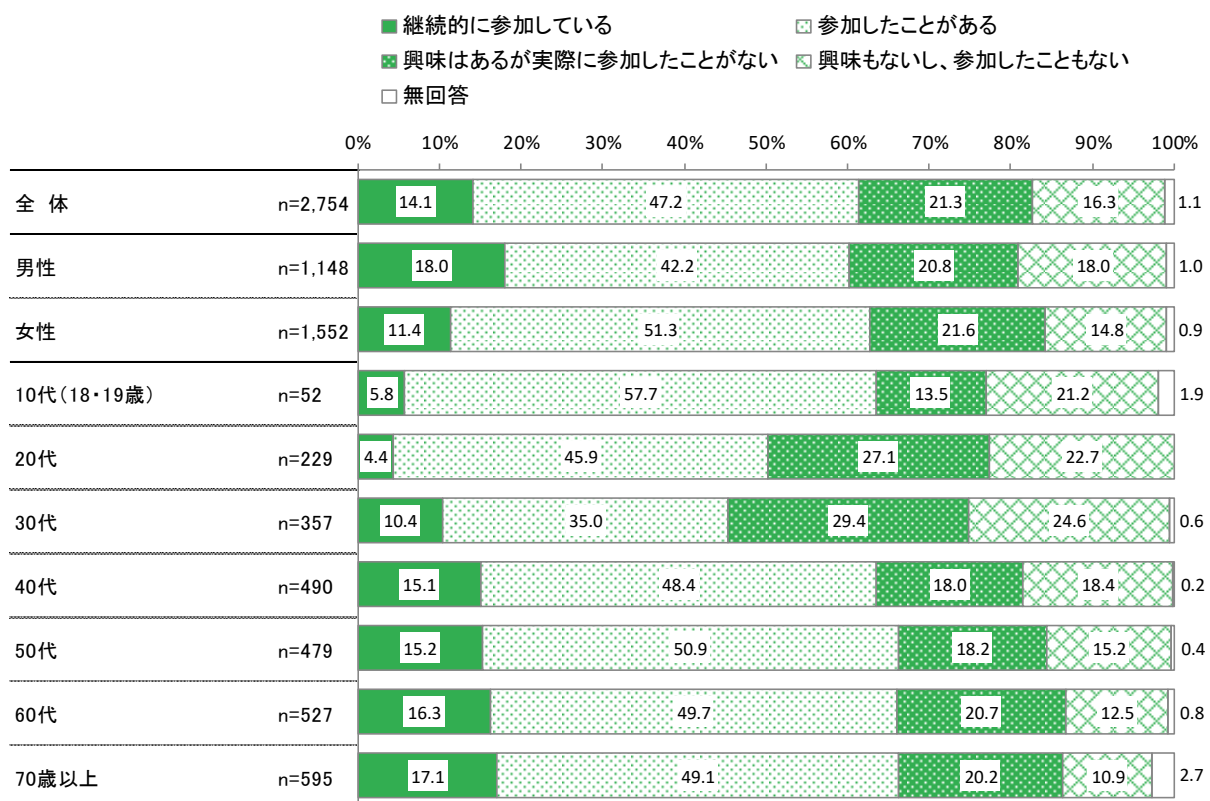
まちづくり活動への参加状況は、「継続的に参加している」（14.1%）と「参加したことがある」（47.2%）をあわせた“参加したことがある”は61.3%、「興味はあるが実際に参加したことがない」（21.3%）と「興味もないし、参加したこともない」（16.3%）をあわせた“参加したことがない”は37.6%となっている。【図表 203】

性別でみると、「参加したことがある」では、「女性」（51.3%）が「男性」（42.2%）を9.1ポイント上回っている。

年齢別でみると、「30代」では、“参加したことがない”の割合が“参加したことがある”を8.6ポイント上回っている。【図表 203】

小学校区別でみると、全体平均と比較して、“参加したことがある”では、「赤坂小学校区」（80.8%）、「御油小学校区」（74.4%）、「長沢小学校区」（71.1%）と割合が高くなっている。また、“参加したことがない”では、「金屋小学校区」（48.1%）、「千両小学校区」（46.1%）の割合が高くなっている。【図表 204】

図表 203 まちづくり活動への参加状況（全体・性別・年齢別）



図表 204 まちづくり活動への参加状況（全体・小学校区別）

		(%)					
		件数	継続的に参加している	参加したことがある	興味はあるが実際に参加したことがない	興味もないし、参加したこともない	無回答
全 体		2,754	14.1	47.2	21.3	16.3	1.1
居住 小学校区別	豊川小学校区	115	15.7	53.0	15.7	15.7	0.0
	桜木小学校区	91	12.1	50.5	17.6	19.8	0.0
	豊小学校区	122	9.8	48.4	22.1	18.9	0.8
	東部小学校区	106	19.8	39.6	25.5	15.1	0.0
	金屋小学校区	81	6.2	45.7	32.1	16.0	0.0
	三蔵子小学校区	166	14.5	46.4	19.9	17.5	1.8
	桜町小学校区	85	16.5	45.9	25.9	10.6	1.2
	代田小学校区	122	8.2	46.7	20.5	23.8	0.8
	中部小学校区	182	11.0	50.0	18.1	20.3	0.5
	牛久保小学校区	105	20.0	43.8	17.1	19.0	0.0
	天王小学校区	75	17.3	48.0	21.3	13.3	0.0
	国府小学校区	174	18.4	47.1	17.2	15.5	1.7
	御油小学校区	137	15.3	59.1	14.6	9.5	1.5
	千両小学校区	39	17.9	33.3	33.3	12.8	2.6
	八南小学校区	161	10.6	47.2	26.1	15.5	0.6
	平尾小学校区	56	10.7	55.4	17.9	12.5	3.6
	一宮東部小学校区	71	16.9	39.4	22.5	21.1	0.0
	一宮西部小学校区	118	17.8	39.0	25.4	16.1	1.7
	一宮南部小学校区	39	23.1	41.0	20.5	15.4	0.0
	赤坂小学校区	78	24.4	56.4	16.7	2.6	0.0
	長沢小学校区	38	13.2	57.9	23.7	5.3	0.0
	萩小学校区	23	21.7	47.8	13.0	17.4	0.0
	御津南部小学校区	155	9.7	46.5	24.5	17.4	1.9
御津北部小学校区	54	11.1	50.0	16.7	18.5	3.7	
小坂井東小学校区	133	11.3	51.1	22.6	13.5	1.5	
小坂井西小学校区	175	14.9	46.3	21.1	17.7	0.0	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

2 男女共同参画

問21 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

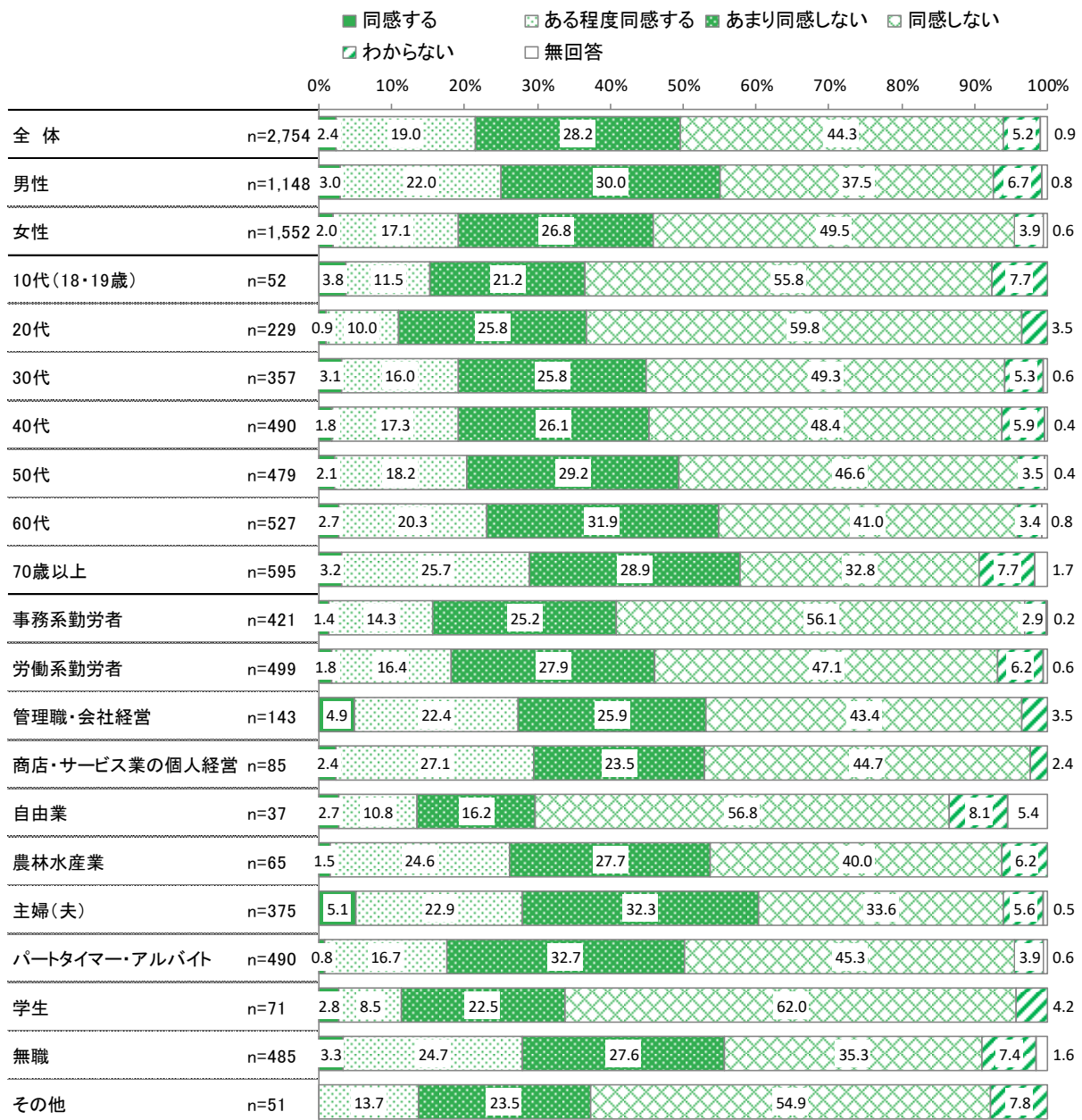
◆ 「男は仕事、女は家庭」という考え方について“同感する”が21.4%、“同感しない”が72.5%

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「同感する」(2.4%)と「ある程度同感する」(19.0%)をあわせた“同感する”が21.4%、「あまり同感しない」(28.2%)と「同感しない」(44.3%)をあわせた“同感しない”が72.5%となっている。【図表205】

性別でみると、“同感しない”では、「女性」(76.3%)が「男性」(67.5%)を8.8ポイント上回っている。年齢別でみると、「70歳以上」では、“同感する”割合が28.9%と高くなっている。

職業別でみると、“同感する”は「商店・サービス業の個人経営」(29.5%)、「主婦(夫)」、「無職」(ともに28.0%)で割合が高くなっている。一方、“同感しない”は、「学生」(84.5%)、「事務系勤労者」(81.3%)で割合が高くなっている。【図表205】

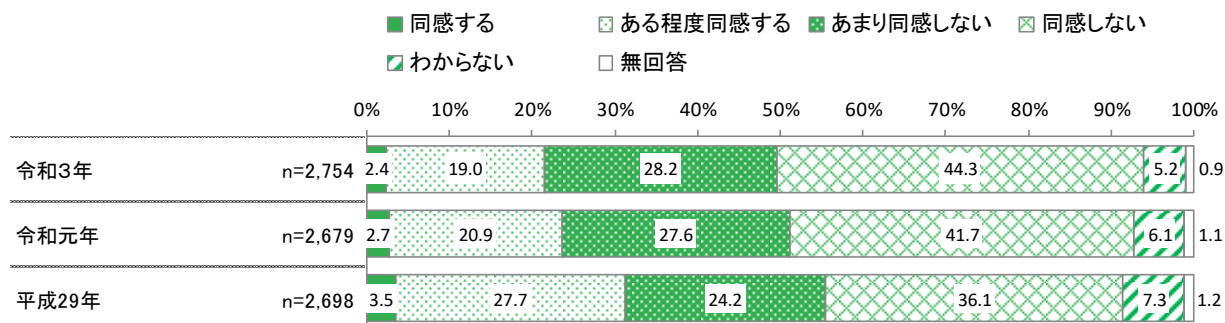
図表 205 男女共同参画 (全体・性別・年齢)



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「同感しない」(2.6ポイント増)などとなっている。【図表 206】

図表 206 男女共同参画 (経年比較)



3 外国人とのつきあい方

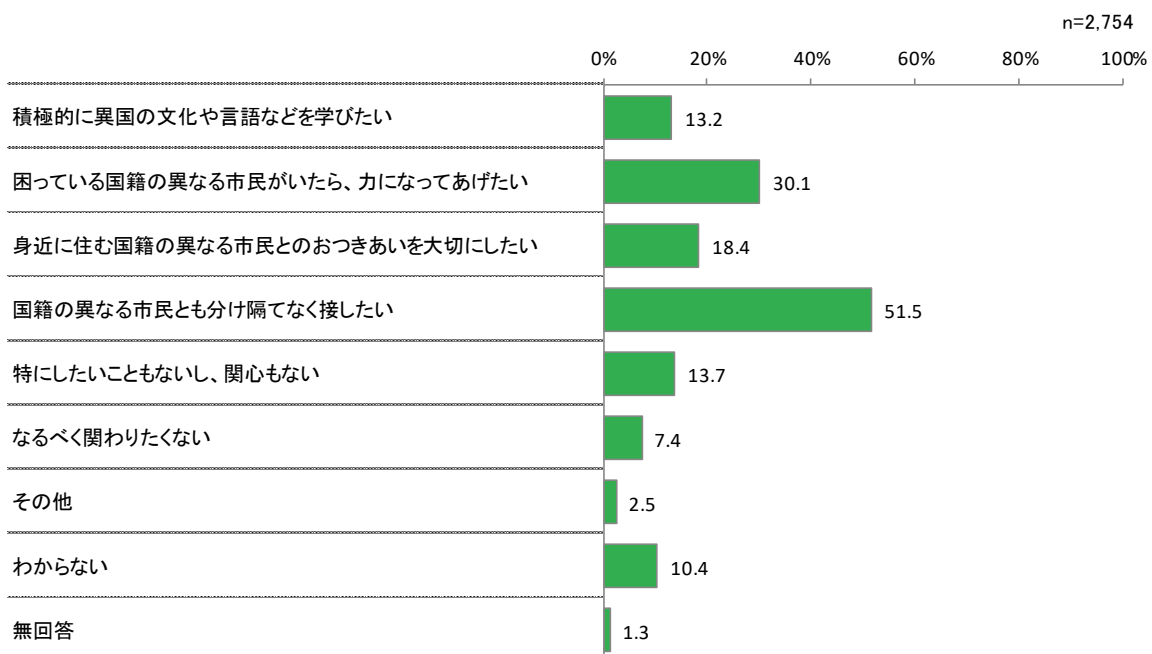
問22 現在、豊川市には、多くの外国人市民が暮らしています。日本人と外国人が、同じ豊川市民として快適に暮らしていける多文化共生社会にするために、あなたは、どのようなことができると思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで○印をつけてください。

◆ 外国人とのつきあい方は「国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい」が51.5%

外国人とのつきあい方は、「国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい」(51.5%)が最も高く、次いで「困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい」(30.1%)、「身近に住む国籍の異なる市民とのつきあいを大切にしたい」(18.4%)の順となっている。【図表207】

年齢別でみると、全体平均と比較して「積極的に異国の文化や言語などを学びたい」では、「10代(18・19歳)」(30.8%)、「困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい」は「20代」(40.2%)の割合が高くなっている。【図表208】

図表 207 外国人とのつきあい方 (全体)



図表 208 外国人とのつきあい方（全体・年齢別）

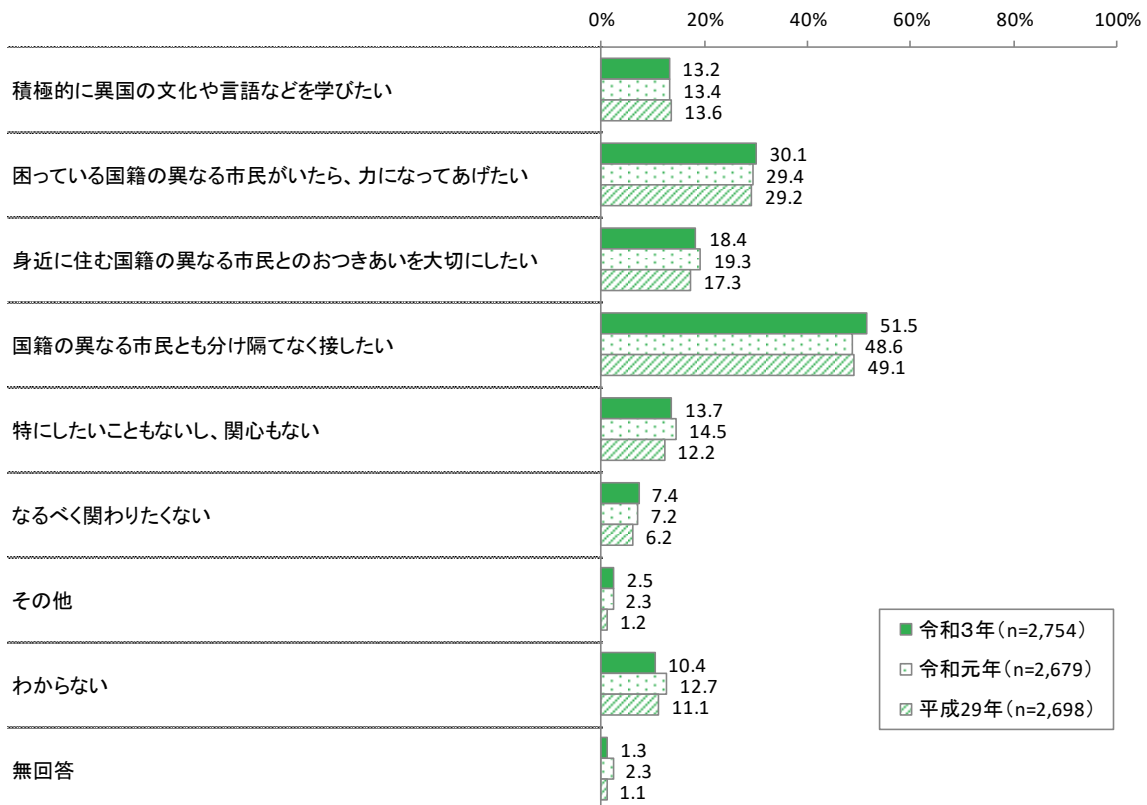
		件数	積極的に異国の文化や言語などを学びたい	困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい	身近に住む国籍の異なる市民とのつきあいを大切にしたい	国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい	特にしたいこともないし、関心もない	なるべく関わりたくない	その他	わからない	無回答
全体		2,754	13.2	30.1	18.4	51.5	13.7	7.4	2.5	10.4	1.3
年齢別	10代(18・19歳)	52	30.8	36.5	7.7	44.2	15.4	0.0	0.0	13.5	0.0
	20代	229	21.8	40.2	16.2	53.7	12.2	5.2	1.7	6.1	0.0
	30代	357	17.9	35.3	16.5	46.2	13.4	8.1	3.1	7.3	0.3
	40代	490	18.8	28.2	20.2	48.8	13.1	6.7	3.7	10.2	0.2
	50代	479	13.6	26.3	17.5	53.9	13.4	6.5	2.7	10.6	0.4
	60代	527	5.9	27.1	21.4	54.3	13.9	8.5	1.3	11.2	1.9
	70歳以上	595	7.2	30.3	18.3	52.8	15.1	8.4	2.9	12.6	3.0



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい」(2.9ポイント増)などとなっている。【図表 209】

図表 209 外国人とのつきあい方（経年比較）



4 広報紙等の閲読率

問23 あなたは、市が配付している広報紙や議会だよりなどをどの程度読んでいますか。次の中からそれぞれにあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

①広報とよかわ

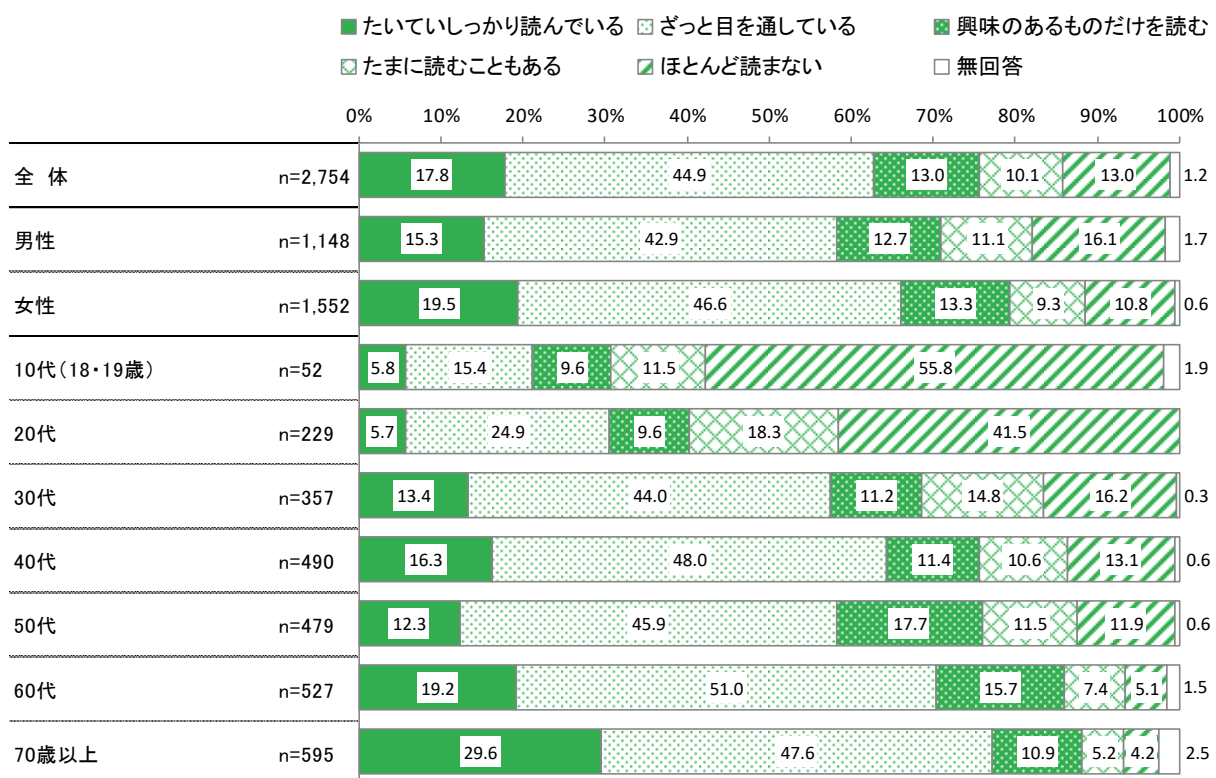
◆ 広報とよかわの閲読率は「ざっと目を通してている」が44.9%、「たいていじっくり読んでいる」が17.8%

広報とよかわの閲読率は、「ざっと目を通してている」(44.9%)が最も高く、次いで「たいていじっくり読んでいる」(17.8%)、「興味のあるものだけを読む」、「ほとんど読まない」(ともに13.0%)、「たまに読むこともある」(10.1%)の順となっている。【図表 210】

性別で見ると、「ほとんど読まない」では、「男性」(16.1%)が「女性」(10.8%)を5.3ポイント上回っている。【図表 210】

年齢別で見ると、「70歳以上」では、「たいていじっくり読んでいる」の割合が高く、29.6%となっている。「ほとんど読まない」では、「10代(18・19歳)」(55.8%)と「70歳以上」(4.2%)の差が51.6ポイントと大きくなっている。【図表 210】

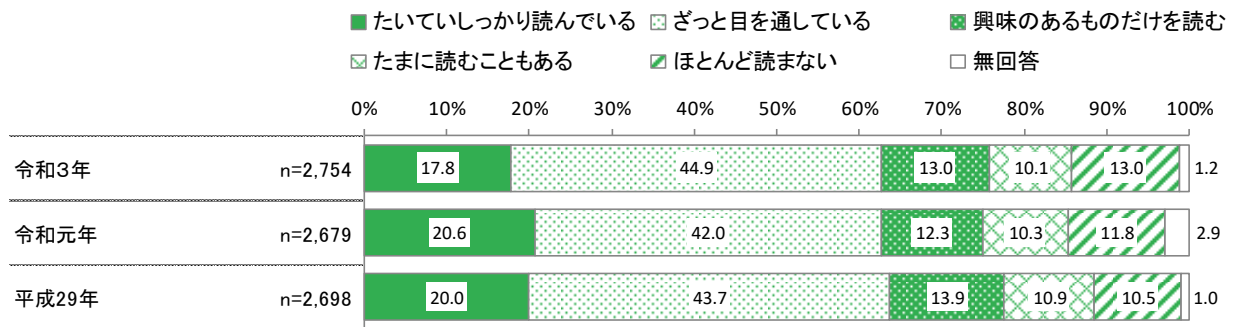
図表 210 広報紙等の閲読率「広報とよかわ」(全体・性別・年齢別)



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「ざっと目を通している」(2.9ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「たいていしっかり読んでいる」(2.8ポイント減)などとなっている。【図表 211】

図表 211 広報紙等の閲読率「広報とよかわ」(経年比較)



②議会だより

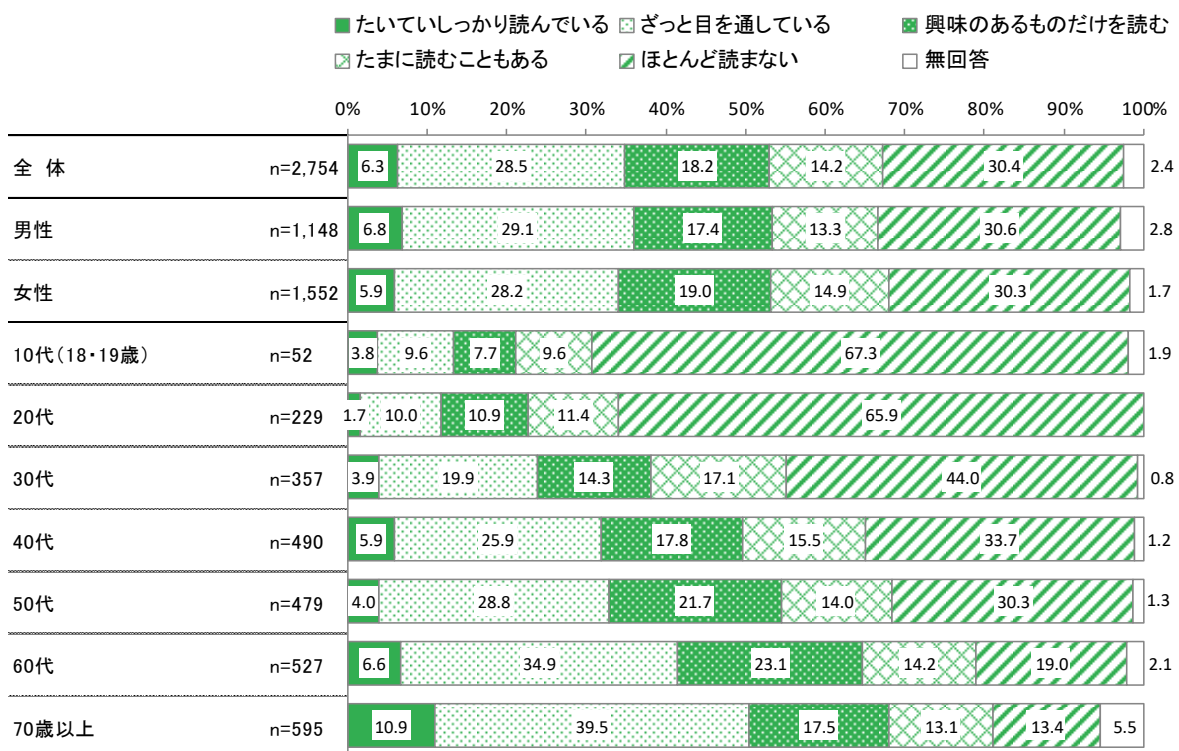
◆ 議会だよりの閲読率は「ほとんど読まない」が30.4%、「ざっと目を通している」が28.5%

議会だよりの閲読率は、「ほとんど読まない」(30.4%)が最も高く、次いで「ざっと目を通している」(28.5%)、「興味のあるものだけを読む」(18.2%)、「たまに読むこともある」(14.2%)、「たいていしっかり読んでいる」(6.3%)の順となっている。【図表 212】

性別による大きな差はみられない。【図表 212】

年齢別で見ると、年齢が高くなるほど「たいていしっかり読んでいる」と「ざっと目を通している」をあわせた“ひと通り読んでいる”の割合が高く、「ほとんど読まない」の割合が低くなっている。「ほとんど読まない」では、「10代(18・19歳)」(67.3%)と「70歳以上」(13.4%)の差が53.9ポイントと大きくなっている。【図表 212】

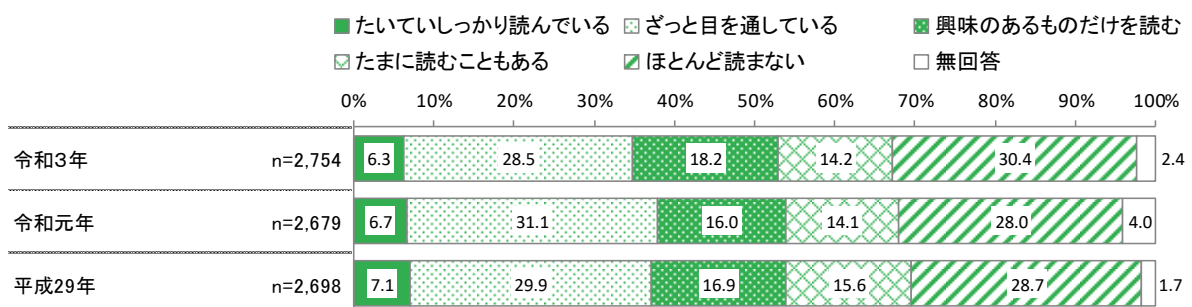
図表 212 広報紙等の閲読率「議会だより」(全体・性別・年齢別)



◆ 経年比較 ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「ほとんど読まない」(2.4ポイント増)、「興味のあるものだけを読む」(2.2ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は「ざっと目を通している」(2.6ポイント減)などとなっている。【図表 213】

図表 213 広報紙等の閲読率「議会だより」(経年比較)



③その他のお知らせ

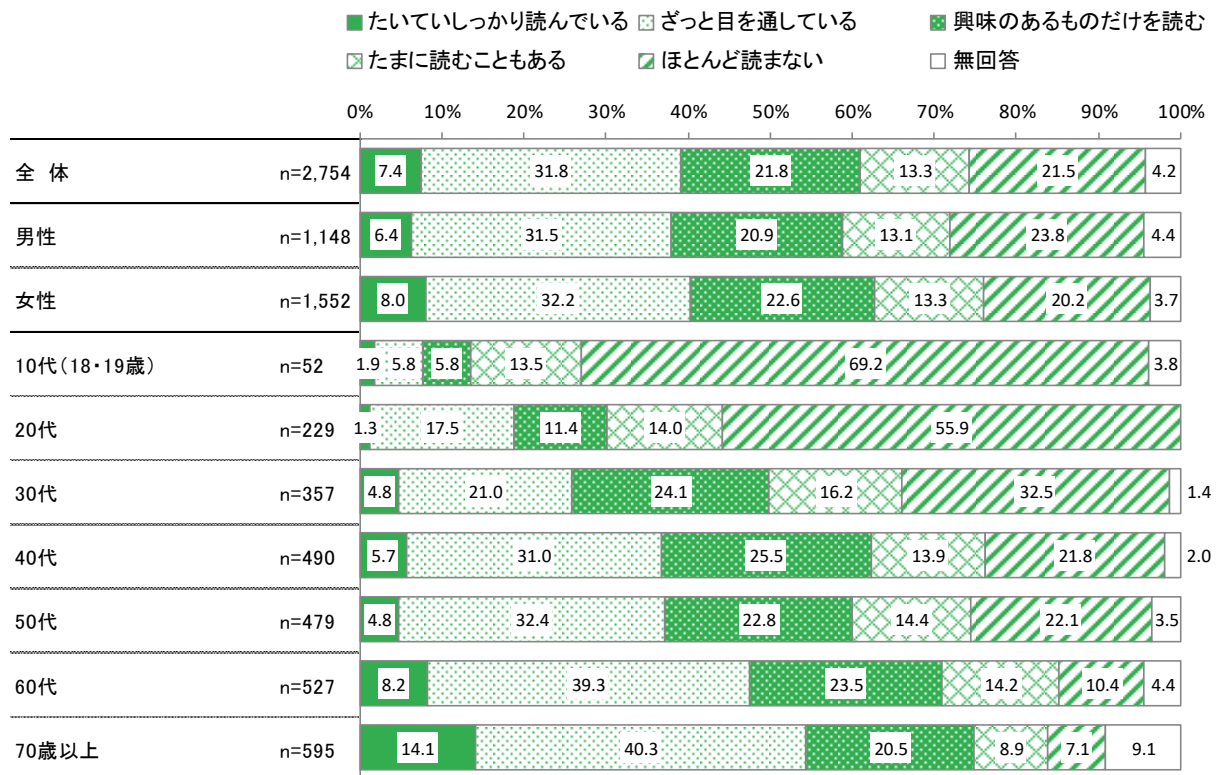
◆ その他のお知らせの閲読率は「ざっと目を通している」31.8%、「興味のあるものだけを読む」21.8%

その他のお知らせの閲読率は、「ざっと目を通している」(31.8%)が最も高く、次いで「興味のあるものだけを読む」(21.8%)、「ほとんど読まない」(21.5%)、「たまに読むこともある」(13.3%)、「たいていしっかり読んでいる」(7.4%)の順となっている。【図表 214】

性別でみると、「ほとんど読まない」では、「男性」(23.8%)が「女性」(20.2%)を3.6ポイント上回っている。【図表 214】

年齢別でみると、年齢が高くなるほど、「たいていしっかり読んでいる」と「ざっと目を通している」の割合が概ね高くなり、「ほとんど読まない」の割合が概ね低くなっている。「ほとんど読まない」では、「10代(18・19歳)」(69.2%)と「70歳以上」(7.1%)の差が62.1ポイントと大きくなっている。【図表 214】

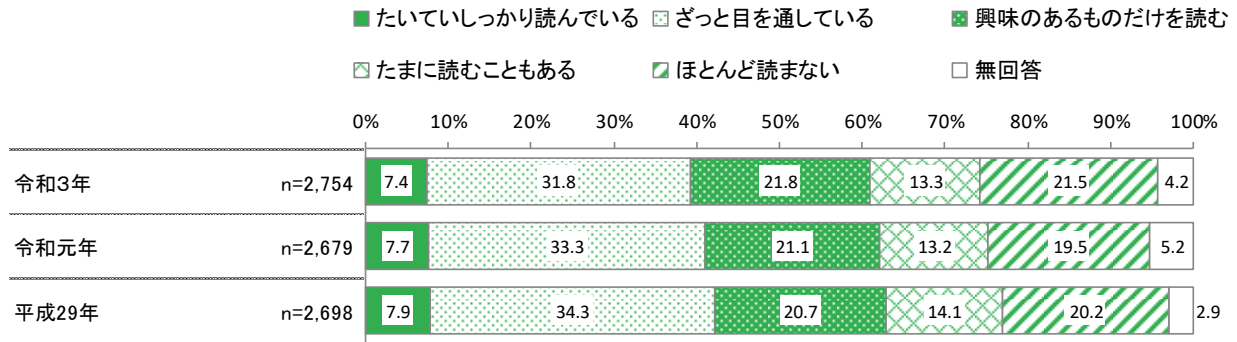
図表 214 広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」(全体・性別・年齢別)



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「ほとんど読まない」（2.0ポイント増）などとなっている。【図表 215】

図表 215 広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」（経年比較）



5 インターネットの利用端末

問24 あなたは、インターネットをどのような端末で利用していますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

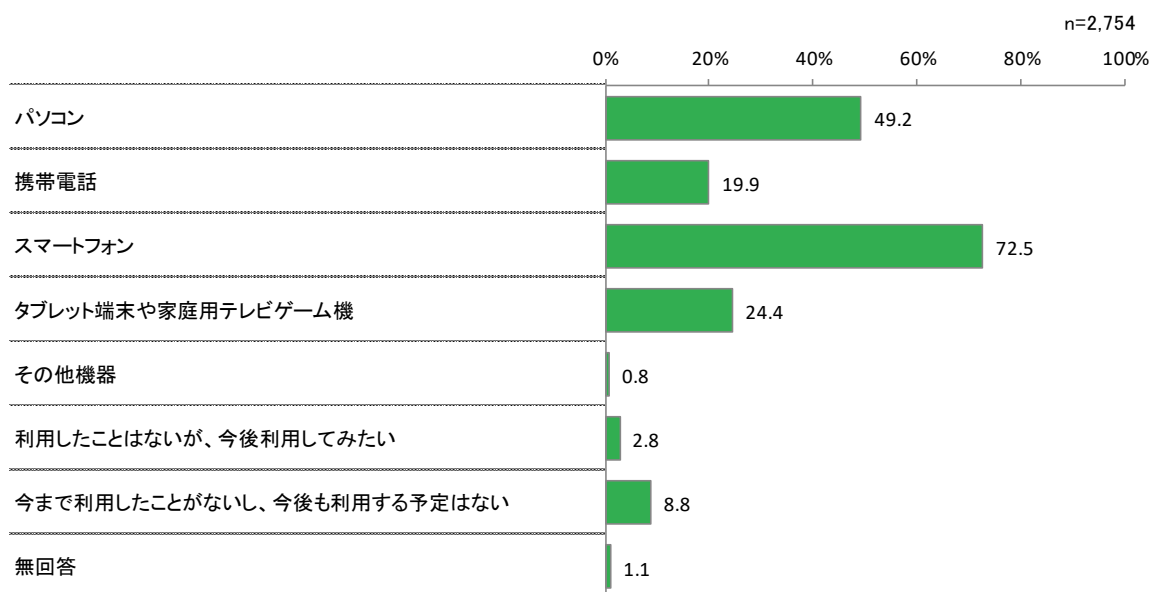
◆ インターネットの利用端末は「スマートフォン」が72.5%、「パソコン」が49.2%

インターネットの利用端末は、「スマートフォン」(72.5%)が最も高く、次いで「パソコン」(49.2%)、「タブレット端末や家庭用テレビゲーム機」(24.4%)、「携帯電話」(19.9%)、「今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない」(8.8%)の順となっている。【図表 216】

年齢別で見ると、「スマートフォン」は「10代(18・19歳)」から「50代」で8割以上と割合が高く、最も割合の低い「70歳以上」では35.3%となっている。また、「パソコン」は、「50代」(63.5%)で最も割合が高くなっている。一方、「今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない」は「70歳以上」で27.9%と割合が高くなっている。【図表 217】

職業別で見ると、「パソコン」は「管理職・会社経営」(83.9%)、「自由業」(75.7%)、「学生」(73.2%)、「事務系勤労者」(71.7%)で割合が高くなっている。「自由業」を除いたこれらの層は、「スマートフォン」の利用割合も高くなっている。一方、「今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない」は「無職」(25.2%)、「農林水産業」(20.0%)で割合が高くなっている。【図表 217】

図表 216 インターネットの利用端末 (全体)



図表 217 インターネットの利用端末（全体・年齢・職業別）

		(%)									
		件数	パソコン	携帯電話	スマートフォン	タブレット端末や家庭用テレビ	その他機器	利用してみたい	利用したことはないが、今後利用してみたい	今後利用する予定はないし、今後利用したくない	無回答
全 体		2,754	49.2	19.9	72.5	24.4	0.8	2.8	8.8	1.1	
年齢別	10代(18・19歳)	52	57.7	23.1	98.1	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20代	229	55.9	19.7	95.2	36.7	0.4	0.0	0.0	0.0	
	30代	357	52.7	14.8	94.4	36.4	1.4	0.0	0.6	0.0	
	40代	490	58.8	20.4	88.0	34.7	0.6	0.0	1.8	0.0	
	50代	479	63.5	18.4	83.9	24.2	1.0	0.6	1.7	0.2	
	60代	527	44.4	21.1	63.8	17.6	0.2	4.0	10.2	1.3	
	70歳以上	595	29.2	23.0	35.3	9.4	1.0	8.4	27.9	2.9	
職業別	事務系勤労者	421	71.7	15.0	91.0	30.6	1.4	0.5	0.7	0.2	
	労働系勤労者	499	50.3	23.2	83.0	29.1	0.8	1.0	4.8	0.4	
	管理職・会社経営	143	83.9	16.1	87.4	32.2	1.4	0.0	0.0	1.4	
	商店・サービス業の個人経営	85	48.2	24.7	75.3	23.5	0.0	1.2	5.9	0.0	
	自由業	37	75.7	32.4	70.3	29.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	農林水産業	65	38.5	20.0	49.2	20.0	0.0	4.6	20.0	1.5	
	主婦(夫)	375	32.3	17.1	67.5	18.9	0.3	4.5	10.4	0.5	
	パートタイマー・アルバイト	490	42.7	20.8	76.9	24.9	0.6	3.3	6.7	0.8	
	学生	71	73.2	22.5	100.0	29.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	485	34.8	21.4	40.2	15.5	1.0	6.2	25.2	2.3	
	その他	51	51.0	21.6	82.4	19.6	0.0	0.0	0.0	0.0	

全体より10%以上

全体より5%以上

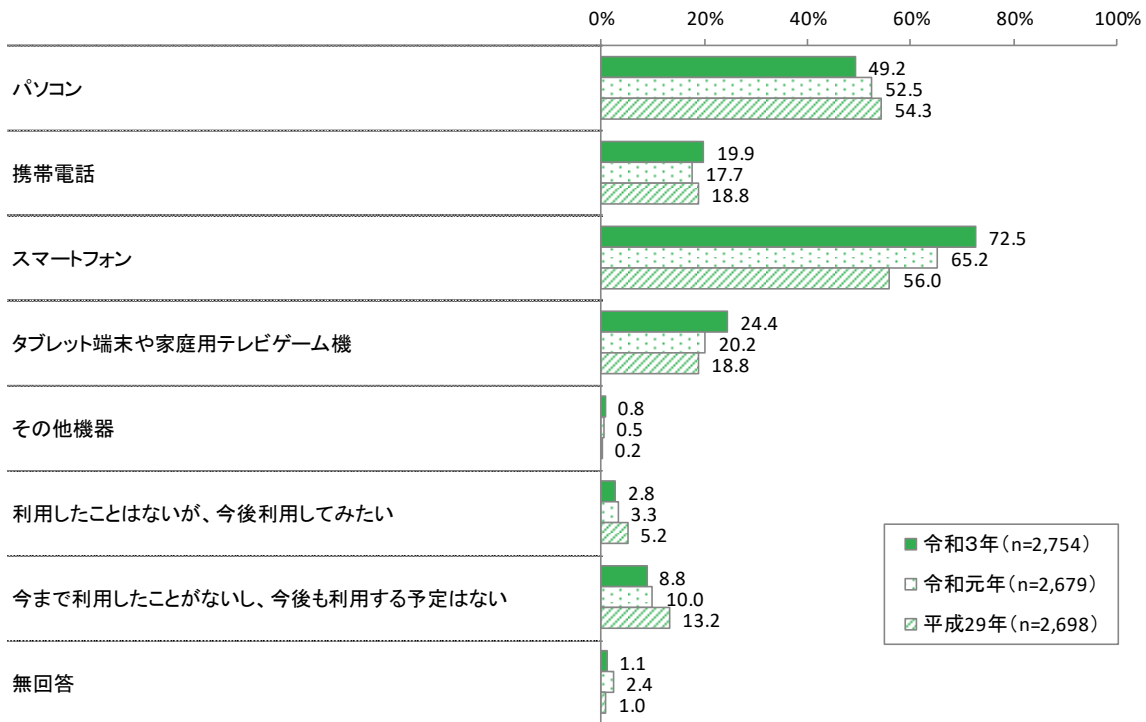
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「スマートフォン」(7.3ポイント増)、「タブレット端末や家庭用テレビゲーム機」(4.2ポイント増)、「携帯電話」(2.2ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「パソコン」(3.3ポイント減)となっている。【図表 218】

図表 218 インターネットの利用端末（経年比較）



6 市の職員の対応への評価

問25 あなたは最近、市の職員の対応についてどのように感じましたか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

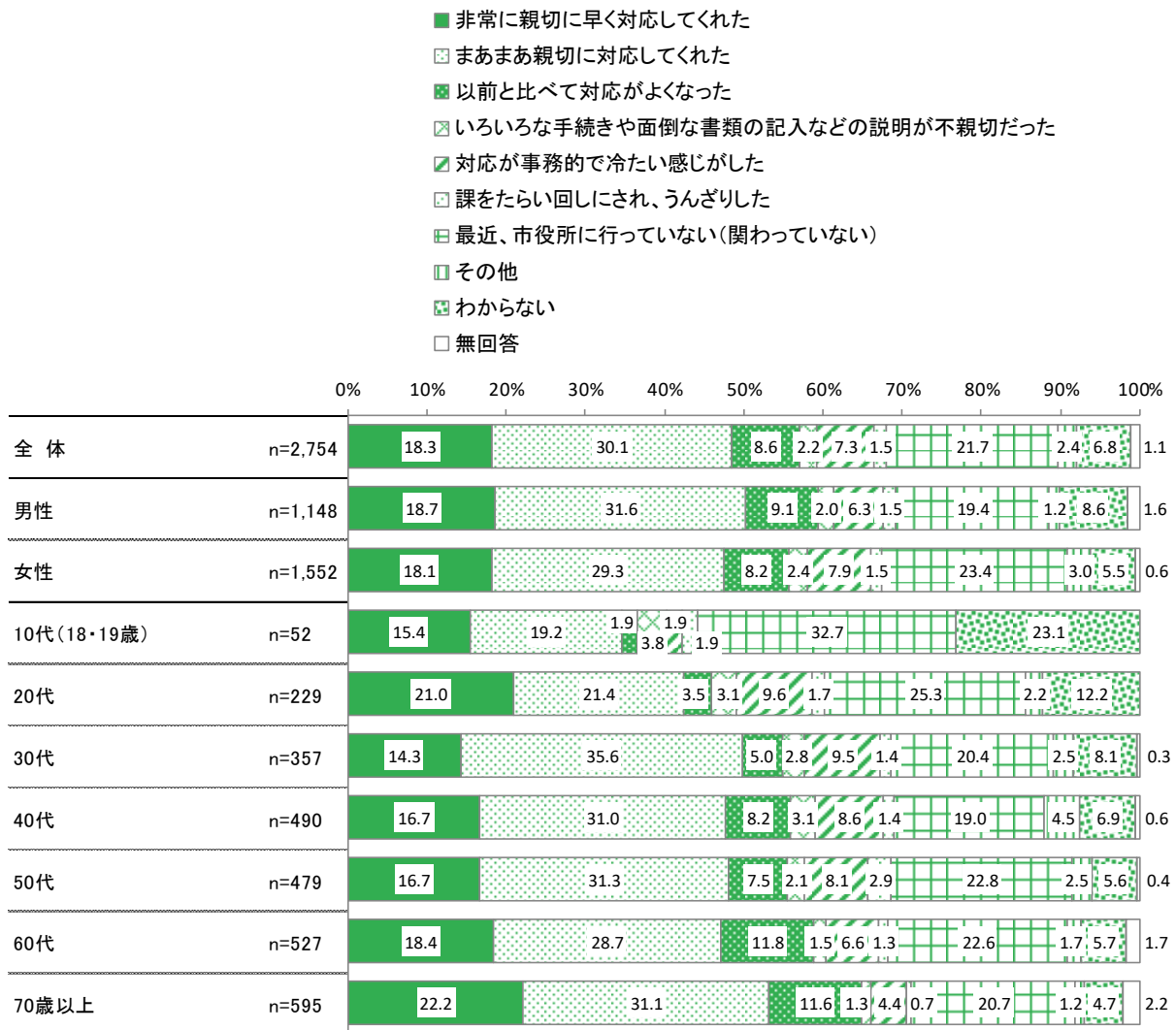
◆ 市の職員の対応への評価は「まあまあ親切に対応してくれた」が30.1%

市の職員の対応への評価は「まあまあ親切に対応してくれた」(30.1%)が最も高く、次いで「最近、市役所に行っていない(関わっていない)」(21.7%)、「非常に親切に早く対応してくれた」(18.3%)、「以前と比べて対応がよくなった」(8.6%)、「対応が事務的で冷たい感じがした」(7.3%)の順となっている。【図表 219】

性別でみると、最も差がある項目「最近、市役所に行っていない(関わっていない)」では、「女性」(23.4%)が「男性」(19.4%)を4.0ポイント上回っている。【図表 219】

年齢別でみると、「非常に親切に早く対応してくれた」は「70歳以上」(22.2%)、「20代」(21.0%)の割合が高くなっている。「以前と比べて対応がよくなった」は、「60代」(11.8%)、「70歳以上」(11.6%)で割合が高くなっている。【図表 219】

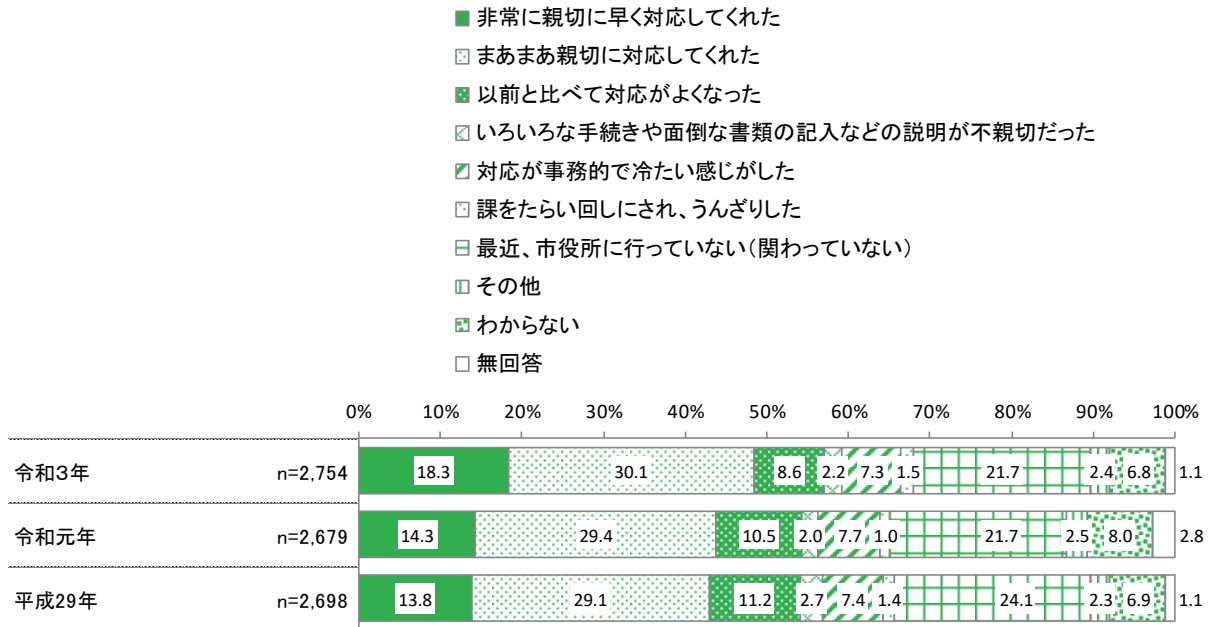
図表 219 市の職員の対応への評価(全体・性別・年齢別)



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「非常に親切に早く対応してくれた」（4.0ポイント増）などとなっている。【図表 220】

図表 220 市の職員の対応への評価（経年比較）



7 定住・交流施策

問26 今後、豊川市が少子高齢化や人口減少といった課題に対応し、持続可能で安定した市政運営を行うためには、定住する人口と、通勤・観光などの交流人口、両方を増やすことがたいせつです。この中で、あなたがたいせつだと考える定住・交流施策をたいせつだと思う順に3つまで選び、下の解答欄に番号を記入してください。

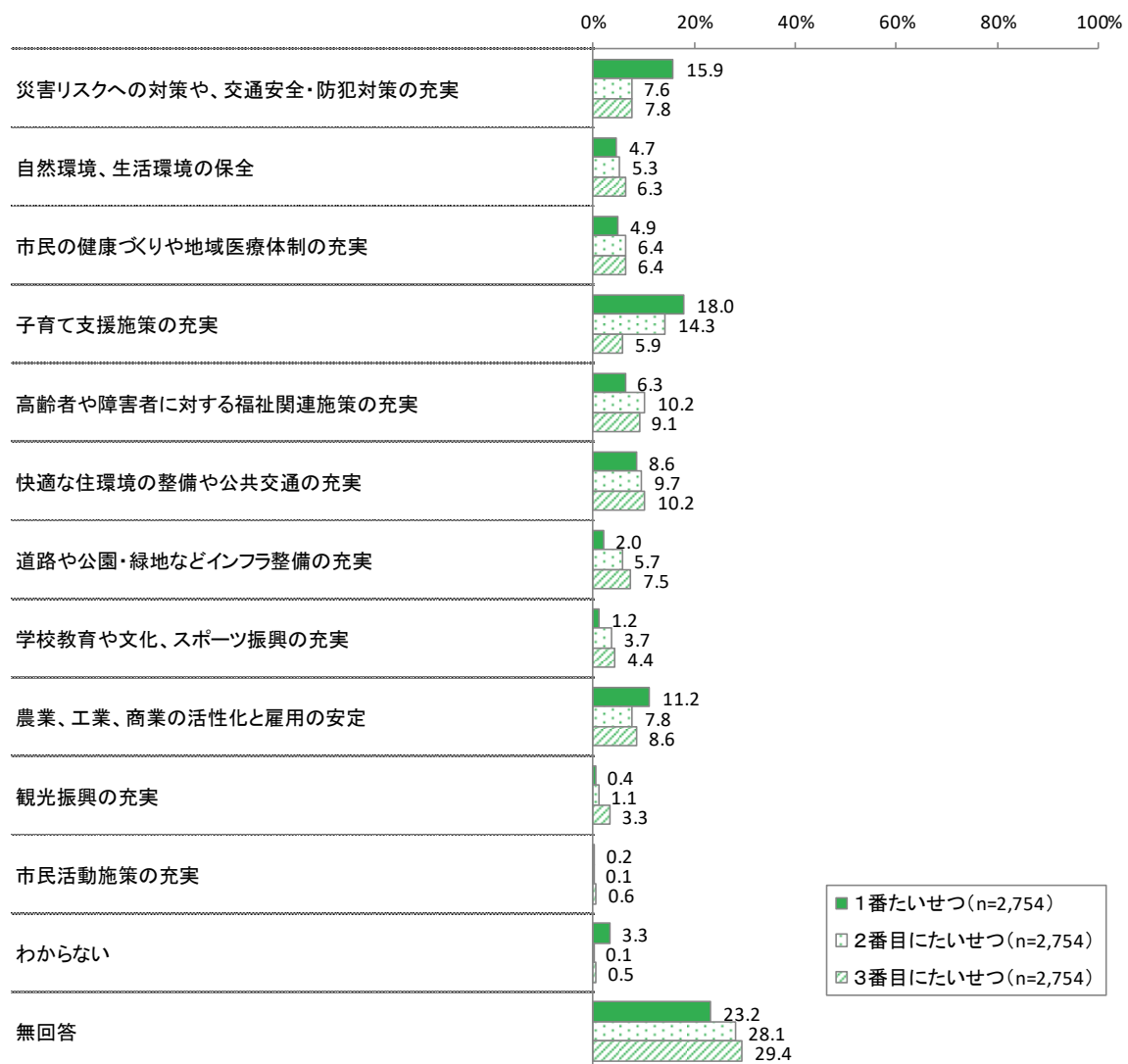
◆ 1番たいせつだと考える定住・交流施策は「子育て支援施策の充実」が18.0%

1番たいせつだと考える定住・交流施策は、「子育て支援施策の充実」(18.0%)が最も高く、次いで「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」(15.9%)、「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」(11.2%)の順となっている。【図表 221】

2番目にたいせつだと考える定住・交流施策は、「子育て支援施策の充実」(14.3%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実」(10.2%)、「快適な住環境の整備や公共交通の充実」(9.7%)の順となっている。【図表 221】

3番目にたいせつだと考える定住・交流施策は、「快適な住環境の整備や公共交通の充実」(10.2%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実」(9.1%)、「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」(8.6%)の順となっている。【図表 221】

図表 221 たいせつだと考える定住・交流施策 (全体)



◆■1番たいせつだと考える定住・交流施策■◆

性別でみると、「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」では、「男性」(12.4%)が「女性」(10.6%)を1.8ポイント上回っている。【図表 222】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「子育て支援施策の充実」は「30代」(35.3%)、「20代」(34.9%)の割合が高くなっている。【図表 222】

小学校区別でみると、「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」では、「萩小学校区」(21.7%)、「赤坂小学校区」(19.2%)、「一宮南部小学校区」(17.9%)で割合が高くなっている。【図表 222】

図表 222 1番たいせつだと考える定住・交流施策 (全体・性別・年齢別・小学校区別)

		件数	交通安全・防犯対策の充実	災害リスクへの対策や、交	自然環境、生活環境の保全	療育体制の充実	市民の健康づくりや地域医	子育て支援施策の充実	社関連連施策の充実	高齢者や障害者に対する福	交通の充実	快適な住環境の整備や公共	道路や公園・緑地などイン	振興の充実	学校教育や文化、スポーツ	農業、工業、商業の活性化	観光振興の充実	市民活動施策の充実	わからない	無回答
全 体		2,754	15.9	4.7	4.9	18.0	6.3	8.6	2.0	11.2	0.4	0.2	3.3	23.2						
性別	男性	1,148	16.0	4.7	4.9	17.4	5.3	8.4	3.0	0.8	12.4	0.6	0.2	2.9	23.4					
	女性	1,552	16.0	4.6	4.8	18.4	7.0	8.7	1.4	1.4	10.6	0.3	0.3	3.6	22.9					
年齢別	10代(18・19歳)	52	17.3	5.8	3.8	17.3	5.8	15.4	9.6	0.0	7.7	0.0	0.0	5.8	11.5					
	20代	229	21.4	3.5	3.1	34.9	3.1	10.0	2.6	1.7	5.7	0.9	0.4	2.6	10.0					
	30代	357	14.8	2.8	2.8	35.3	1.1	8.7	3.4	1.1	10.6	0.6	0.3	2.8	15.7					
	40代	490	15.9	2.9	4.9	21.6	5.5	9.6	2.4	2.7	11.6	0.6	0.2	2.9	19.2					
	50代	479	15.0	3.8	4.6	13.2	5.8	11.3	2.5	1.3	18.0	0.2	0.0	3.1	21.3					
	60代	527	16.9	5.9	4.2	10.1	8.5	9.1	1.1	0.8	9.9	0.8	0.2	2.3	30.4					
	70歳以上	595	14.6	7.2	7.6	9.4	9.6	4.2	0.5	0.2	9.4	0.0	0.3	5.0	31.9					
居住 小学校区別	豊川小学校区	115	11.3	4.3	3.5	22.6	7.0	10.4	0.0	0.9	12.2	0.0	0.9	3.5	23.5					
	桜木小学校区	91	20.9	5.5	5.5	23.1	5.5	8.8	0.0	0.0	8.8	0.0	2.2	3.3	16.5					
	豊小学校区	122	13.1	4.9	4.9	19.7	9.8	5.7	2.5	1.6	9.8	0.8	0.0	4.1	23.0					
	東部小学校区	106	12.3	2.8	5.7	20.8	4.7	7.5	0.9	0.0	14.2	1.9	0.0	8.5	20.8					
	金屋小学校区	81	23.5	4.9	7.4	19.8	6.2	6.2	2.5	2.5	9.9	0.0	1.2	0.0	16.0					
	三蔵子小学校区	166	18.7	4.8	6.0	16.9	3.0	6.6	0.6	0.6	12.7	0.6	0.0	4.2	25.3					
	桜町小学校区	85	22.4	5.9	5.9	21.2	7.1	7.1	1.2	2.4	3.5	1.2	0.0	1.2	21.2					
	代田小学校区	122	11.5	2.5	4.1	18.9	6.6	5.7	3.3	0.0	15.6	0.0	0.0	0.8	31.1					
	中部小学校区	182	14.8	5.5	3.3	15.4	4.9	8.2	1.6	2.2	15.9	1.1	0.0	6.0	20.9					
	牛久保小学校区	105	16.2	1.9	6.7	18.1	5.7	11.4	2.9	0.0	10.5	0.0	0.0	1.9	24.8					
	天王小学校区	75	20.0	4.0	8.0	14.7	8.0	6.7	2.7	1.3	5.3	0.0	0.0	2.7	26.7					
	国府小学校区	174	20.7	4.6	5.7	15.5	2.9	11.5	3.4	2.3	13.8	0.0	0.0	3.4	16.1					
	御油小学校区	137	11.7	5.1	5.1	13.1	10.2	13.9	2.9	0.0	12.4	0.7	0.7	2.9	21.2					
	千両小学校区	39	5.1	12.8	0.0	25.6	2.6	10.3	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	5.1	23.1					
	八南小学校区	161	15.5	4.3	2.5	22.4	3.1	8.7	1.9	1.9	11.2	0.0	0.0	1.9	26.7					
	平尾小学校区	56	19.6	1.8	5.4	17.9	5.4	14.3	0.0	3.6	12.5	0.0	0.0	1.8	17.9					
	一宮東部小学校区	71	11.3	5.6	1.4	23.9	7.0	4.2	2.8	0.0	15.5	0.0	0.0	5.6	22.5					
	一宮西部小学校区	118	13.6	3.4	3.4	26.3	10.2	5.1	0.8	0.8	8.5	0.0	0.0	4.2	23.7					
	一宮南部小学校区	39	12.8	0.0	7.7	17.9	10.3	2.6	2.6	0.0	17.9	0.0	0.0	0.0	28.2					
	赤坂小学校区	78	14.1	6.4	5.1	12.8	11.5	11.5	0.0	2.6	19.2	0.0	0.0	1.3	15.4					
	長沢小学校区	38	21.1	5.3	2.6	13.2	5.3	7.9	0.0	2.6	10.5	0.0	0.0	2.6	28.9					
	萩小学校区	23	0.0	4.3	8.7	17.4	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	0.0	4.3	13.0	30.4					
	御津南部小学校区	155	19.4	7.1	4.5	15.5	7.7	7.7	2.6	0.6	6.5	0.0	0.0	4.5	23.9					
御津北部小学校区	54	7.4	7.4	5.6	13.0	9.3	13.0	1.9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	31.5						
小坂井東小学校区	133	20.3	5.3	4.5	15.8	4.5	10.5	3.0	1.5	6.8	0.0	0.0	3.8	24.1						
小坂井西小学校区	175	17.7	2.9	5.7	14.3	5.7	10.3	5.7	1.7	9.1	0.6	0.0	1.7	24.6						

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

◆■2番目にたいせつだと考える定住・交流施策■◆

性別でみると、「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」では、「男性」(8.9%)が「女性」(7.3%)を1.6ポイント上回っている。【図表 223】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「10代(18・19歳)」で「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」(17.3%)、「市民の健康づくりや地域医療体制の充実」(13.5%)の割合が高くなっている。【図表 223】

小学校区別でみると、「子育て支援施策の充実」では、「御油小学校区」(24.1%)、「御津北部小学校区」(20.4%)、「桜町小学校区」(20.0%)で割合が高くなっている。【図表 223】

図表 223 2番目にたいせつだと考える定住・交流施策(全体・性別・年齢別・小学校区別)

		件数	交通安全・防犯対策の充実	自然環境、生活環境の保全	市民の健康づくりや地域医療体制の充実	子育て支援施策の充実	社関連連施策の充実	高齢者や障害者に対する福祉	交通の充実	快適な住環境の整備や公共	道路や公園・緑地などインフラ整備の充実	振興の充実	学校教育や文化、スポーツ	農業、工業、商業の活性化と雇用の安定	観光振興の充実	市民活動施策の充実	わからない	無回答
全体		2,754	7.6	5.3	6.4	14.3	10.2	9.7	5.7	3.7	7.8	1.1	0.1	0.1	0.1	28.1		
性別	男性	1,148	7.1	5.2	6.6	13.6	9.9	9.3	5.8	3.6	8.9	1.4	0.1	0.0	0.0	28.4		
	女性	1,552	8.0	5.4	6.3	14.7	10.1	10.0	5.8	3.7	7.3	0.8	0.1	0.2	0.2	27.7		
年齢別	10代(18・19歳)	52	17.3	7.7	13.5	11.5	3.8	7.7	5.8	7.7	5.8	1.9	0.0	0.0	0.0	17.3		
	20代	229	10.0	5.2	5.2	17.5	13.1	11.8	6.6	7.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8		
	30代	357	8.7	3.9	4.5	16.8	7.8	11.5	10.4	4.8	7.8	2.8	0.0	0.0	0.0	21.0		
	40代	490	8.0	5.5	5.5	15.9	8.6	10.8	5.7	4.9	11.0	1.0	0.0	0.0	0.0	23.1		
	50代	479	10.0	5.0	5.0	16.3	10.0	10.6	5.0	3.1	7.7	1.3	0.2	0.2	0.2	25.5		
	60代	527	3.8	5.1	7.8	15.2	10.2	7.6	5.3	2.7	7.4	0.6	0.2	0.2	0.2	34.0		
	70歳以上	595	6.7	6.2	8.1	7.7	12.3	8.1	3.7	1.5	5.7	0.7	0.0	0.3	0.3	39.0		
居住小学校区別	豊川小学校区	115	8.7	6.1	7.8	12.2	9.6	7.0	4.3	5.2	8.7	2.6	0.0	0.0	0.0	27.8		
	桜木小学校区	91	5.5	5.5	9.9	16.5	11.0	7.7	9.9	3.3	8.8	2.2	0.0	0.0	0.0	19.8		
	豊小学校区	122	4.1	7.4	6.6	10.7	13.9	7.4	5.7	5.7	9.0	1.6	0.0	0.0	0.0	27.9		
	東部小学校区	106	10.4	2.8	1.9	11.3	14.2	8.5	6.6	1.9	8.5	1.9	0.0	0.0	0.0	32.1		
	金屋小学校区	81	11.1	8.6	9.9	13.6	12.3	14.8	3.7	0.0	7.4	1.2	0.0	0.0	0.0	17.3		
	三蔵子小学校区	166	5.4	6.0	6.6	13.9	8.4	9.0	7.2	5.4	6.0	0.6	0.0	0.0	0.0	31.3		
	桜町小学校区	85	5.9	9.4	7.1	20.0	16.5	8.2	4.7	2.4	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	22.4		
	代田小学校区	122	9.8	2.5	6.6	11.5	11.5	10.7	3.3	3.3	8.2	0.0	0.0	0.0	0.0	32.8		
	中部小学校区	182	8.2	2.7	6.6	15.4	6.6	14.3	3.3	6.6	5.5	1.1	0.0	0.5	0.5	29.1		
	牛久保小学校区	105	7.6	3.8	6.7	8.6	20.0	5.7	4.8	1.9	10.5	1.9	1.0	0.0	0.0	27.6		
	天王小学校区	75	4.0	10.7	10.7	9.3	12.0	5.3	1.3	2.7	10.7	0.0	0.0	1.3	1.3	32.0		
	国府小学校区	174	9.2	5.2	8.0	16.7	6.9	12.6	8.0	2.9	9.2	0.6	0.0	0.6	0.6	20.1		
	御油小学校区	137	10.9	5.8	5.1	24.1	10.9	8.8	1.5	3.6	2.9	1.5	0.0	0.0	0.0	24.8		
	千両小学校区	39	7.7	2.6	0.0	15.4	12.8	10.3	7.7	2.6	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0	28.2		
	八南小学校区	161	7.5	4.3	5.0	14.9	11.8	9.9	5.0	3.7	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6		
	平尾小学校区	56	5.4	0.0	5.4	14.3	10.7	12.5	7.1	5.4	12.5	3.6	1.8	0.0	0.0	21.4		
	一宮東部小学校区	71	5.6	7.0	2.8	15.5	4.2	12.7	5.6	5.6	9.9	1.4	0.0	0.0	0.0	29.6		
	一宮西部小学校区	118	9.3	2.5	6.8	11.9	6.8	11.9	6.8	2.5	8.5	0.8	0.0	0.0	0.0	32.2		
	一宮南部小学校区	39	7.7	2.6	5.1	7.7	10.3	10.3	0.0	10.3	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8		
	赤坂小学校区	78	6.4	11.5	7.7	16.7	6.4	12.8	6.4	6.4	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2		
	長沢小学校区	38	5.3	2.6	7.9	10.5	7.9	7.9	10.5	5.3	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	34.2		
	萩小学校区	23	0.0	0.0	0.0	17.4	8.7	8.7	8.7	0.0	13.0	4.3	0.0	0.0	0.0	39.1		
	御津南部小学校区	155	7.7	6.5	5.8	11.6	9.0	10.3	6.5	1.3	7.1	1.9	0.0	0.6	0.6	31.6		
御津北部小学校区	54	1.9	3.7	0.0	20.4	11.1	5.6	9.3	1.9	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	35.2			
小坂井東小学校区	133	9.8	9.0	9.0	9.8	9.8	6.8	9.0	2.3	4.5	0.8	0.0	0.0	0.0	29.3			
小坂井西小学校区	175	8.6	4.6	6.3	18.3	7.4	9.7	6.9	2.9	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0			

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

◆■3番目にたいせつだと考える定住・交流施策■◆

性別でみると、「自然環境、生活環境の保全」では、「男性」(7.6%)が「女性」(5.4%)を2.2ポイント、「道路や公園・緑地などインフラ整備の充実」では、「男性」(8.8%)が「女性」(6.7%)を2.1ポイント上回っている。【図表 224】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「10代(18・19歳)」で「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」(15.4%)、「子育て支援施策の充実」(11.5%)の割合が高くなっている。【図表 224】

小学校区別でみると、「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」では、「赤坂小学校区」(16.7%)、「道路や公園・緑地などインフラ整備の充実」では、「一宮南部小学校区」(15.4%)、「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」では、「平尾小学校区」(16.1%)、「長沢小学校区」(15.8%)で割合が高くなっている。【図表 224】

図表 224 3番目にたいせつだと考える定住・交流施策(全体・性別・年齢別・小学校区別)

		件数	災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実	自然環境、生活環境の保全	市民の健康づくりや地域医療体制の充実	子育て支援施策の充実	高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実	交通の充実	快適な住環境の整備や公共	道路や公園・緑地などインフラ整備の充実	振興の充実	学校教育や文化、スポーツ	農業、工業、商業の活性化と雇用の安定	観光振興の充実	市民活動施策の充実	わからない	無回答
全体		2,754	7.8	6.3	6.4	5.9	9.1	10.2	7.5	4.4	8.6	3.3	0.6	0.5	29.4		
性別	男性	1,148	7.1	7.6	6.4	5.1	8.4	9.5	8.8	4.8	8.6	3.7	0.6	0.3	29.2		
	女性	1,552	8.1	5.4	6.1	6.6	9.8	10.9	6.7	4.2	8.6	3.1	0.6	0.5	29.4		
年齢別	10代(18・19歳)	52	5.8	9.6	7.7	11.5	7.7	5.8	5.8	5.8	15.4	7.7	0.0	0.0	17.3		
	20代	229	11.4	7.4	4.8	5.7	5.7	12.2	9.2	9.2	11.4	5.2	0.0	0.9	17.0		
	30代	357	7.8	7.0	6.2	8.4	5.6	13.2	10.9	5.9	8.1	4.2	0.0	0.3	22.4		
	40代	490	8.0	6.3	5.1	6.3	11.0	11.6	8.6	5.9	6.9	4.7	0.6	0.4	24.5		
	50代	479	7.7	7.9	7.5	6.9	11.9	10.2	5.4	2.3	8.6	3.8	0.6	0.4	26.7		
	60代	527	7.2	6.1	5.1	4.4	9.9	10.1	6.8	2.8	9.1	2.3	0.8	0.4	35.1		
	70歳以上	595	6.6	4.0	8.1	4.2	8.4	7.4	6.6	3.2	8.6	1.0	1.0	0.7	40.3		
居住小学校区別	豊川小学校区	115	5.2	8.7	6.1	3.5	6.1	13.9	7.8	2.6	10.4	7.0	0.0	0.9	27.8		
	桜木小学校区	91	8.8	6.6	13.2	8.8	14.3	7.7	5.5	2.2	6.6	6.6	0.0	0.0	19.8		
	豊小学校区	122	7.4	5.7	4.1	8.2	10.7	9.8	3.3	5.7	9.0	5.7	0.8	0.0	29.5		
	東部小学校区	106	7.5	7.5	1.9	2.8	10.4	11.3	6.6	2.8	9.4	2.8	0.0	0.0	36.8		
	金屋小学校区	81	8.6	9.9	9.9	4.9	4.9	14.8	11.1	7.4	8.6	1.2	0.0	1.2	17.3		
	三蔵子小学校区	166	5.4	3.0	7.8	4.8	6.6	15.7	6.6	4.8	10.8	1.8	0.6	0.6	31.3		
	桜町小学校区	85	8.2	7.1	12.9	5.9	5.9	12.9	7.1	7.1	5.9	3.5	0.0	0.0	23.5		
	代田小学校区	122	9.0	4.1	9.0	6.6	8.2	10.7	3.3	2.5	7.4	4.9	0.8	0.8	32.8		
	中部小学校区	182	7.7	7.7	7.7	6.6	7.1	7.7	6.0	4.9	9.9	3.3	0.0	0.0	31.3		
	牛久保小学校区	105	6.7	2.9	4.8	10.5	14.3	14.3	5.7	1.9	3.8	2.9	0.0	0.0	32.4		
	天王小学校区	75	4.0	8.0	1.3	5.3	9.3	14.7	5.3	4.0	8.0	4.0	0.0	0.0	36.0		
	国府小学校区	174	8.6	7.5	5.7	6.3	10.9	9.2	10.3	5.7	12.1	2.3	0.6	0.0	20.7		
	御油小学校区	137	5.8	5.8	7.3	10.2	7.3	13.9	6.6	3.6	10.9	0.0	2.2	0.0	26.3		
	千両小学校区	39	7.7	10.3	7.7	5.1	15.4	10.3	2.6	5.1	7.7	0.0	0.0	0.0	28.2		
	八南小学校区	161	9.9	6.8	3.7	5.6	10.6	5.6	8.7	5.6	7.5	5.0	0.0	0.6	30.4		
	平尾小学校区	56	10.7	8.9	3.6	3.6	5.4	5.4	12.5	5.4	16.1	1.8	1.8	1.8	23.2		
	一宮東部小学校区	71	7.0	2.8	9.9	2.8	14.1	4.2	11.3	5.6	7.0	0.0	1.4	1.4	32.4		
	一宮西部小学校区	118	5.9	5.1	5.9	6.8	8.5	8.5	11.0	4.2	6.8	1.7	0.0	1.7	33.9		
	一宮南部小学校区	39	10.3	5.1	7.7	10.3	7.7	7.7	15.4	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	30.8		
	赤坂小学校区	78	16.7	10.3	3.8	7.7	7.7	10.3	6.4	3.8	5.1	6.4	2.6	0.0	19.2		
長沢小学校区	38	5.3	5.3	13.2	5.3	5.3	7.9	0.0	2.6	15.8	0.0	2.6	0.0	36.8			
萩小学校区	23	4.3	8.7	0.0	0.0	4.3	4.3	13.0	8.7	8.7	4.3	4.3	0.0	39.1			
御津南部小学校区	155	8.4	4.5	3.9	7.7	7.1	8.4	7.7	5.8	7.1	3.9	0.0	1.9	33.5			
御津北部小学校区	54	9.3	7.4	5.6	1.9	7.4	7.4	9.3	7.4	3.7	3.7	1.9	0.0	35.2			
小坂井東小学校区	133	7.5	4.5	7.5	5.3	12.0	8.3	12.0	3.0	7.5	1.5	0.8	0.0	30.1			
小坂井西小学校区	175	8.0	6.9	4.6	2.3	11.4	13.1	6.9	2.9	10.3	5.1	0.6	0.0	28.0			



V 参考資料

1 標本誤差

この調査は、母集団である 18 歳以上の全市民から一部の標本を無作為に抽出して行っている。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査である。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差である。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができる。

$$\text{標本誤差} \quad \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad P: \text{回答率} (\%) \quad n: \text{有効回収数} (\text{件})$$

以下の表は、上式に n と P の値を代入して標本誤差を求め、作成したものである。

信頼度 95% (100 回中 95 回はこの範囲に収まる) の場合

		回答率 (%)									
		5% (95%)	10% (90%)	15% (85%)	20% (80%)	25% (75%)	30% (70%)	35% (65%)	40% (60%)	45% (55%)	50% (50%)
全体	2,754	0.8	1.2	1.4	1.5	1.7	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9

この表の見方について例を挙げると、「全体の回収数が 2,754 人であり、ある設問の 1 つの選択肢の回答率が 50%であった場合、全数調査との誤差の範囲は 95%の確立で±1.9%以内であり、実際の回答率は 48.1~51.9%の範囲にある」と意味づけられるものである。なお、標本誤差は回答率が 50%のときに最も大きい値となり、本調査においては最大の場合でも±1.9%の誤差である。

2 使用調査票

第14回豊川市市民意識調査

● 調査ご協力をお願い ●

市民の皆様には、日ごろから市政の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、市では、総合計画に基づき「光・緑・人 輝くとよかわ」の実現を目指し、定住・交流施策、シティセールス、市民協働、行政経営改革という4つの基本方針のもと、「安全・安心」「健康・福祉」「建設・整備」「教育・文化」「産業・雇用」「地域・行政」に関する施策に取り組んでいます。今後も、こうした取り組みを進めていくには、皆様のご意見を積極的に伺うことが重要であると考えております。

そこで、市民の皆様には、市のこれまでの取り組みに対する評価をいただき、現在の生活環境や今後のまちづくりについてのご意見などをお聴きするため、市民意識調査を実施することといたしました。調査結果は、市民の皆様にご満足いただける市政の実現に向けて活用してまいります。

このアンケートは、豊川市にお住まいの18歳以上の方の中から、5,000人を無作為に選んでお願いするものです。回答は無記名の上、すべて統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部に漏れることは、一切ありません。また、アンケートの集計結果につきましては、広報「とよかわ」などを通して皆様にお知らせいたします。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年4月

豊川市長 竹本 幸夫

<ご記入にあたってのお願い>

- このアンケートは、宛名の方にご記入をお願いいたしますが、もしご都合でご記入ができない場合は、ご家族のどなたでも結構ですので代わってご記入ください。その場合は、**記入される方の立場**でお答えください。
- ご回答にあたっては、設問の中においてお願いしてある数だけ、**答えの番号に○印**をつけてください。
- この調査票は、ご記入の上、同封しました返信用の封筒に入れ、**令和3年5月15日(土)**までにご投函ください(**切手は不要です**)。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

豊川市企画部秘書課広報広聴係 担当 杉本、市川
電話 0533-89-2121

A. 全体の生活環境についておたずねします

問1 豊川市は、**住みよいまち**だと思いますか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 住みよい | 4. 住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みよい | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば住みにくい | |

問2 あなたは、**豊川市の市政**に関する次の 01～49の各項目について、**どの程度満足**していますか。また、今後の市政を進めるにあたって**どの程度重要**だと思いますか。最もあなたの気持ちに近いものを「満足度」と「重要度」から**それぞれ1つだけ**選んで○印をつけてください。

		満 足 度					重 要 度				
		満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	非常に重要	やや重要	さほど重要でない	重要でない	わからない
	(記入例) 01. 交通安全対策	1	②	3	4	5	1	2	③	4	5
安全・安心	01. 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	02. 歩行者にとっての道路の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	03. 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	04. 地震などに対する防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	05. 消防体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	06. 救急体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	07. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	08. ごみ処理対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	09. 生活における衛生環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 生活排水対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 水道水の安全・安定供給	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
健康・福祉	12. 健康づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 医療環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 子どもを生み、育てる環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16. 障害者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. ひとり親家庭支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 経済的な自立支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満 足 度					重 要 度					
	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	非常に重要	やや重要	さほど重要でない	重要でない	わからない	
建設・整備	19. 住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 公共交通機関の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 道路の整備状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22. 緑・自然の豊かさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 公園の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	24. 河川の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25. 学校の指導や取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 青少年の育成・支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 生涯学習の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28. スポーツの振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業・雇用	29. 文化芸術の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30. 農業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31. 工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32. 商業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33. 日用品などの買い物の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34. 中心市街地の活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域・行政	36. 雇用の安定・勤労者支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37. 地域のつきあいや人間関係	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38. 男女共同参画	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39. 人権の尊重	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40. 国際交流活動・多文化共生	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	41. 市からの情報提供・公表	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	42. 地域の情報化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	43. 公共施設の適正配置	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	44. 道路、橋などの適正な維持管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	45. 行政サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	46. 職員の資質向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	47. 職員の定員適正化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
48. 健全な財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
49. 東三河広域連合の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

B. 分野別におたずねします

安全・安心

問3 行政が実施している次の**交通安全・防犯対策等**について、行政にどのようなことを期待しますか。**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 交通安全を学べるイベントの開催
2. 高齢者の運転免許証自主返納への支援
3. 各小学校区1人ずつの交通指導員の配置
4. ボランティアとして交通安全活動を行う交通安全指導隊への支援
5. 各校区の安全なまちづくり推進協議会への支援
6. 連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援
7. 連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援
8. 防犯にかかる啓発活動、講座開催、防犯グッズ紹介
9. 青色パトロール車による防犯パトロール
10. 防犯ボランティア活動（子どもの見守り）などに対する支援

問4 あなたは、**自転車の安全な利用**について、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。次の中から**行っていることすべて**に○印をつけてください。

1. 自転車に乗るときはヘルメットを着用している
2. 自転車損害賠償保険に加入している
3. 自転車の防犯登録をしている
4. 自転車の施錠を1箇所以上している
5. 定期的に自転車の点検・整備をしている
6. 夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている
7. 特に何もしていない

問5 あなたのご家庭では、日ごろ**地震に備えてどのような対策**をしていますか。次の中からあてはまるもの**すべて**に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 家具類の転倒防止 | 9. 非常時の家族との連絡方法、集合場所の確認 |
| 2. 窓ガラスの飛散防止 | 10. 避難場所、避難経路の確認 |
| 3. 棚の上の物が落ちないように整理 | 11. 自主防災会の活動への参加 |
| 4. 非常用食糧や飲料水の用意 | 12. その他（具体的に_____） |
| 5. 貴重品など非常持出品の確認 | |
| 6. 消火器など消火器具の用意 | 13. 特に何もしていない |
| 7. 懐中電灯、携帯ラジオの用意 | |
| 8. 救急医薬品の用意 | |

問6 あなたは、**防災対策**として、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 防災用マニュアルの配布
2. 防災用マップの配布
3. 防災講習会の開催
4. 地域での防災訓練の実施啓発
5. 住宅の耐震診断補助
6. 住宅の耐震改修補助
7. 情報連絡手段の整備
8. 災害に備えた道路の整備
9. 食糧・水、日常生活用品などの備蓄
10. 避難所など防災拠点の整備
11. 防災ボランティアの育成
12. 地域の防災組織の育成
13. 公共施設の耐震整備
14. 障害者・高齢者等要配慮者対策の充実
15. その他（具体的に_____）

問7 あなたが**生活する上での衛生環境**について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 市民が進んで自宅周りの清掃をするように啓発する
2. 市民へごみの分別を啓発する
3. 市民へごみステーションの利用方法を啓発する
4. 過剰包装を減らすよう商店や消費者に啓発する
5. ごみの減量化のため、食品ロスを減らすように啓発する
6. ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う
7. リサイクルを推進し、処分するごみを減らすため、分別の種類を増やす
8. ごみや資源を土・日曜日にも持ち込めるようにする
9. 古紙、空き缶、空きびんなど、リサイクルできる有価物回収活動の補助を充実する
10. 浄化槽や汲み取りトイレについて、適正な保守管理を啓発する
11. 犬のふんの持ち帰りを啓発する
12. 路上喫煙の防止を啓発する
13. 市営墓地を増やす
14. その他（具体的に_____）
15. 特に期待するものはない

問8 あなたは、**省エネや環境に負荷をかけない**ために、日ごろ生活の中でどのようなことを心掛けていますか。次の中から**行っていることすべて**に○印をつけてください。

1. 必要のない電灯はこまめに消す、電気器具の主電源を切るなど、節電を心掛けている
2. クーラーや暖房の温度は、適正温度（夏28℃、冬20℃）を目安に設定している
3. 電気器具などは省エネタイプを買うようにしている
4. 家庭用の太陽光発電やエネファーム、蓄電池などを設置している
5. 自家用車より、バス、電車などの公共交通機関や自転車を利用するようにしている
6. 駐停車中は、アイドリング・ストップを心掛けている
7. 風呂の残り湯を再利用するなど、節水を心掛けている
8. 排水口に油を流さないようにしている
9. 洗剤は正しく量って使用し、使い過ぎないようにしている
10. 雨水を庭の散水などに利用している
11. エコマークやグリーンマークのついた商品を買うようにしている
12. 行楽地へ出掛けた時などは、ごみを持ち帰るようにしている
13. 新製品にすぐ買い換えたり、流行を追いかけたりしない
14. その他（具体的に_____）
15. 特に何もしていない

健康・福祉

問9 あなたは、**健康維持や増進**のために、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。次の中から**行っていることすべて**に○印をつけてください。

1. 食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている
2. 酒、たばこ、コーヒーなどの嗜好品の取り方に気を配っている
3. 健康食品やサプリメント、特定保健用食品などを利用している
4. 睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている
5. ウォーキング、健康体操、グラウンド・ゴルフなどの運動をしている
6. フィットネスクラブ・同好会などで体力づくりをしている
7. 日常生活で、身体活動を増やし、体力の維持に努めている
8. 自分のストレス解消法を見つけ、ストレスを解消している
9. 定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている
10. 健康に関する講座に参加したり、本を読んだりして知識を高めている
11. 歩こう会などの健康づくりの行事に積極的に参加している
12. いつでも相談できる身近なかかりつけ医を持っている
13. 歯科医院に、定期的（1年に1回以上）に受診している
14. いつでも相談できる身近なかかりつけ薬局を持っている
15. その他（具体的に_____）
16. 特に何もしていない

問10 あなたは、子どもを生み、育てる環境を充実させるために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 子育てに掛かる費用負担を減らす
2. 児童館など子ども連れで出掛けやすい場所を整備する
3. 子どもの防犯・安全対策を充実する
4. 子育てについての情報が得られる場を整備する
5. 出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する
6. 育児休暇取得の促進など子育てしやすい職場環境をつくる働き掛けをする
7. 未就学児の保育サービスを充実する
8. 放課後児童クラブなどの放課後児童対策を充実する
9. 障害児に対する制度を充実する
10. 子育ての喜びなどが実感できる育児相談や健康診査を充実する
11. 母性・父性の育成を目指した体験講座を充実する
12. 妊娠期からの子育て支援相談を充実する
13. 子ども食堂などの子どもの貧困対策を充実する
14. 児童虐待や非行・犯罪の未然防止、早期対応などの支援対策を充実する
15. その他（具体的に_____）
16. 特に取り組むものはない

建設・整備

問11 あなたは、公共交通機関（電車・バス）の利便性を向上させるために、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 駅やバス停周辺の歩道の段差改善やノンステップバスの導入などのバリアフリー化を進める
2. 駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす
3. 駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する
4. バス停に、屋根、ベンチなどの待合設備の充実を進める
5. バスの運行本数を増やす
6. バス停を増やす
7. 電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすいようにする
8. バスが運行する時間帯を長くする
9. 電車とバスが連携した時刻表や公共交通マップを提供する
10. 割引券などの提供や運賃の値下げにより、利用者の負担を減らす
11. その他（具体的に_____）
12. 特に期待するものはない

問12 あなたは、**道路の整備**について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 幹線道路を整備する
2. 道路の側溝を整備する
3. 街路樹を整備する
4. 傷んでいる舗装をやり直す
5. 道路幅を広げる
6. 主要交差点に右折レーンを設置する
7. ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける
8. カラー舗装を設置する
9. 歩道を整備する
10. 自転車道を整備する
11. 踏切内の安全策を図る
12. 道路照明灯を設置する
13. 段差改善や視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を進める
14. 路上駐車や歩道上の占拠物をなくすように啓発する
15. 電線などの地中化を進める
16. その他（具体的に_____）
17. 特に期待するものはない

問13 あなたは、**公園の整備や緑地の保全**について、行政がどのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 身近で親しみやすい公園を整備する
2. スポーツ需要などの目的に合わせた公園を整備する
3. 防災機能を備えた公園を整備する
4. 多機能トイレの設置や園路の改修などのバリアフリー化を推進する
5. 市民参加による公園づくりや公園管理を推進する
6. ブランコ、滑り台などの遊具を充実する
7. トイレ、水飲み場、時計塔などの便益施設を充実する
8. 照明灯、防球ネットなどの管理施設を充実する
9. ベンチなどの休憩施設を充実する
10. 遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する
11. 市街地に残る貴重な緑地の保全を図る
12. 道路、学校などの公共施設の緑化を推進する
13. 自然観察会や課外授業など自然とふれあう活動を推進する
14. その他（具体的に_____）
15. 特に取り組むものはない

問14 あなたは、**河川の整備**について、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる
2. 水質の浄化を図る
3. 安心して川などと親しめる水辺環境をつくる
4. 草刈りなどの維持管理を徹底する
5. 動植物が生息できる環境をつくる
6. 人工的に自然に近い河川などの整備をする
7. 周辺の景観を生かした河川などの整備をする
8. 地域活動の場として利用しやすい河川などの整備をする
9. 自然観察会や課外学習などができる場所をつくる
10. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
11. 柵、注意看板などの安全整備を図る
12. 河川などの状況がわかる情報を公開する
13. その他（具体的に_____）
14. 特に取り組むものはない

教育・文化

問15 学校と地域が協力して地域づくりをしていくために、「学校公開日」や「登下校の見守り活動」などを実施しています。あなたは、協力して地域づくりをするために、**学校とかかわりを持っていきたい**と思いますか。次の中からあてはまるものを**1つ**選んで○印をつけてください。

1. 積極的に、かかわりを持っていきたい
2. どちらかといえば、かかわりを持っていきたい
3. どちらかといえば、かかわりを持ちたくない
4. できるだけ、かかわりを持ちたくない
5. わからない

問16 あなたは、**生涯学習としてどのような活動**をしていますか。次の中からあてはまるもの**すべてに○印**をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 趣味的な活動（茶道、読書、写真など） | 8. ボランティア活動全般 |
| 2. 娯楽的な活動（囲碁、将棋、映画鑑賞など） | 9. 名所・旧跡などへの訪問 |
| 3. 教養的な活動（歴史・文化の学習など） | 10. 伝統文化の伝承活動（踊り、お祭りの参加など） |
| 4. 外国語・外国文化の学習 | 11. スポーツ・運動及びそれらに関する活動 |
| 5. 文化・芸術的な活動（音楽、絵画、演劇、ダンスなどの鑑賞及び活動） | 12. 登山やキャンプなどの野外活動 |
| 6. 技能・技術の習得（パソコン、各種資格など） | 13. その他
（具体的に_____） |
| 7. 国際交流・理解に関する活動 | _____） |
| | 14. 特に行っていない |

問17 あなたは、**どの程度の頻度でスポーツや運動**をしていますか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○印をつけてください。なお、スポーツには、ウォーキング、ハイキング、体操、ダンス、ヨガなども含まれます。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 毎日 | 4. 月1～3日程度 |
| 2. 週3～4日程度 | 5. 年1～3日程度 |
| 3. 週1～2日程度 | 6. 全くしていない |

問18 あなたは、**文化・芸術の振興**のために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす |
| 2. 体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する |
| 3. 様々な手段で文化芸術に関する情報の収集、発信の充実を図る |
| 4. 市独自の地域資源（場所、人、歴史など）を生かした文化芸術事業を展開する |
| 5. ホール・ミュージアムの利用について、利便性の高いサービスを提供する |
| 6. 図書館の蔵書やイベントを増やす |
| 7. 読み聞かせなど、ボランティア活動の普及に努める |
| 8. 街路への彫刻設置やデザイン性に富んだ遊具の設置に努める |
| 9. その他（具体的に_____） |
| 10. 特に取り組むものはない |

産業・雇用

問19 あなたは、多くの観光客の方に豊川市に来ていただくために、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1. 市外や県外での観光キャンペーンを積極的に行う | 9. 観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを整備する |
| 2. テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する | 10. 気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを整備する |
| 3. 市民の人たちに豊川市について知ってもらう取り組みをする | 11. 手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に努める |
| 4. 観光客向けのイベントを開催する | 12. 東三河の他市町村と連携して観光客誘致に取り組む |
| 5. ホームページなどで豊川産農畜産物のPRや農業関連イベントの開催情報を発信する | 13. 商店街や市民活動団体、企業などと連携して観光客誘致に取り組む |
| 6. 豊川いなり寿司以外の地域ブランドを確立する | 14. その他
(具体的に_____) |
| 7. 「いなりん」などのイメージキャラクターを活用する | _____) |
| 8. 新しい観光施設を建設する | 15. 特に取り組むものはない |

地域・行政

問20 あなたは、まちづくり活動（町内会・お祭りなどの地域活動、NPO活動、ボランティア・市民活動など）に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 継続的に参加している |
| 2. 参加したことがある |
| 3. 興味はあるが実際に参加したことがない |
| 4. 興味もないし、参加したこともない |

問21 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- | |
|-------------|
| 1. 同感する |
| 2. ある程度同感する |
| 3. あまり同感しない |
| 4. 同感しない |
| 5. わからない |

問22 現在、豊川市には、多くの外国人市民が暮らしています。日本人と外国人が、
同じ豊川市民として快適に暮らしていける多文化共生社会にするために、あなた
は、どのようなことができると思いますか。次の中からあてはまるものを2つ
まで選んで○印をつけてください。

1. 積極的に異国の文化や言語などを学びたい
2. 困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい
3. 身近に住む国籍の異なる市民とのおつきあいを大切にしたい
4. 国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい
5. 特にしたいこともないし、関心もない
6. なるべく関わりたくない
7. その他（具体的に_____）
8. わからない

問23 あなたは、市が配付している**広報紙や議会だより**などをどの程度読んでいま
すか。次の中からそれぞれにあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてく
ださい。

	たいてい しっかり 読んでいる	ざっと 目を通し ている	興味のある ものだけを 読む	たまに 読むこと もある	ほとんど 読まない
広報とよかわ	1	2	3	4	5
議会だより	1	2	3	4	5
その他のお知らせ	1	2	3	4	5

問24 あなたは、**インターネット**をどのような**端末で利用**していますか。次の中か
らあてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. パソコン
2. 携帯電話
3. スマートフォン
4. タブレット端末や家庭用テレビゲーム機
5. その他機器（具体的に_____）
6. 利用したことはないが、今後利用してみたい
7. 今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない

問25 あなたは最近、市の職員の対応についてどのように感じましたか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○印をつけてください。

1. 非常に親切に早く対応してくれた
2. まあまあ親切に対応してくれた
3. 以前と比べて対応がよくなった
4. いろいろな手続きや面倒な書類の記入などの説明が不親切だった
5. 対応が事務的で冷たい感じがした
6. 課をたらい回しにされ、うんざりした
7. 最近、市役所に行っていない（関わっていない）
8. その他（具体的に_____）
9. わからない

問26 今後、豊川市が少子高齢化や人口減少といった課題に対応し、持続可能で安定した市政運営を行うためには、定住する人口と、通勤・観光などの交流人口、両方を増やすことがたいせつです。この中で、あなたが**たいせつだと考える定住・交流施策をたいせつだと思う順に3つまで**選び、下の解答欄に番号を記入してください。

1. 災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実
2. 自然環境、生活環境の保全
3. 市民の健康づくりや地域医療体制の充実
4. 子育て支援施策の充実
5. 高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実
6. 快適な住環境の整備や公共交通の充実
7. 道路や公園・緑地などインフラ整備の充実
8. 学校教育や文化、スポーツ振興の充実
9. 農業、工業、商業の活性化と雇用の安定
10. 観光振興の充実
11. 市民活動施策の充実
12. わからない

1 番	2 番	3 番

C. あなた自身のことについておたずねします

問27 あなたの性別はどちらですか。次の中からどちらか一方に○印をつけてください。 ※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問28 あなたの年齢はおいくつですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。5月1日現在で、お答えください。

- | | | |
|----------------|--------|----------|
| 1. 10代(18・19歳) | 4. 40代 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20代 | 5. 50代 | |
| 3. 30代 | 6. 60代 | |

問29 あなたのご職業は何ですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 事務系勤労者(営業・店員を含む) |
| 2. 労働系勤労者(保安・運転手を含む) |
| 3. 管理職・会社経営(官公庁や会社の管理職、役員など) |
| 4. 商店・サービス業の個人経営 |
| 5. 自由業(医師・弁護士など) |
| 6. 農林水産業 |
| 7. 主婦(夫) |
| 8. パートタイマー・アルバイト |
| 9. 学生 |
| 10. 無職 |
| 11. その他(具体的に_____) |

問30 あなたのお勤め先(通学先)はどちらですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------|-------------|
| 1. 通勤・通学していない | 5. 新城市 | 9. 左記以外の愛知県 |
| 2. 豊川市内 | 6. 田原市 | 10. 県外 |
| 3. 豊橋市 | 7. 岡崎市 | |
| 4. 蒲郡市 | 8. 名古屋市 | |

問31 あなたのお住まいはどちらですか。次の中からあてはまる小学校区を1つだけ選んで○印をつけてください。小学校区がわからない方は住所を記入してください。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 豊川小学校区 | 10. 牛久保小学校区 | 19. 一宮南部小学校区 |
| 2. 桜木小学校区 | 11. 天王小学校区 | 20. 赤坂小学校区 |
| 3. 豊小学校区 | 12. 国府小学校区 | 21. 長沢小学校区 |
| 4. 東部小学校区 | 13. 御油小学校区 | 22. 萩小学校区 |
| 5. 金屋小学校区 | 14. 千両小学校区 | 23. 御津南部小学校区 |
| 6. 三蔵子小学校区 | 15. 八南小学校区 | 24. 御津北部小学校区 |
| 7. 桜町小学校区 | 16. 平尾小学校区 | 25. 小坂井東小学校区 |
| 8. 代田小学校区 | 17. 一宮東部小学校区 | 26. 小坂井西小学校区 |
| 9. 中部小学校区 | 18. 一宮西部小学校区 | |

わからない方の住所 () 町 ()

問32 あなたは、**豊川市内（旧宝飯郡を含む）**にお住まいになって何年になりますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

1. 生まれたときからずっと
2. 転入後5年未満
3. 転入後5年以上10年未満
4. 転入後10年以上20年未満
5. 転入後20年以上30年未満
6. 転入後30年以上

問33 あなたは、**今後も豊川市にお住まい**になりますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

1. ずっと住み続ける
2. できればずっと住み続けたい
3. 住み続けざるを得ない
4. 住み続けたいが移らざるを得ない
5. できれば移りたい
6. わからない

- これからのまちづくりについて、アイデアやご意見などがございましたら自由にご記入ください。なお、ご意見、ご要望に対しては、原則、市からは回答いたしません。回答が必要なご意見、ご要望につきましては、各担当部署へ直接、電話などでお寄せください。また、市役所や支所、プリア窓口センターに「市民何でも意見箱」、市ホームページに「市民何でも意見メールボックス」も用意しています。

調査にご協力いただきまして、どうもありがとうございました。

記入漏れがないかどうか、もう一度お確かめいただき、同封の返信用封筒に入れ、
令和3年5月15日（土）までにご投函ください（切手は不要です）。

3 図表目次

図表 1	性別（全体・年代別）	3
図表 2	性別（全体・職業別）	3
図表 3	年齢（全体・小学校区別）	4
図表 4	職業（全体・性別・年齢・小学校区別）	5
図表 5	通勤・通学先（全体・性別・年齢・職業別）	6
図表 6	居住年数（全体・小学校区別）	7
図表 7	豊川市の住みよさ（全体・性別・年齢別）	8
図表 8	豊川市の住みよさ（全体・小学校区別）	9
図表 9	豊川市の住みよさ（経年比較）	10
図表 10	定住意向（全体・性別・年齢・居住年数別）	11
図表 11	定住意向（全体・小学校区別）	12
図表 12	定住意向（経年比較）	13
図表 13	分野別満足度平均値	14
図表 14	市政に対する満足度の評価点	15
図表 15	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	16
図表 16	「安全・安心」（全体・性別）	17
図表 17	「安全・安心」（全体・年齢別）	17
図表 18	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔1 交通安全対策〕	18
図表 19	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔2 歩行者にとっての道路の安全性〕	18
図表 20	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔3 防犯対策〕	19
図表 21	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔4 地震などに対する防災対策〕	19
図表 22	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔5 消防体制〕	20
図表 23	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔6 救急体制〕	20
図表 24	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔7 地球環境の保全〕	21
図表 25	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔8 ごみ処理対策〕	21
図表 26	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔9 生活における衛生環境〕	22
図表 27	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔10 生活排水対策〕	22
図表 28	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔11 水道水の安全・安定供給〕	23
図表 29	「健康・福祉」（全体・性別）	24
図表 30	「健康・福祉」（全体・年齢別）	24
図表 31	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔12 健康づくり〕	25
図表 32	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔13 医療環境〕	25
図表 33	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔14 子どもを生み、育てる環境〕	26
図表 34	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔15 高齢者福祉〕	26
図表 35	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔16 障害者福祉〕	27
図表 36	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔17 ひとり親家庭支援〕	27
図表 37	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔18 経済的な自立支援〕	28

図表 38	「建設・整備」(全体・性別)	29
図表 39	「建設・整備」(全体・年齢別)	29
図表 40	小学校区×「市政に対する満足度平均値」 〔19 住環境の整備(区画整理・住宅対策など)〕	30
図表 41	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[20 公共交通機関の利便性] 30
図表 42	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[21 道路の整備状況] 31
図表 43	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[22 緑・自然の豊かさ] 31
図表 44	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[23 公園の状況] 32
図表 45	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[24 河川の状況] 32
図表 46	「教育・文化」(全体・性別)	33
図表 47	「教育・文化」(全体・年齢別)	33
図表 48	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[25 学校の指導や取り組み] 34
図表 49	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[26 青少年の育成・支援] 34
図表 50	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[27 生涯学習の取り組み] 35
図表 51	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[28 スポーツの振興] 35
図表 52	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[29 文化芸術の振興] 36
図表 53	「産業・雇用」(全体・性別)	37
図表 54	「産業・雇用」(全体・年齢別)	37
図表 55	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[30 農業の振興] 38
図表 56	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[31 工業の振興] 38
図表 57	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[32 商業の振興] 39
図表 58	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[33 日用品などの買い物の利便性] 39
図表 59	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[34 中心市街地の活性化] 40
図表 60	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[35 観光の振興] 40
図表 61	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[36 雇用の安定・勤労者支援] 41
図表 62	「地域・行政」(全体・性別)	42
図表 63	「地域・行政」(全体・年齢別)	42
図表 64	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[37 地域のつきあいや人間関係] 43
図表 65	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[38 男女共同参画] 43
図表 66	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[39 人権の尊重] 44
図表 67	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[40 国際交流活動・多文化共生] 44
図表 68	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[41 市からの情報提供・公表] 45
図表 69	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[42 地域の情報化] 45
図表 70	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[43 公共施設の適正配置] 46
図表 71	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[44 道路、橋などの適正な維持管理] 46
図表 72	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[45 行政サービス] 47
図表 73	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[46 職員の資質向上] 47
図表 74	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[47 職員の定員適正化] 48
図表 75	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[48 健全な財政運営] 48
図表 76	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[49 東三河広域連合の活用] 49

図表 77	分野別重要度平均値	50
図表 78	市政に対する重要度の評価点	51
図表 79	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	52
図表 80	「安全・安心」（全体・性別）	53
図表 81	「安全・安心」（全体・年齢別）	53
図表 82	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔1 交通安全対策〕	54
図表 83	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔2 歩行者にとっての道路の安全性〕	54
図表 84	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔3 防犯対策〕	55
図表 85	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔4 地震などに対する防災対策〕	55
図表 86	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔5 消防体制〕	56
図表 87	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔6 救急体制〕	56
図表 88	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔7 地球環境の保全〕	57
図表 89	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔8 ごみ処理対策〕	57
図表 90	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔9 生活における衛生環境〕	58
図表 91	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔10 生活排水対策〕	58
図表 92	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔11 水道水の安全・安定供給〕	59
図表 93	「健康・福祉」（全体・性別）	60
図表 94	「健康・福祉」（全体・年齢別）	60
図表 95	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔12 健康づくり〕	61
図表 96	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔13 医療環境〕	61
図表 97	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔14 子どもを生み、育てる環境〕	62
図表 98	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔15 高齢者福祉〕	62
図表 99	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔16 障害者福祉〕	63
図表 100	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔17 ひとり親家庭支援〕	63
図表 101	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔18 経済的な自立支援〕	64
図表 102	「建設・整備」（全体・性別）	65
図表 103	「建設・整備」（全体・年齢別）	65
図表 104	小学校区×「市政に対する重要度平均値」 〔19 住環境の整備（区画整理・住宅対策など）〕	66
図表 105	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔20 公共交通機関の利便性〕	66
図表 106	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔21 道路の整備状況〕	67
図表 107	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔22 緑・自然の豊かさ〕	67
図表 108	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔23 公園の状況〕	68
図表 109	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔24 河川の状況〕	68
図表 110	「教育・文化」（全体・性別）	69
図表 111	「教育・文化」（全体・年齢別）	69
図表 112	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔25 学校の指導や取り組み〕	70
図表 113	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔26 青少年の育成・支援〕	70
図表 114	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔27 生涯学習の取り組み〕	71
図表 115	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔28 スポーツの振興〕	71

図表 116	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔29 文化芸術の振興〕	72
図表 117	「産業・雇用」	(全体・性別)	73
図表 118	「産業・雇用」	(全体・年齢別)	73
図表 119	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔30 農業の振興〕	74
図表 120	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔31 工業の振興〕	74
図表 121	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔32 商業の振興〕	75
図表 122	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔33 日用品などの買い物の利便性〕	75
図表 123	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔34 中心市街地の活性化〕	76
図表 124	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔35 観光の振興〕	76
図表 125	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔36 雇用の安定・勤労者支援〕	77
図表 126	「地域・行政」	(全体・性別)	78
図表 127	「地域・行政」	(全体・年齢別)	78
図表 128	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔37 地域のつきあいや人間関係〕	79
図表 129	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔38 男女共同参画〕	79
図表 130	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔39 人権の尊重〕	80
図表 131	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔40 国際交流活動・多文化共生〕	80
図表 132	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔41 市からの情報提供・公表〕	81
図表 133	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔42 地域の情報化〕	81
図表 134	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔43 公共施設の適正配置〕	82
図表 135	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔44 道路・橋などの適正な維持管理〕	82
図表 136	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔45 行政サービス〕	83
図表 137	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔46 職員の資質向上〕	83
図表 138	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔47 職員の定員適正化〕	84
図表 139	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔48 健全な財政運営〕	84
図表 140	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	〔49 東三河広域連合の活用〕	85
図表 141	満足・重要・優先度5項目		86
図表 142	市政に対する満足度と重要度の関係		87
図表 143	小学校区別評価 満足度上位5項目		88
図表 144	小学校区別評価 満足度下位5項目		89
図表 145	小学校区別評価 重要度上位5項目		90
図表 146	小学校区別評価 優先度上位5項目		91
図表 147	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」	(1)	92
図表 148	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」	(2)	93
図表 149	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」	(3)	95
図表 150	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」	(4)	97
図表 151	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」	(5)	99
図表 152	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」	(6)	101
図表 153	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」	(7)	103
図表 154	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」	(8)	105
図表 155	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」	(9)	107

図表 156	交通安全・防犯対策の行政への期待（全体）	110
図表 157	交通安全・防犯対策の行政への期待 （全体・性別・小学校区・防犯対策の満足度別）	111
図表 158	自転車の安全な利用のための心掛け（全体）	112
図表 159	自転車の安全な利用のための心掛け（全体・年齢別・小学校区別）	113
図表 160	日ごろの地震に備えた対策（全体）	114
図表 161	日ごろの地震に備えた対策（全体・年齢別）	115
図表 162	日ごろの地震に備えた対策（経年比較）	116
図表 163	防災対策の行政への期待（全体）	117
図表 164	防災対策の行政への期待（全体・年齢・地震などに対する防災対策の満足度別）	118
図表 165	防災対策の行政への期待（経年比較）	119
図表 166	衛生環境の行政への期待（全体）	120
図表 167	衛生環境の行政への期待 （全体・年齢・ごみ処理対策の満足度、生活における衛生環境の満足度別）	121
図表 168	衛生環境の行政への期待（経年比較）	122
図表 169	省エネや環境に負荷をかけないための心掛け（全体）	123
図表 170	省エネや環境に負荷をかけないための心掛け（全体・性別・年齢別）	124
図表 171	省エネや環境に負荷をかけないための心掛け（経年比較）	125
図表 172	健康の維持・増進のための心掛け（全体）	126
図表 173	健康の維持・増進のための心掛け（全体・性別・年齢・職業別）	127
図表 174	健康の維持・増進のための心掛け（経年比較）	128
図表 175	子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと（全体）	129
図表 176	子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと （全体・性別・年齢・職業・子どもを生み、育てる環境の満足度別）	130
図表 177	子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	131
図表 178	公共交通機関の利便性の行政への期待（全体）	132
図表 179	公共交通機関の利便性の行政への期待 （全体・年齢・通勤・通学先・小学校区・公共交通機関の利便性の満足度別）	133
図表 180	公共交通機関の利便性の行政への期待（経年比較）	134
図表 181	道路の整備の行政への期待（全体）	135
図表 182	道路の整備の行政への期待 （全体・小学校区・道路の整備の状況の満足度・歩行者にとっての道路の安全性の満足度別）	136
図表 183	道路の整備の行政への期待（経年比較）	137
図表 184	公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと（全体）	138
図表 185	公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと （全体・年齢・小学校区・緑、自然の豊かさの満足度・公園の状況の満足度別）	139
図表 186	公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	140
図表 187	河川の整備のために行政が取り組むべきこと（全体）	141
図表 188	河川の整備のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・小学校区別）	142

図表 189	河川の整備のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	143
図表 190	地域づくりに向けた学校と地域とのかかわり（全体・性別・年齢別）	144
図表 191	地域づくりに向けた学校と地域とのかかわり（全体・職業別）	145
図表 192	地域づくりに向けた学校と地域とのかかわり（経年比較）	145
図表 193	生涯学習の活動状況（全体）	146
図表 194	生涯学習の活動状況（全体・性別・年齢別）	147
図表 195	スポーツや運動の頻度（全体・性別・年齢別）	148
図表 196	スポーツや運動の頻度（経年比較）	149
図表 197	文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（全体）	150
図表 198	文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・年齢別）	151
図表 199	文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	151
図表 200	観光客増加のために取り組むべきこと（全体）	152
図表 201	観光客増加のために取り組むべきこと（全体・年齢別）	153
図表 202	観光客増加のために取り組むべきこと（経年比較）	154
図表 203	まちづくり活動への参加状況（全体・性別・年齢別）	155
図表 204	まちづくり活動への参加状況（全体・小学校区別）	156
図表 205	男女共同参画（全体・性別・年齢・職業別）	157
図表 206	男女共同参画（経年比較）	158
図表 207	外国人とのつきあい方（全体）	159
図表 208	外国人とのつきあい方（全体・年齢別）	160
図表 209	外国人とのつきあい方（経年比較）	160
図表 210	広報紙等の閲読率「広報とよかわ」（全体・性別・年齢別）	161
図表 211	広報紙等の閲読率「広報とよかわ」（経年比較）	162
図表 212	広報紙等の閲読率「議会だより」（全体・性別・年齢別）	163
図表 213	広報紙等の閲読率「議会だより」（経年比較）	163
図表 214	広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」（全体・性別・年齢別）	164
図表 215	広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」（経年比較）	165
図表 216	インターネットの利用端末（全体）	166
図表 217	インターネットの利用端末（全体・年齢・職業別）	167
図表 218	インターネットの利用端末（経年比較）	168
図表 219	市の職員の対応への評価（全体・性別・年齢別）	169
図表 220	市の職員の対応への評価（経年比較）	170
図表 221	たいせつだと考える定住・交流施策（全体）	171
図表 222	1番たいせつだと考える定住・交流施策（全体・性別・年齢別・小学校区別）	172
図表 223	2番目にたいせつだと考える定住・交流施策 （全体・性別・年齢別・小学校区別）	173
図表 224	3番目にたいせつだと考える定住・交流施策 （全体・性別・年齢別・小学校区別）	174

第 14 回豊川市市民意識調査 【調査結果報告書】

発行年月：令和 3 年 8 月

発行：豊川市企画部秘書課広報広聴係

豊川市諏訪 1-1

TEL：0533-89-2121

FAX：0533-89-2124